

**第7期高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書**

**平成 29 年 3 月
箕面市**

目 次

I . 調査概要	2
1 調査目的.....	2
2 実施要領.....	2
3 報告書の見方.....	3
II . 調査結果	4
1. ご回答者について.....	4
2. ご本人について.....	6
3. お住まいと世帯について.....	14
4. 健康・医療について.....	19
5. 外出状況について.....	29
6. 運動習慣について.....	34
7. こころの状況について.....	41
8. 日常生活について.....	42
9. 社会参加などについて.....	43
10. 認知症・成年後見について.....	51
11. 介護保険について.....	54
12. 相談ごとについて.....	60
13. 介護や高齢者施策全体について.....	65
14. 介護者について.....	77

I. 調査概要

1 調査目的

本調査は、平成30年(2018年)4月から始まる「箕面市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定の基礎資料とするため、第2号被保険者(40歳以上65歳未満の市民)、第1号被保険者(65歳以上の市民)、要支援・要介護認定を受けておられるかた及び「あんしん生活サポート事業対象者」のかたを対象に、本人の生活実態とともに、介護保険制度や保健福祉施策に対する意識・動向、サービスの利用状況等を把握することを目的に実施しました。

2 実施要領

- 調査期間 : 平成29年(2017年)1月30日～2月13日
- 調査基準日 : 平成29年(2017年)1月1日
- 調査方法 : 郵送による配布・回収、無記名調査、調査時期の中間で礼状兼督促状を送付
- 調査対象・回収状況

調査名称	調査対象	配布数	回収数	回収率
第2号被保険者調査	40歳以上65歳未満の市民 (要支援・要介護認定者を除く)	500人 (無作為抽出)	301件	60.2%
第1号被保険者調査	65歳以上の市民(要支援・ 要介護認定者を除く)	500人 (無作為抽出)	417件	83.4%
要支援者・要介護者等 調査	あんしん生活サポート事業 対象者(総合事業対象者)	100人 (無作為抽出)	74件	74.0%
	要支援認定者	100人 (無作為抽出)	80件	80.0%
	要介護認定者	300人 (無作為抽出)	171件	57.0%

3 報告書の見方

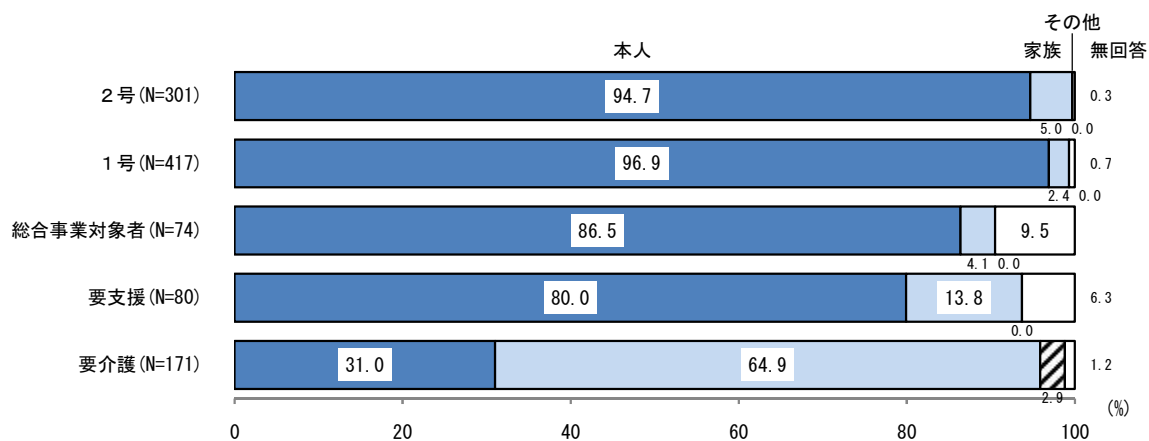
- (1) 図表中の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
- ・ MA% (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ 2 LA% (2 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
- これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (6) 本報告書のタイトルや分析文における【2号】【1号】【総合事業対象者】【要支援】【要介護】については、以下の通りです。
- 【2号】：第2号被保険者調査
 - 【1号】：第1号被保険者調査
 - 【総合事業対象者】：要支援者・要介護者等調査のあんしん生活サポート事業対象者抜粋
 - 【要支援】：要支援者・要介護者等調査の要支援認定者抜粋
 - 【要介護】：要支援者・要介護者等調査の要介護認定者抜粋

Ⅱ. 調査結果

1. ご回答者について

〔1〕 調査の回答者

1-1 この調査に回答されるかたはどなたですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

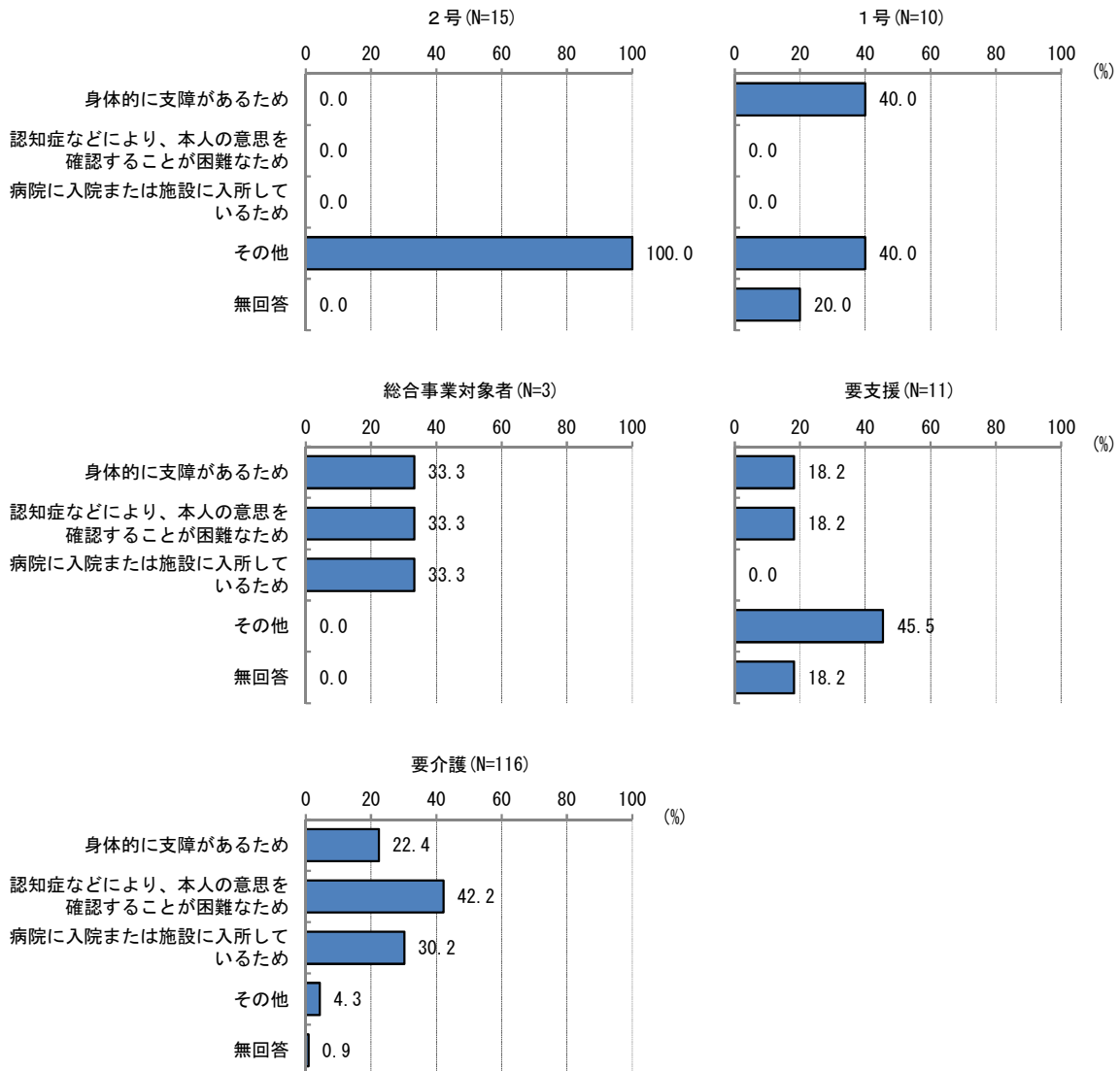


調査の回答者は、【2号】【1号】【総合事業対象者】【要支援】では「本人」が最も多くなっていますが、【要介護】では「家族」が64.9%と最も多く、「本人」は31.0%となっています。

〔2〕 本人が回答できない理由

1-1で「2 家族」または「3 その他」のどちらかに○をつけたかたのみ

1-2 ご本人が回答できない理由について、あてはまる項目1つに○をつけてください。



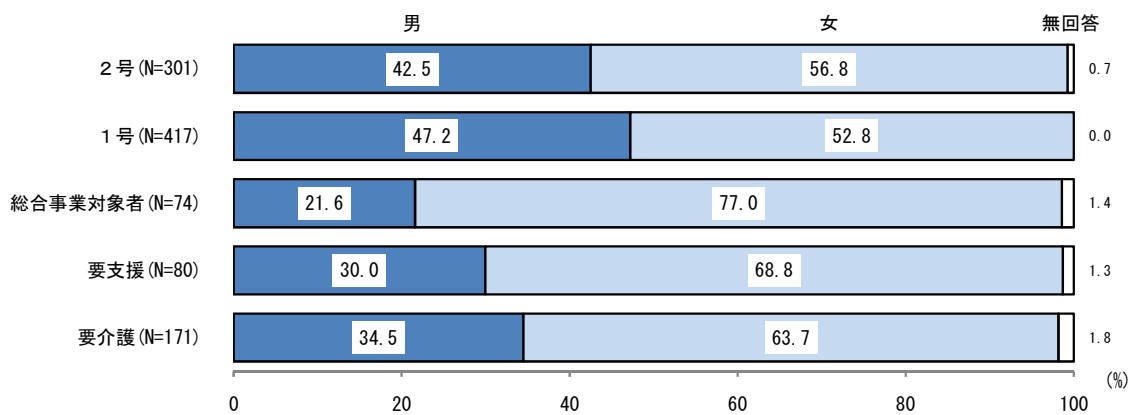
「本人」以外が回答している場合の、調査対象者が回答できない理由は、【要介護】では「認知症などにより、本人の意思を確認することが困難なため」が最も多く、次いで、「病院に入院または施設に入所しているため」となっています。【2号】【1号】【総合事業対象者】【要支援】については、回答者自体が少なくなっています。

Ⅱ. 調査結果

2. ご本人について

〔1〕性別

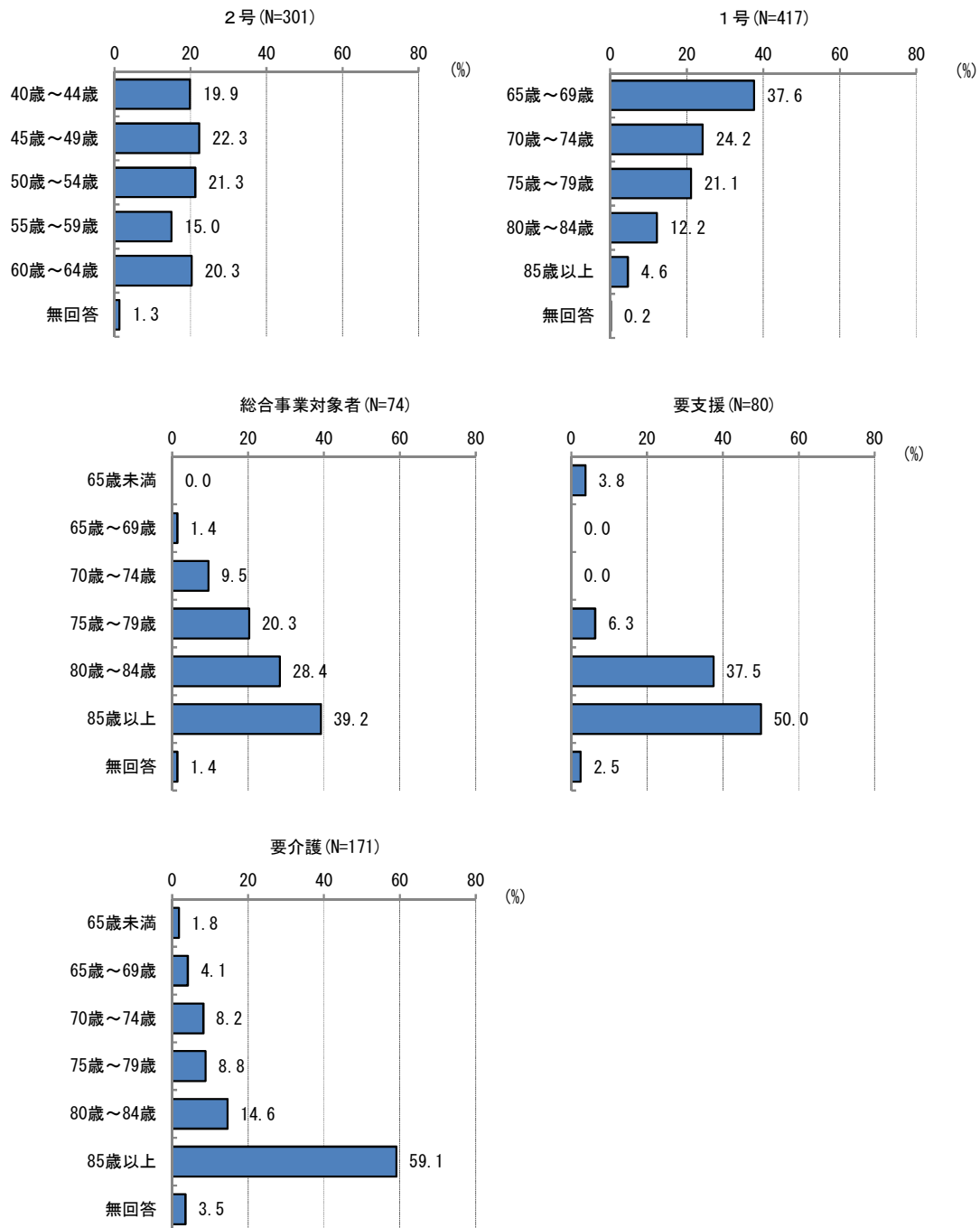
2-1 あなたの性別について、あてはまる項目1つに○をつけてください。



調査対象者の性別は、すべての区分で「女性」が多く、とくに【総合事業対象者】では77.0%と最も多くなっています。

〔2〕 年齢

2-2 あなたは、平成29年（2017年）1月1日現在で何歳ですか。数字で記入してください。

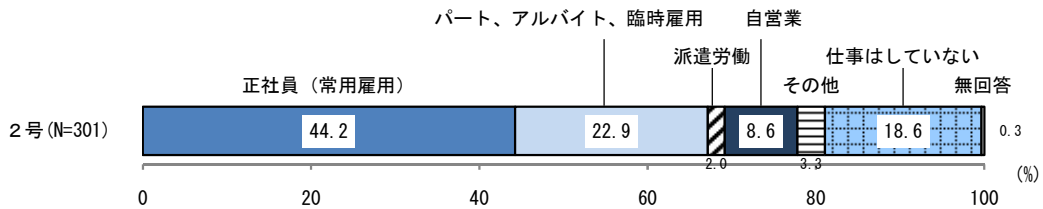


調査対象者の年齢は、【2号】では「55歳～59歳」がやや少なくなっていますが、他の年齢区分はいずれも2割前後となっています。【1号】では「65歳～69歳」が37.6%と最も多く、年齢が上がるとともに構成割合は低くなっています。【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では年齢が上がるとともに構成割合も高くなり、いずれも「85歳以上」が最も多く、【総合事業対象者】で4割弱、【要支援】で5割、【要介護】で6割弱となっています。

II. 調査結果

〔3〕就労状況

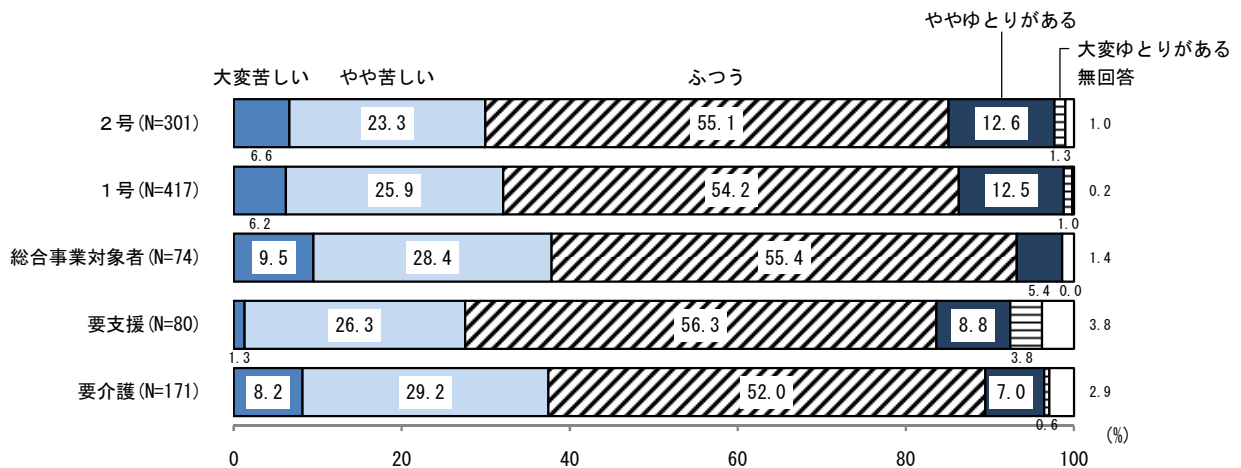
2-3 あなたの就労状況についておたずねします。あてはまる項目1つに○をつけてください。



【2号】のかたの就労状況は、「正社員 (常用雇用)」が44.2%と最も多く、次いで、「パート、アルバイト、臨時雇用」が22.9%、「自営業」が8.6%となっています。

〔4〕現在の暮らしの状況

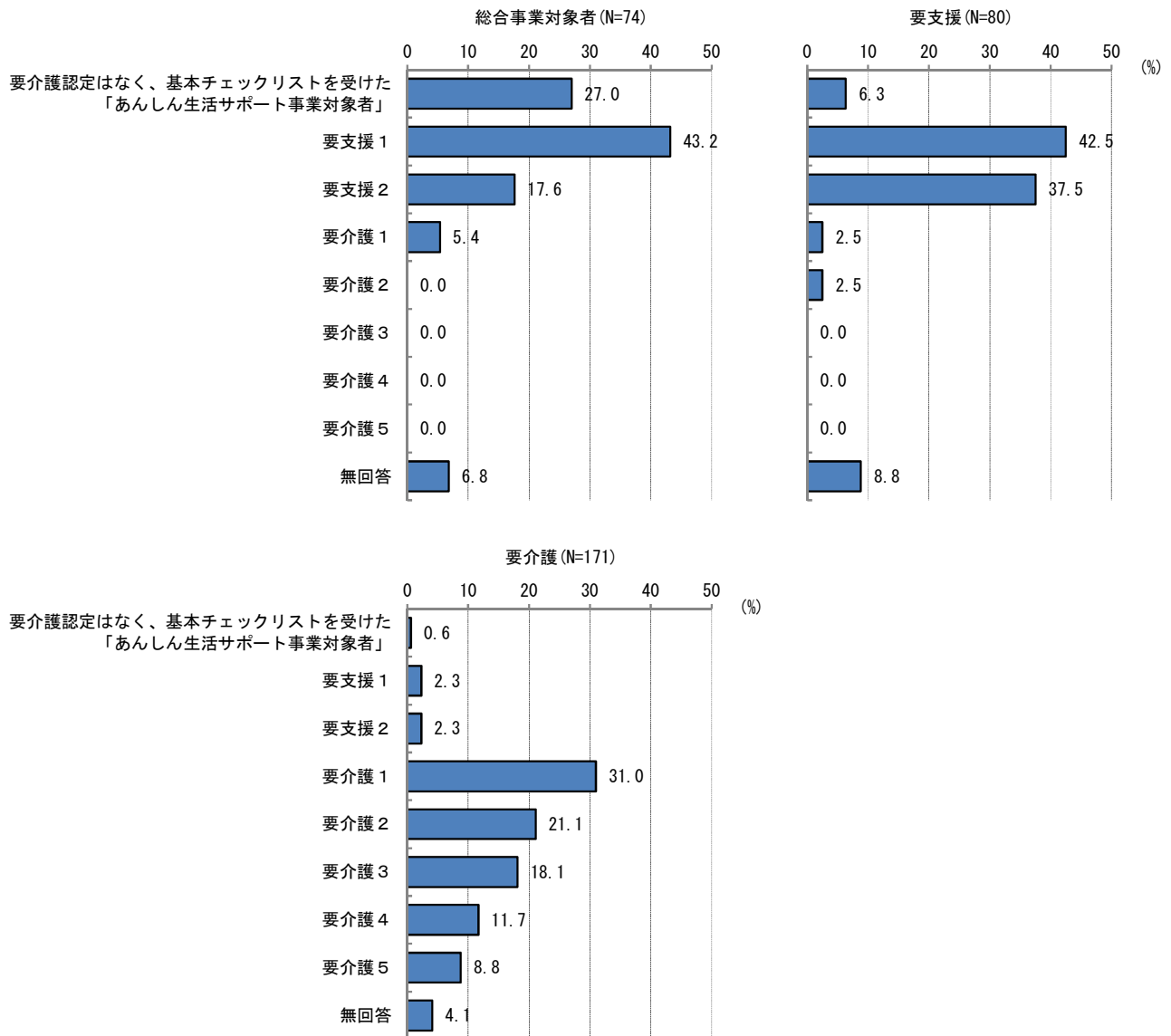
2-4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



現在の暮らしの状況を経済的にみた結果については、すべての区分で「ふつう」が5割台と最も多くなっています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、【総合事業対象者】で37.9%と最も多く、次いで、【要介護】で37.4%、【1号】で32.1%、【2号】で29.9%、【要支援】で27.6%となっています。

〔5〕現在の要介護度

2-5 あなたの現在の要介護度はどれですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

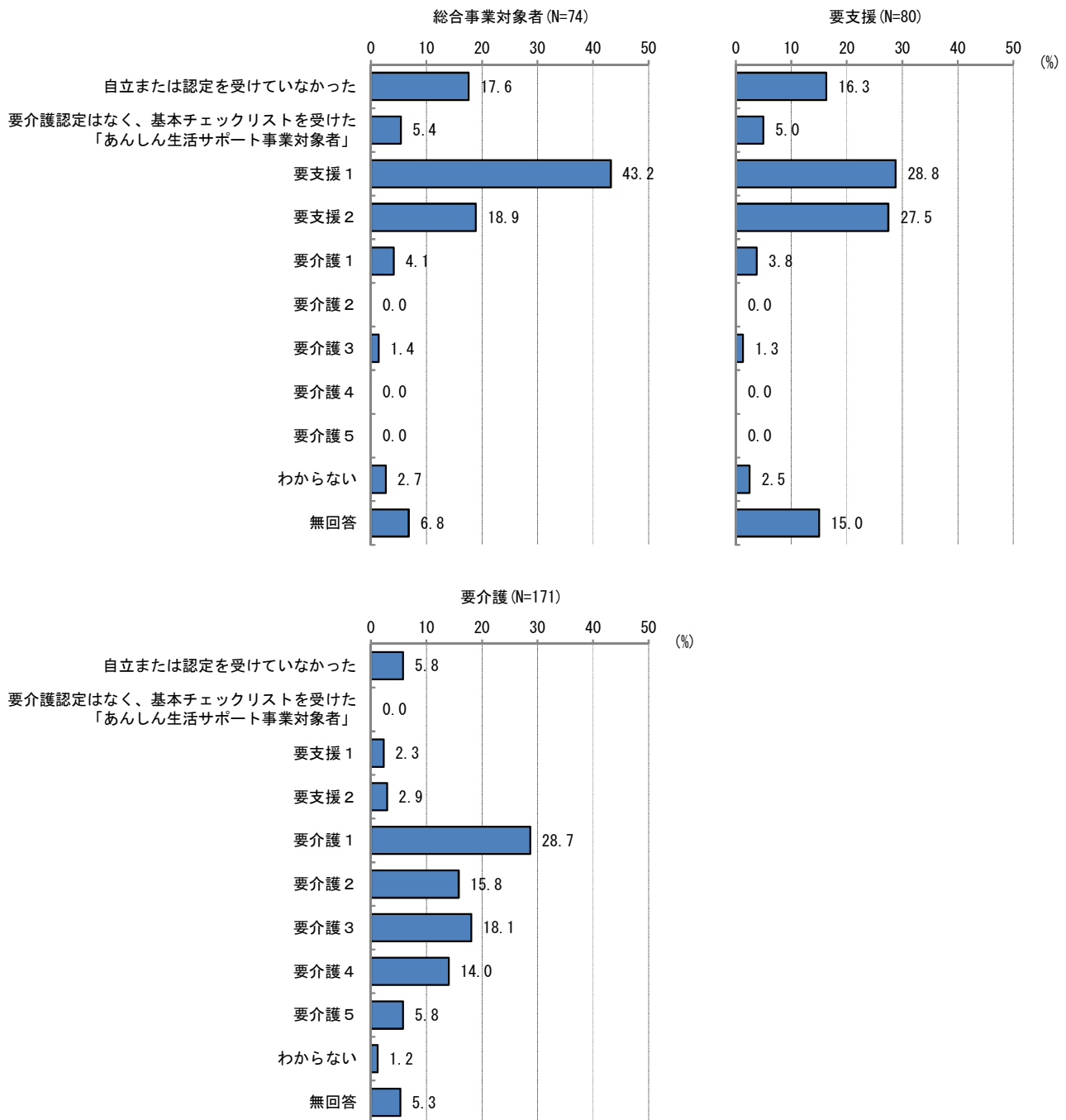


調査対象者の現在の要介護度は、【総合事業対象者】では「要支援1」が43.2%、「あんしん生活サポート事業対象者」が27.0%、【要支援】では「要支援1」が42.5%、「要支援2」が37.5%となっています。【要介護】では「要介護1」が31.0%、「要介護2」が21.1%となっており、要介護1および2で過半数を占めています。

II. 調査結果

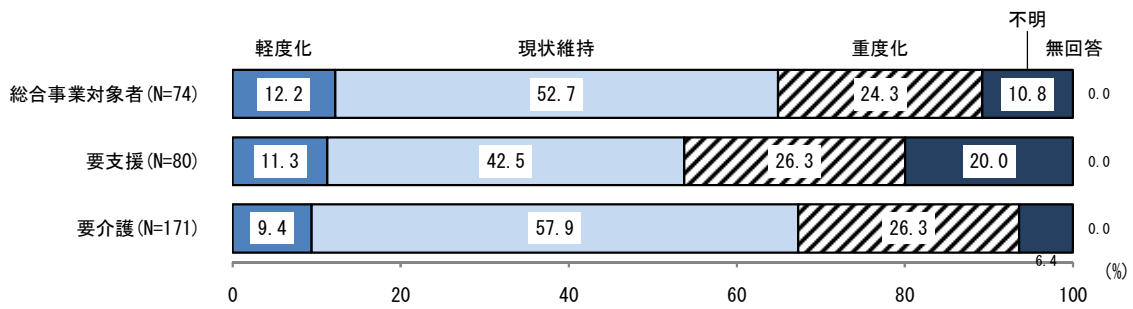
〔6〕 1年前の要支援・要介護度

2-6 1年前の要支援・要介護度はどれでしたか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



1年前の要支援・要介護度については、【総合事業対象者】では、「要支援1」が43.2%と最も多く、次いで、「要支援2」が18.9%、「自立または認定を受けていなかった」が17.6%となっています。【要支援】では、「要支援1」が28.8%と最も多く、次いで、「要支援2」が27.5%、「自立または認定を受けていなかった」が16.3%となっています。【要介護】では、「要介護1」が28.7%と最も多く、次いで、「要介護3」が18.1%、「要介護2」が15.8%となっています。

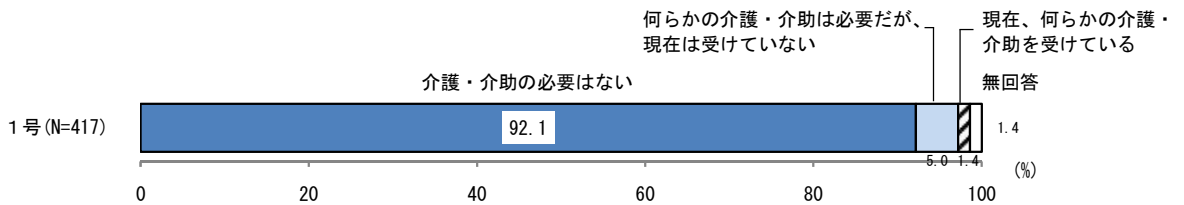
■要支援・要介護度の変化の状況



要支援・要介護度の変化の状況をみると、すべての区分で「現状維持」が最も多く、4～5割台となっています。「軽度化」は1割前後、「重度化」は2割台となっています。

〔7〕介護・介助の必要性

2-7 あなたは、普段の生活で、どなたかの介護・介助が必要ですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



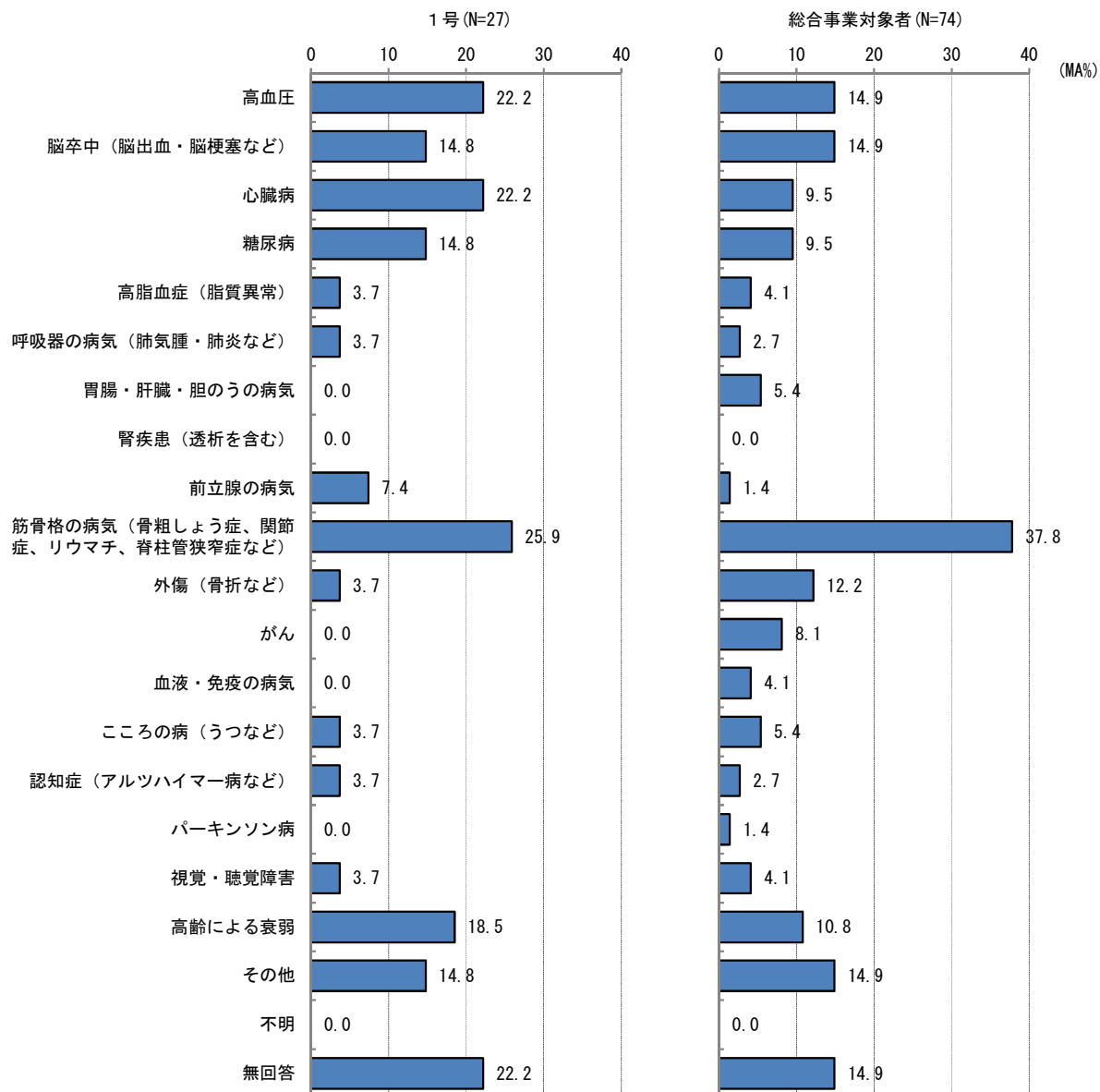
【1号】のかたで、普段の生活に介護・介助の必要があるかどうかについては、「介護・介助の必要はない」が92.1%と最も多く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.0%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が1.4%となっています。

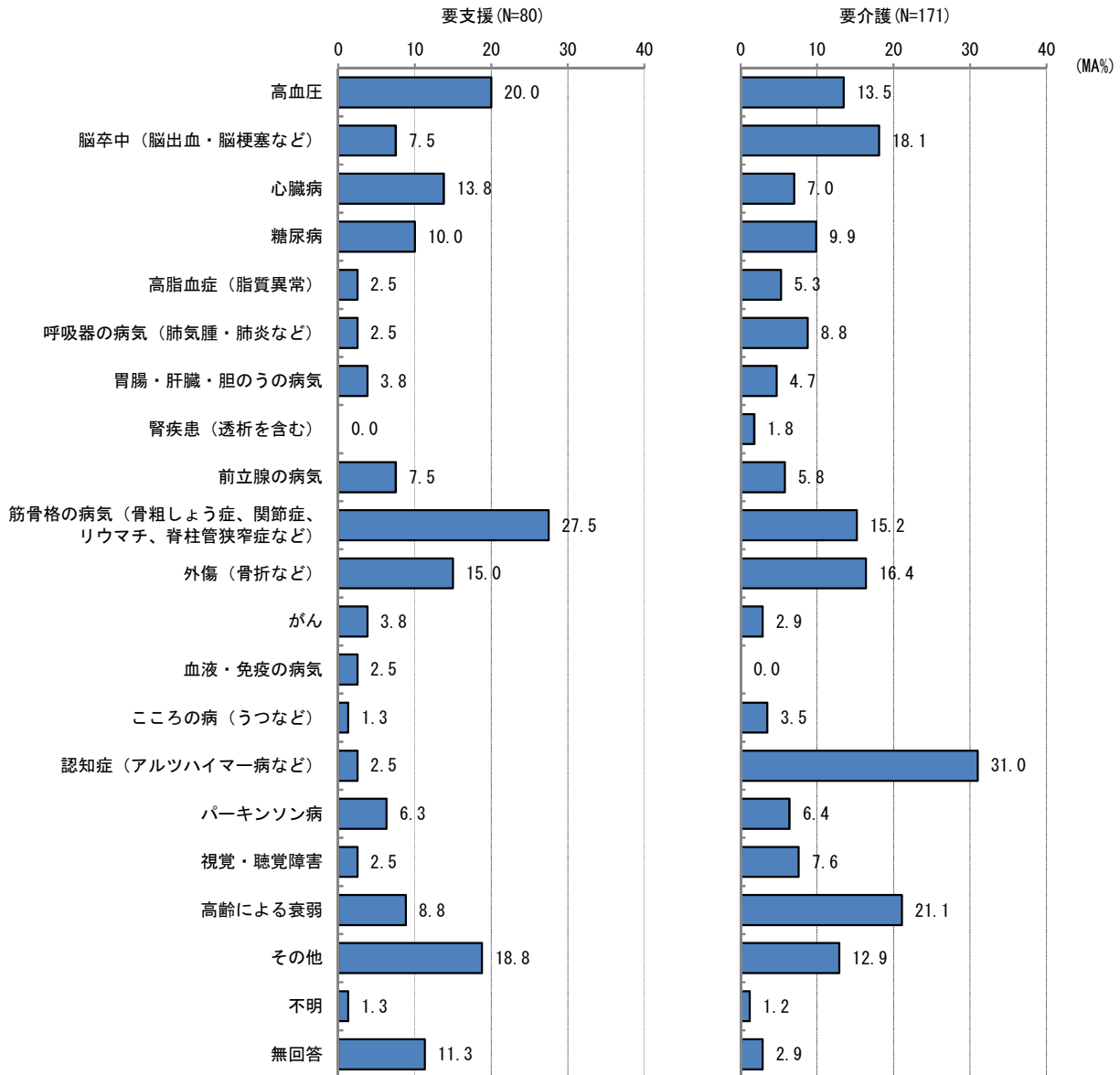
II. 調査結果

〔8〕 介護・介助が必要になった原因

【1号】については2-7で2または3のいずれかに○をつけたかた（＝介護・介助が必要）のみ

2-8 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。





介護・介助が必要になった主な原因については、【1号】では「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症、リウマチ、脊柱管狭窄症など)」が25.9%と最も多く、次いで、「高血圧」、「心臓病」がそれぞれ22.2%となっています。【総合事業対象者】では「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症、リウマチ、脊柱管狭窄症など)」が37.8%と最も多く、次いで、「高血圧」、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞など)」がそれぞれ14.9%となっています。【要支援】では「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症、リウマチ、脊柱管狭窄症など)」が27.5%と最も多く、次いで、「高血圧」が20.0%となっています。【要介護】では「認知症 (アルツハイマー病など)」が31.0%と最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が21.1%、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞など)」が18.1%となっています。

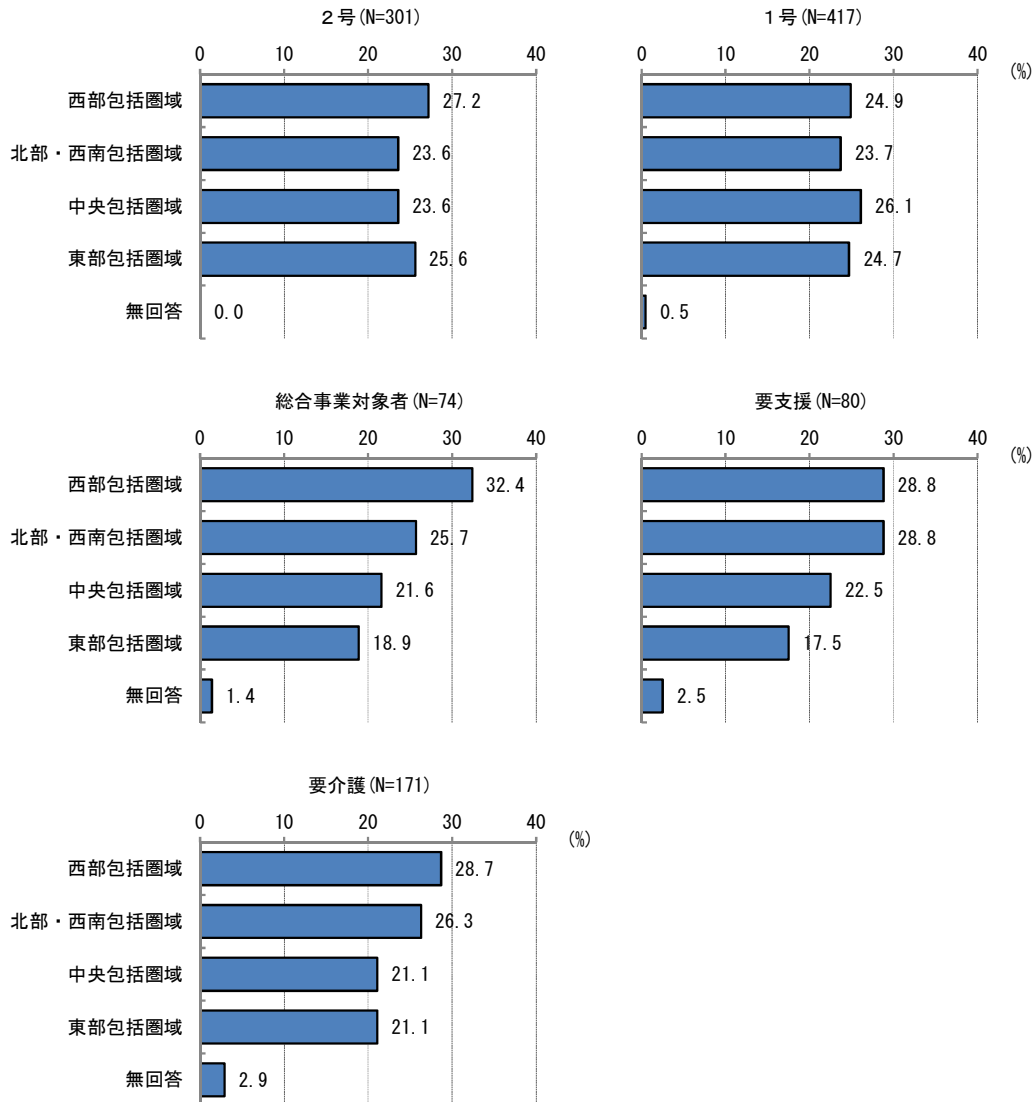
II. 調査結果

3. お住まいと世帯について

〔1〕 居住地域

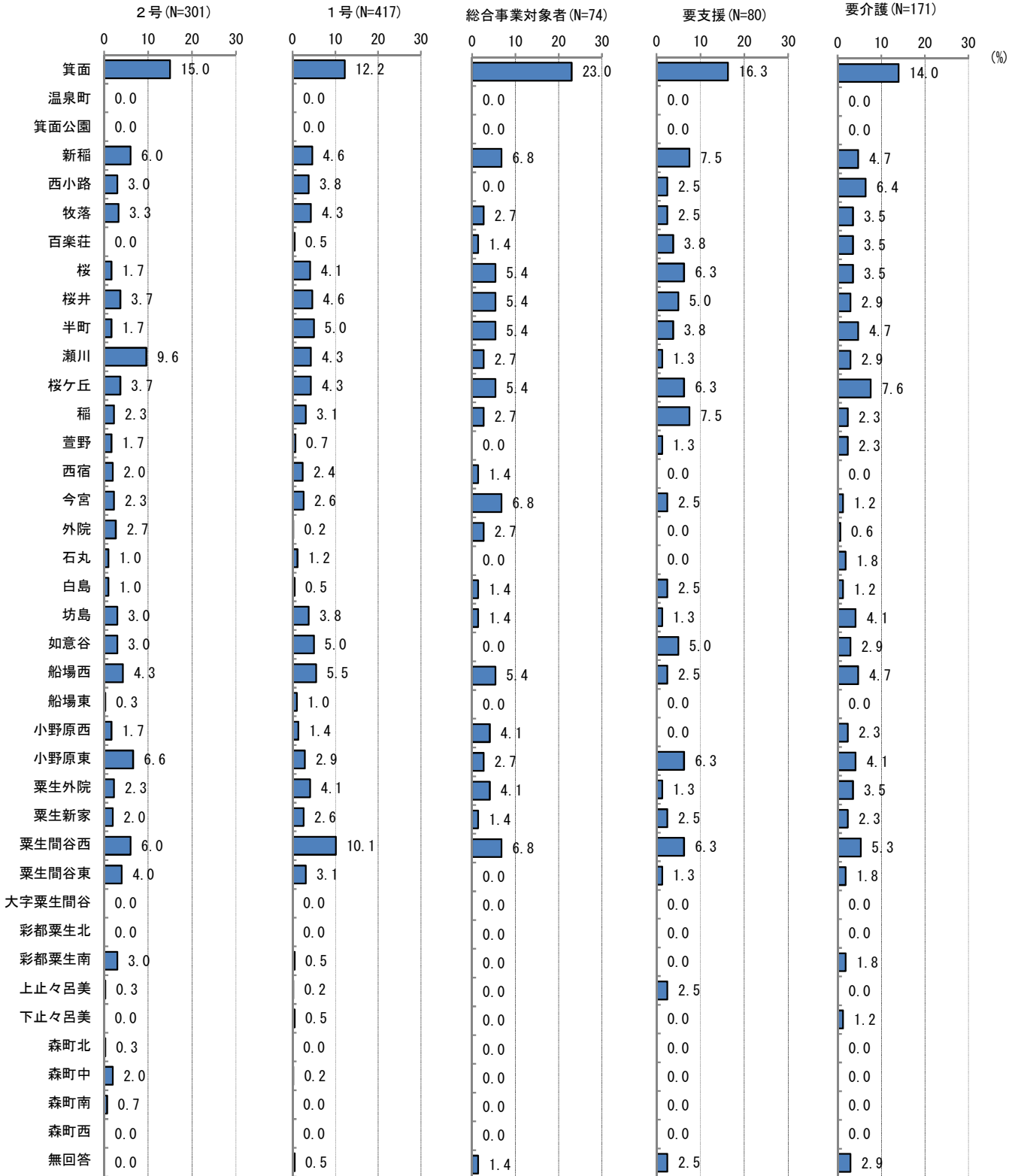
3-1 あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

【圏域別】



居住地域は、圏域別にみると、【2号】【1号】ではどの圏域も大きな差はなく、2割台となっています。【総合事業対象者】は「西部包括圏域」で最も多く、「東部包括圏域」では少なくなっています。【要支援】は「西部包括圏域」、「北部・西南包括圏域」で最も多く、「東部包括圏域」では少なくなっています。【要介護】は「西部包括圏域」、「北部・西南包括圏域」で多くなっています。

【住所地別】

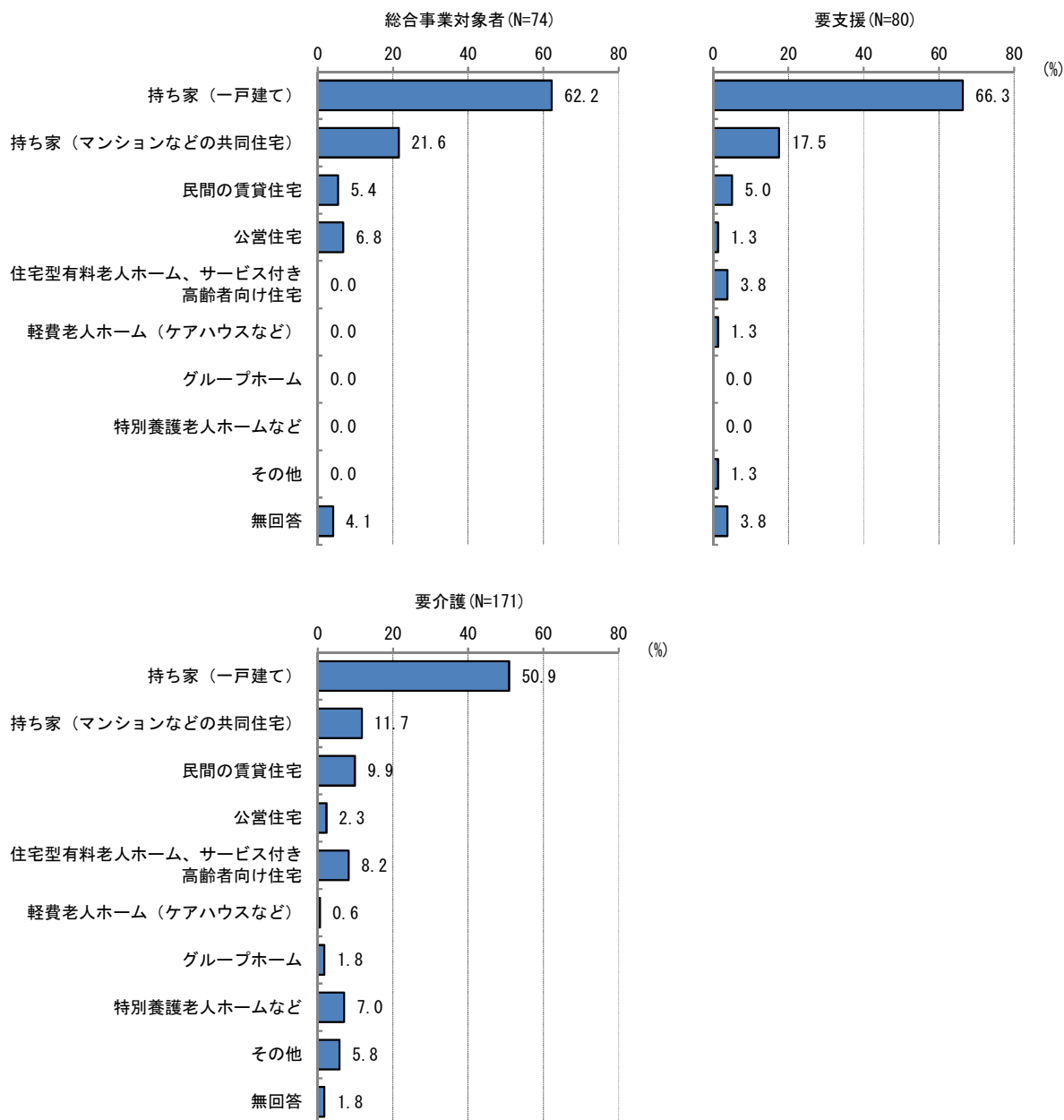


住所地別にみると、すべての区分で「箕面地区」が最も多くなっています。次いで、【2号】では「瀬川地区」、【1号】では「粟生間谷西地区」、【総合事業対象者】では「新稲地区」「今宮地区」「粟生間谷西地区」、【要支援】では「新稲地区」「稲地区」、【要介護】では「桜ヶ丘地区」となっています。

II. 調査結果

〔2〕住居形態

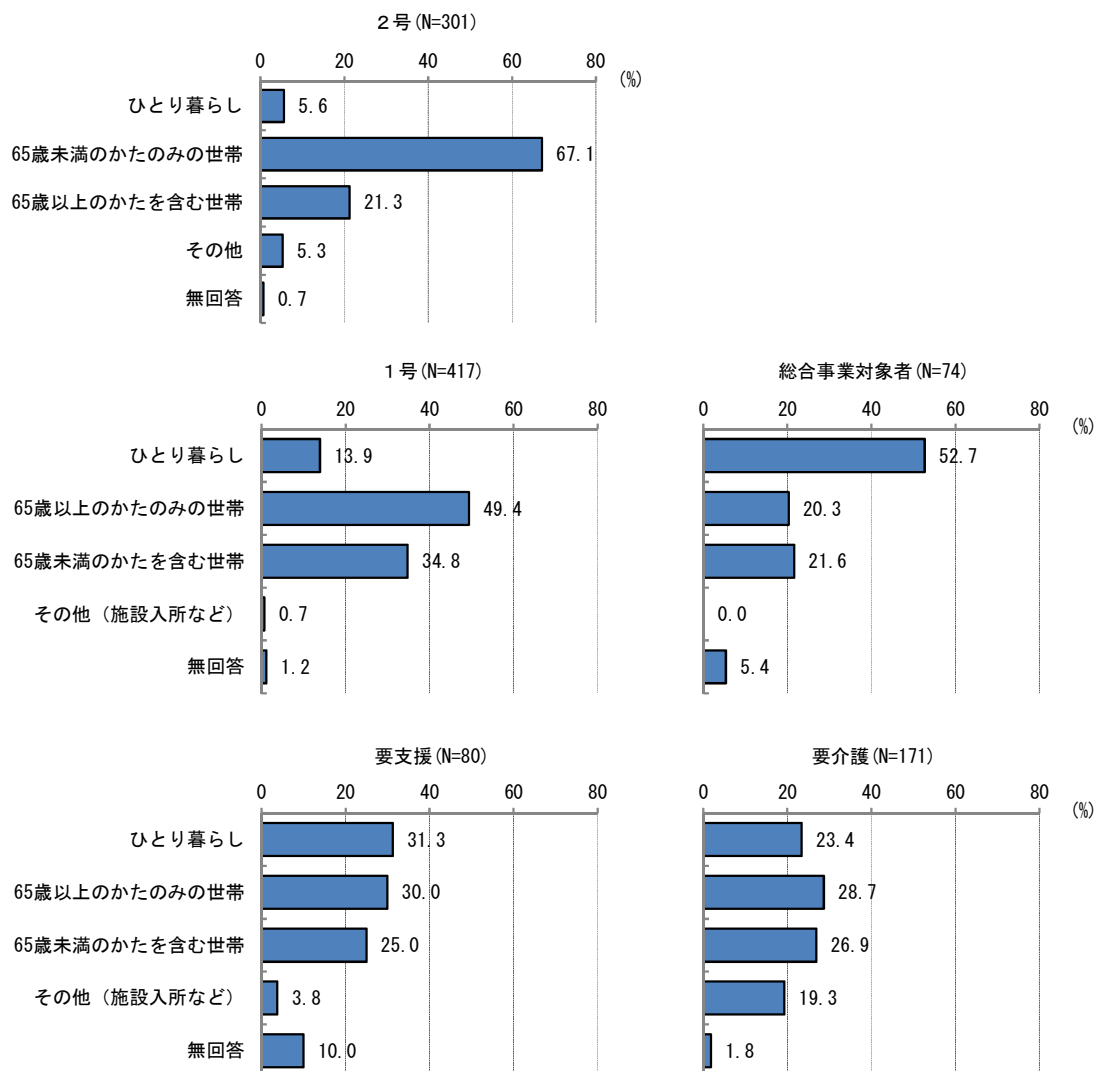
3-2 現在のお住まいについておたずねします。あてはまる項目1つに○をつけてください。



現在の住まいについては、すべての区分で「持ち家 (一戸建て)」が最も多く、【総合事業対象者】【要支援】では6割台、【要介護】では5割を占めています。次いで、「持ち家 (マンションなどの共同住宅)」が、【総合事業対象者】で21.6%、【要支援】で17.5%、【要介護】で11.7%となっています。また、【総合事業対象者】では「公営住宅」、【要介護】では「民間の賃貸住宅」、「住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅」、「特別養護老人ホームなど」も1割弱みられます。

〔3〕世帯の状況

3-3 あなたの世帯の状況についておたずねします。あてはまる項目1つに○をつけてください。



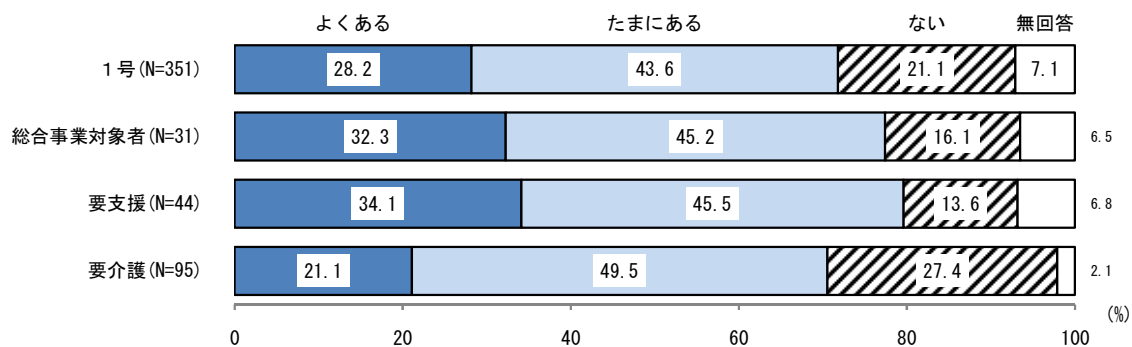
世帯の状況については、【2号】では「65歳未満のかたのみの世帯」が最も多く、7割近くを占めています。【1号】では「65歳以上のかたのみの世帯」、【総合事業対象者】では「ひとり暮らし」が最も多くなっています。【要支援】では「ひとり暮らし」、「65歳以上のかたのみの世帯」が3割ずつ、【要介護】では「65歳以上のかたのみの世帯」、「65歳未満のかたを含む世帯」が3割弱ずつみられます。また、「ひとり暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計についてみると、【1号】では63.3%、【総合事業対象者】では73.0%、【要支援】では61.3%、【要介護】では52.1%となっています。

Ⅱ. 調査結果

〔4〕日中独居の状況

3-3で2または3のいずれかに○をつけたかた(=「ひとり暮らし」「その他」以外)のみ

3-4 あなたは日中、一人になることがありますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

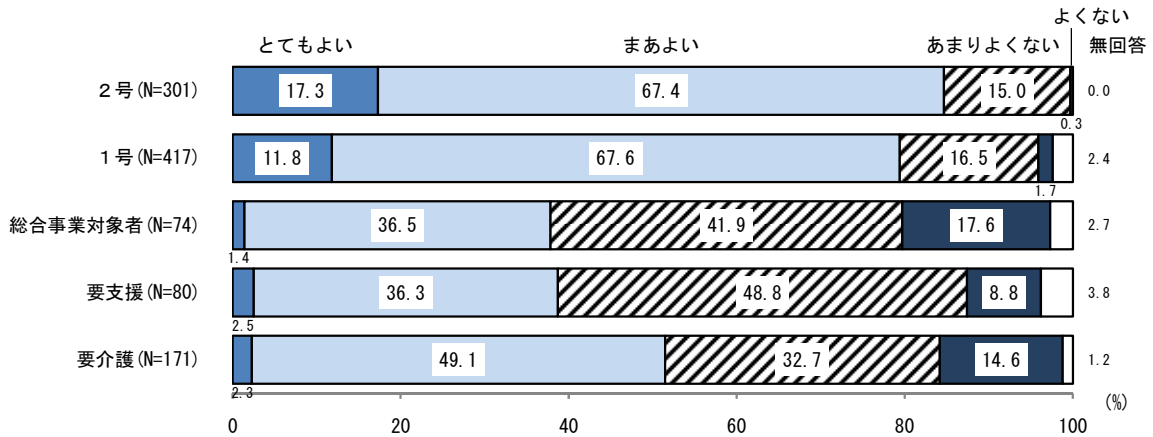


ひとり暮らし以外のかたが日中一人でいる頻度について、「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』は、【1号】で71.8%、【総合事業対象者】で77.5%、【要支援】で79.6%、【要介護】で70.6%となっています。また、「よくある」は【要支援】で34.1%と最も多くなっています。

4. 健康・医療について

〔1〕現在の健康状態

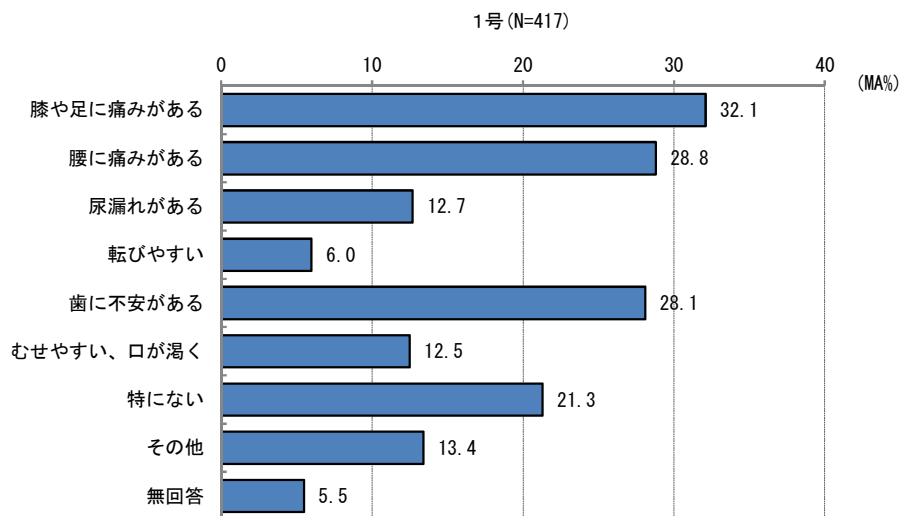
4-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



現在の健康状態について、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は、【2号】で84.7%、【1号】で79.4%と多く、【総合事業対象者】では37.9%、【要支援】では38.8%、【要介護】では51.4%となっています。一方、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『よくない』は、【総合事業対象者】で59.5%、【要支援】で57.6%、【要介護】で47.3%と、半数前後を占めています。

〔2〕体のことで不安なこと

4-2 あなたは、体のことで不安なことはありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

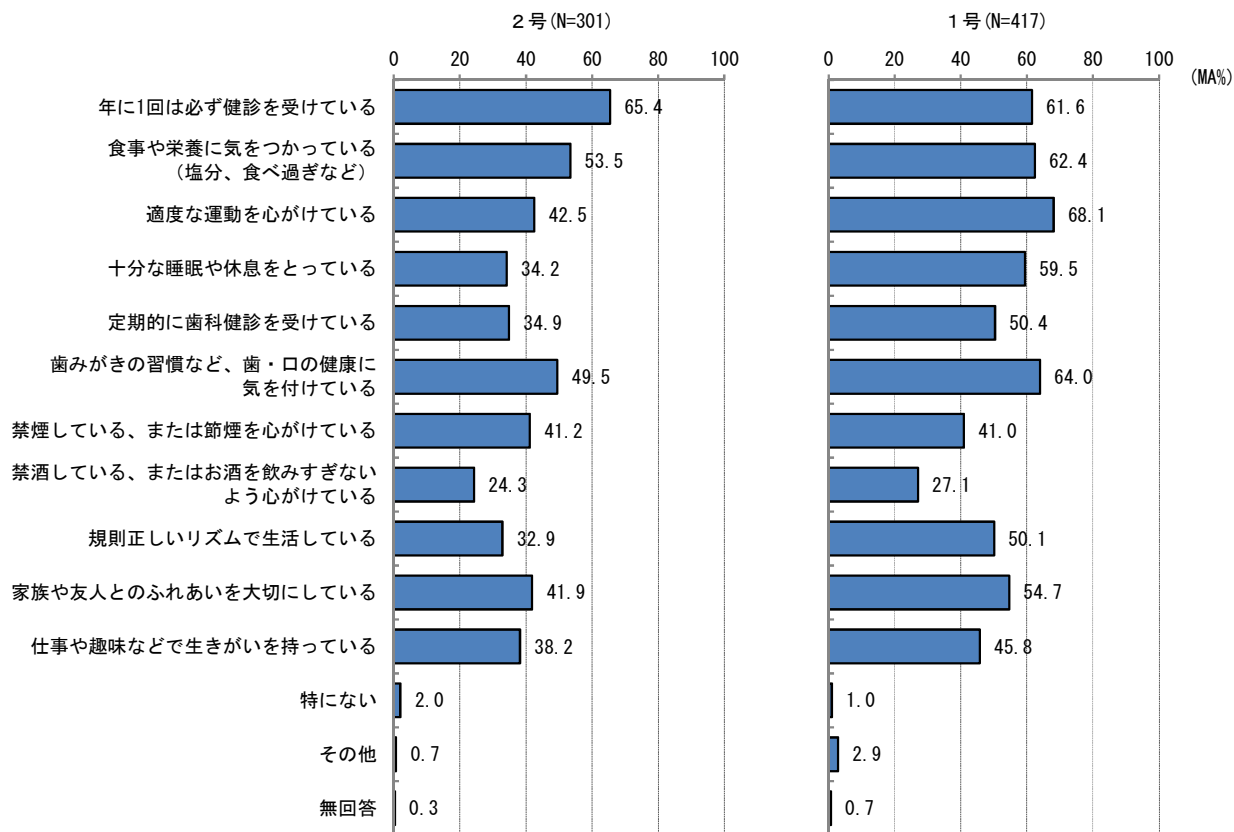


【1号】のかたの体のことで不安なことは、「膝や足に痛みがある」が32.1%と最も多く、次いで、「腰に痛みがある」が28.8%、「歯に不安がある」が28.1%となっています。

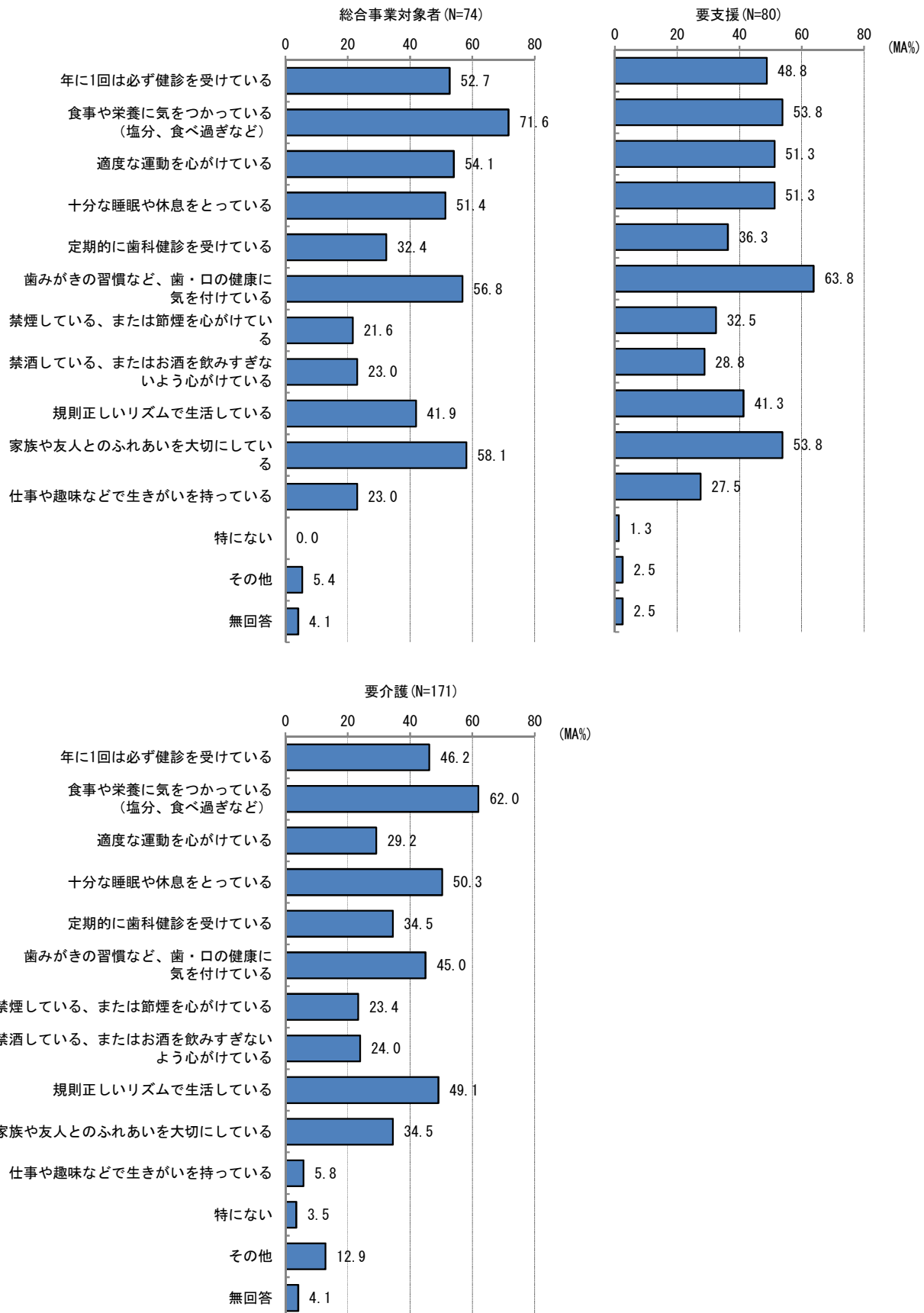
II. 調査結果

〔3〕健康のために気を付けていること

4-3 健康や介護予防のために気を付けていることはありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



II. 調査結果

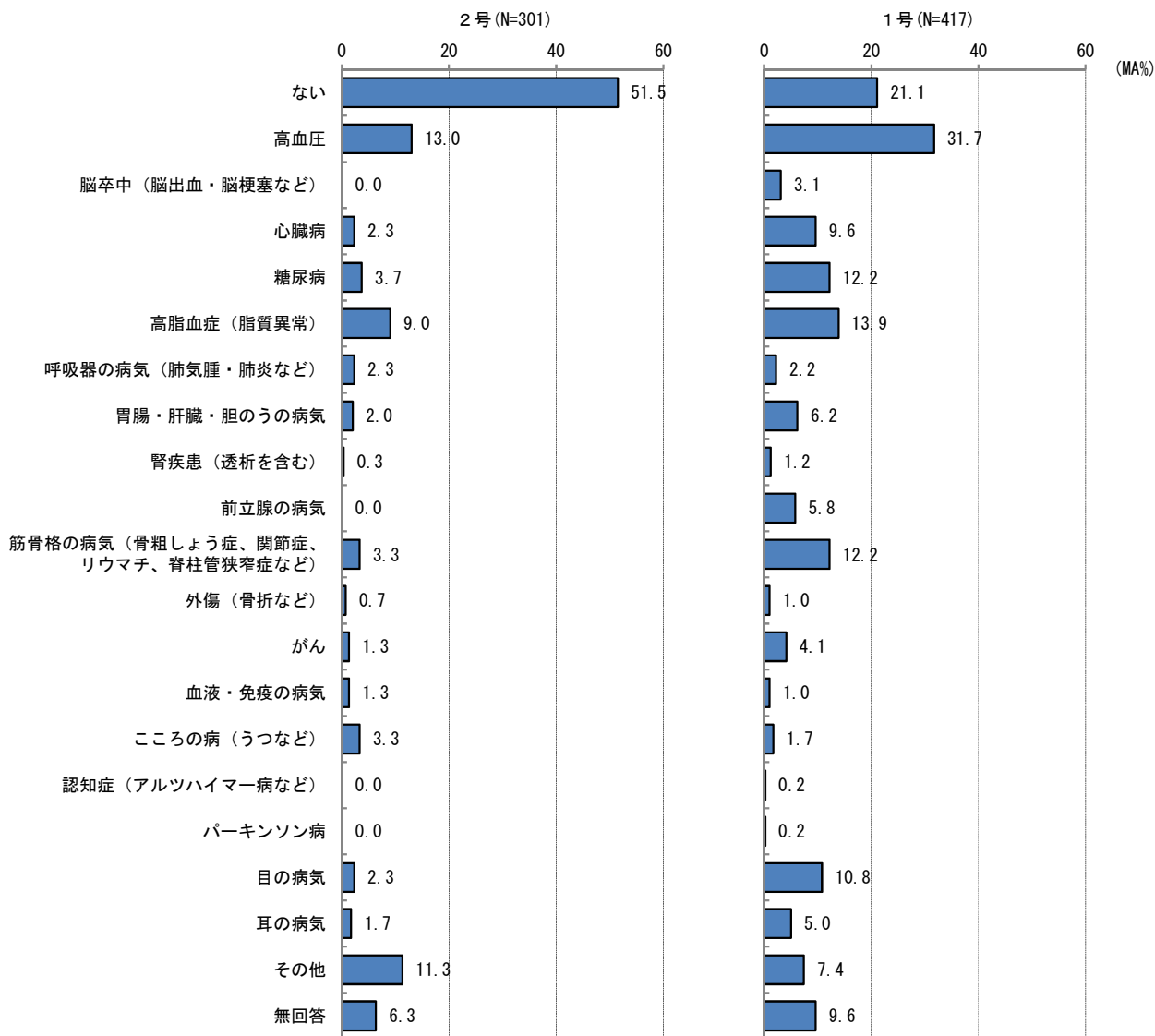


健康や介護予防のために気を付けていることについては、【2号】では「年に1回は必ず健診を受けている」、【1号】では「適度な運動を心がけている」が最も多く、また【1号】では多くの項目が6割前後と、他の区分に比べて割合が高くなっています。【総合事業対象者】【要介護】では「食事や栄養に気が付いている（塩分、食べ過ぎなど）」、【要支援】では「歯みがきの習慣など、歯・口の健康に気を付けている」が最も多くなっています。

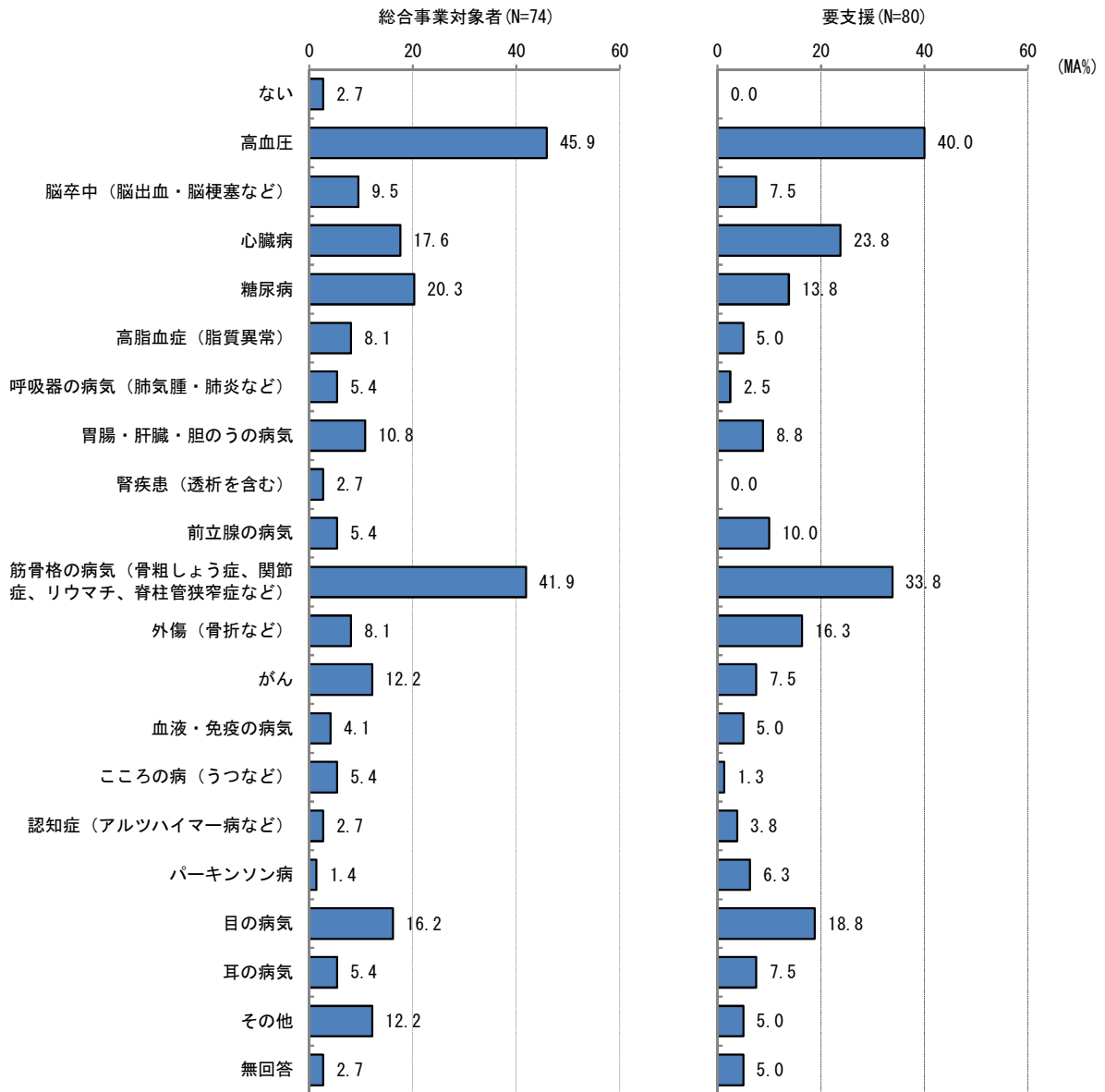
II. 調査結果

〔4〕 持病または現在治療中の病気

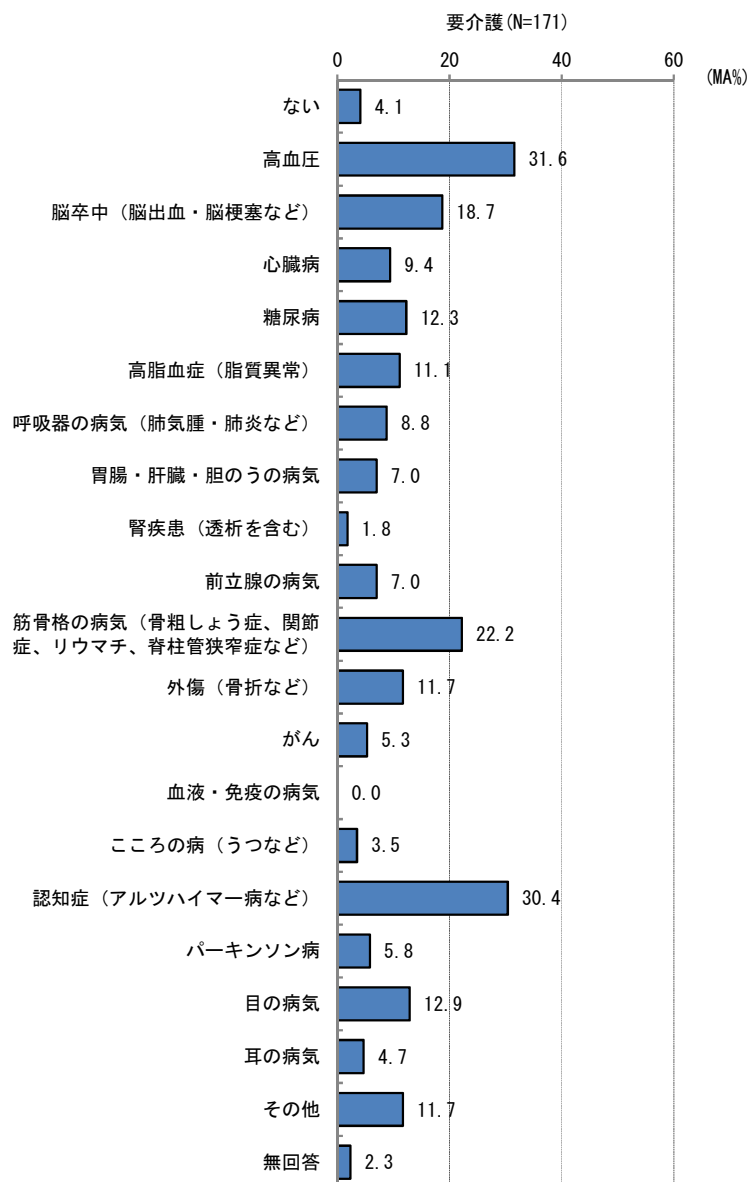
4-4 持病または現在治療中の病気はありますか。また、現在後遺症のあるかたは、その原因となった病気は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



II. 調査結果



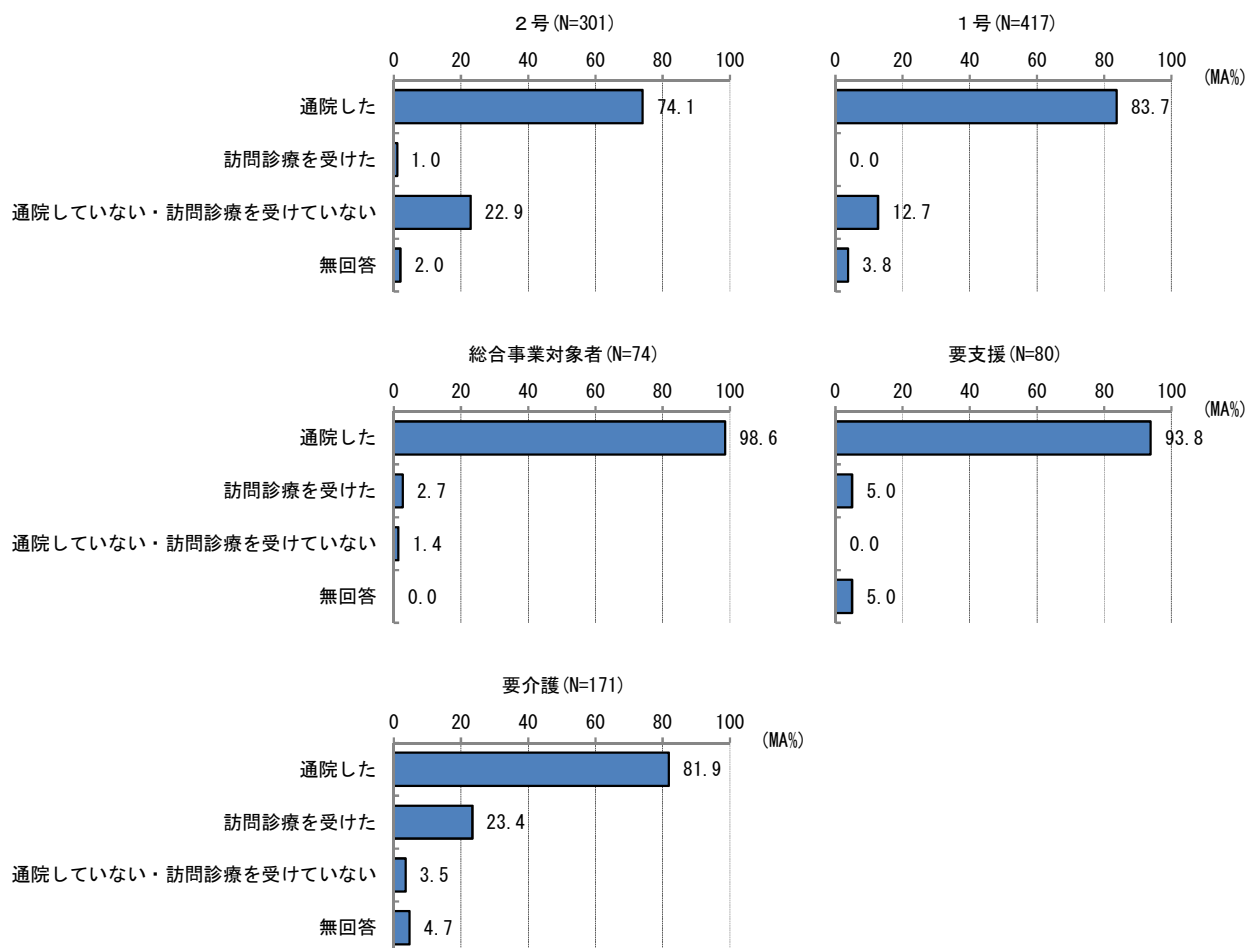
II. 調査結果



持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気については、【2号】では「ない」が51.5%と最も多くなっています。【1号】【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では「高血圧」が最も多く、次いで、【総合事業対象者】【要支援】では「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症、リウマチ、脊柱管狭窄症など)」、【要介護】では「認知症 (アルツハイマー病など)」が多くなっています。

〔5〕 過去1年間に通院、訪問診療を受けたか

4-5 あなたは過去1年間に、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しましたか。または、訪問診療を受けましたか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



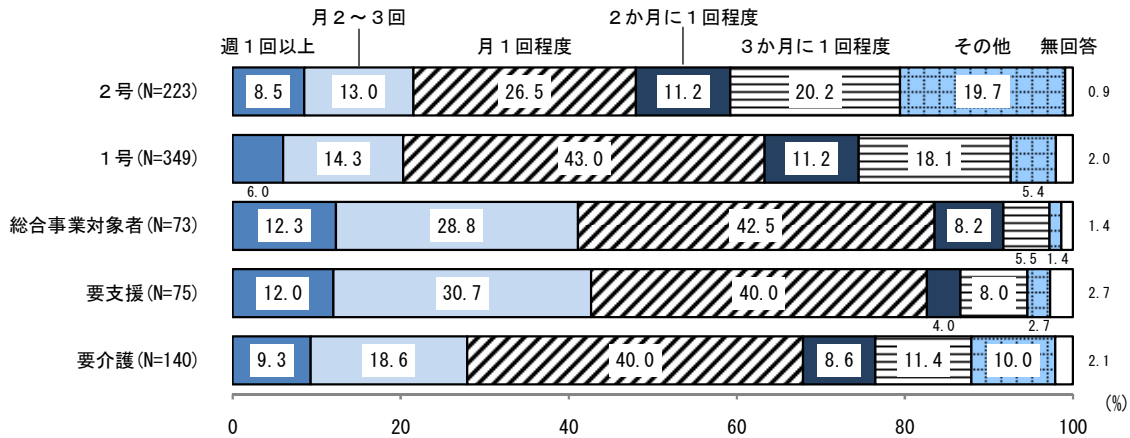
過去1年間に、病院・医院（診療所、クリニック）に通院、または、訪問診療を受けたかについては、すべての区分で「通院した」が最も多く、とくに、【総合事業対象者】【要支援】では9割以上と多くなっています。「訪問診療を受けた」は【要介護】で23.4%と、他の区分より多くなっています。

II. 調査結果

〔6〕 通院の頻度

4-5で「1 通院した」に○をつけたかたのみ

4-6 通院の頻度について、あてはまる項目1つに○をつけてください。

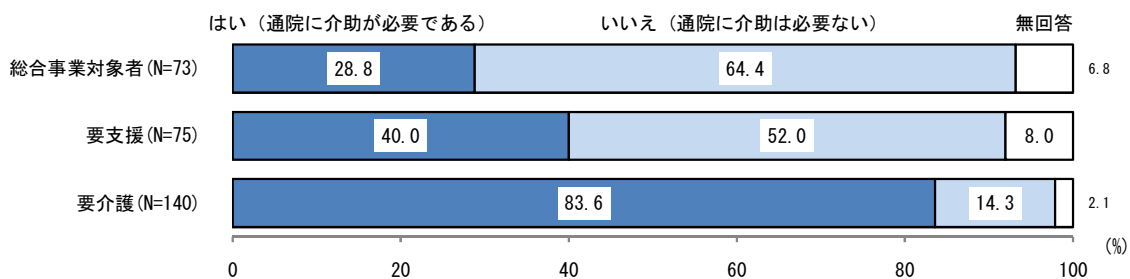


通院しているかたの通院頻度については、すべての区分で「月1回程度」が最も多く、【2号】で2割台、それ以外の区分では4割程度を占めています。また、「週1回以上」、「月2~3回」と頻繁に通院している人は、【総合事業対象者】や【要支援】で4割台と多くなっています。

〔7〕 通院介助の必要

4-5で「1 通院した」に○をつけたかたのみ

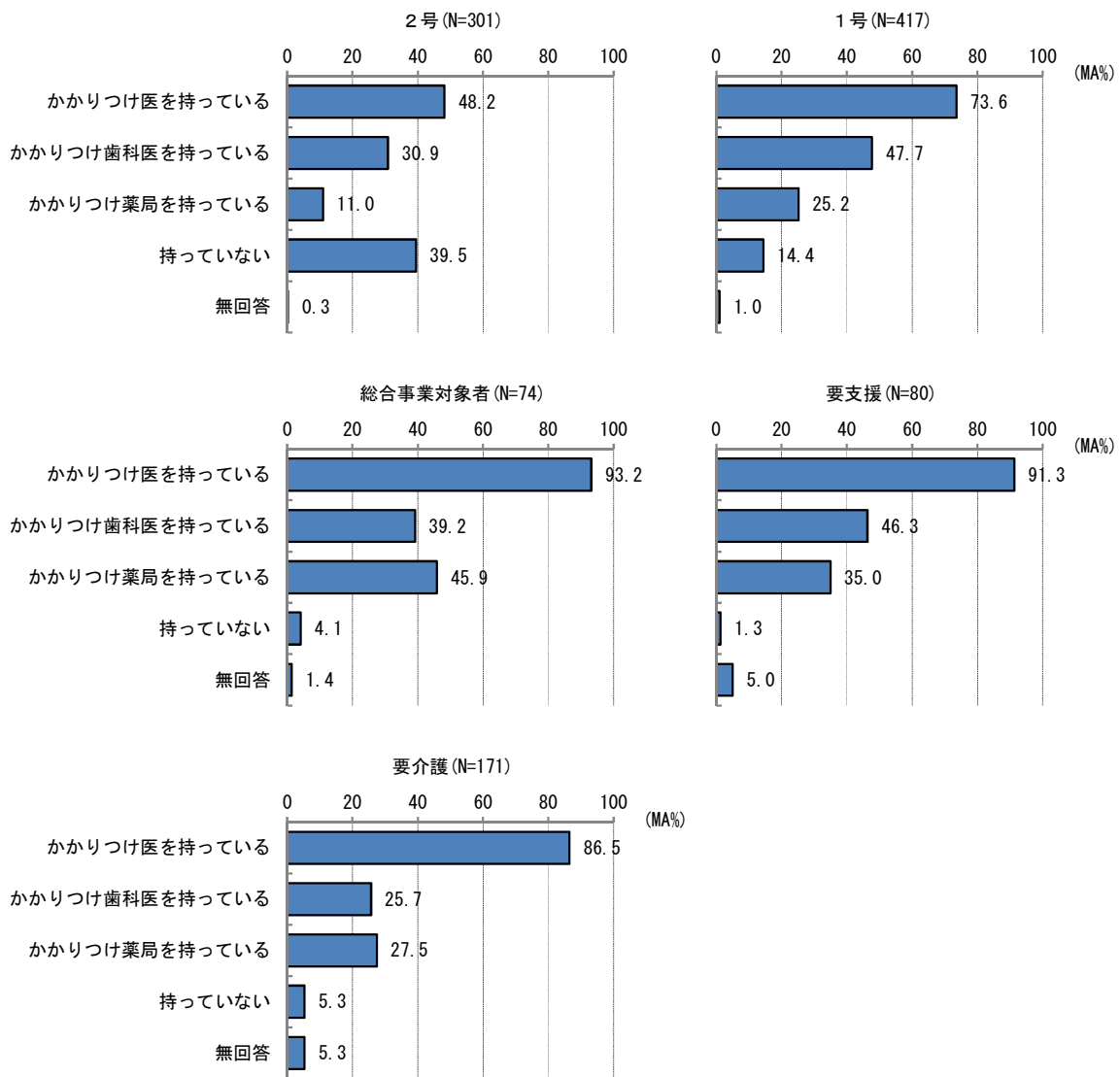
4-7 あなたは、通院に介助が必要ですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



通院しているかたが、通院に介助が必要かについては、【総合事業対象者】【要支援】では「いいえ (通院に介助は必要ない)」が5~6割を占め、【要介護】では「はい (通院に介助が必要である)」が83.6%と多くなっています。

〔8〕 かかりつけ医の有無

4-8 あなたは健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などをお持ちですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

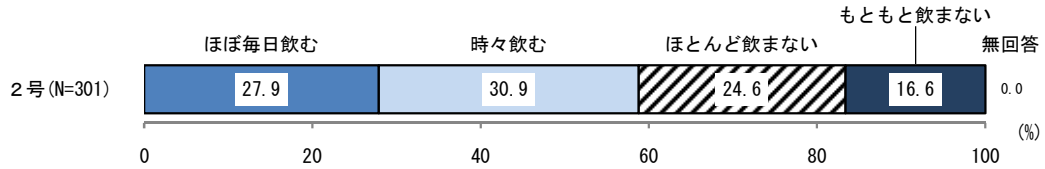


「かかりつけ医」の有無について、「かかりつけ医を持っている」はすべての区分で最も多く、【2号】で5割弱、【1号】で7割、【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では9割前後となっています。「かかりつけ歯科医を持っている」は【1号】【要支援】で4割台と多くなっています。「かかりつけ薬局を持っている」は【総合事業対象者】で4割台と、他の区分より多くなっています。

II. 調査結果

〔9〕 飲酒状況

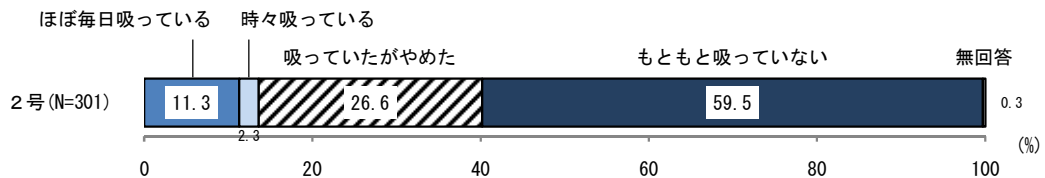
4-9 あなたはお酒を飲みますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



【2号】のかたの飲酒状況は、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』が58.8%、「もともと飲まない」と「ほとんど飲まない」を合わせた『飲まない』が41.2%となっています。

〔10〕 喫煙状況

4-10 あなたはタバコを吸っていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

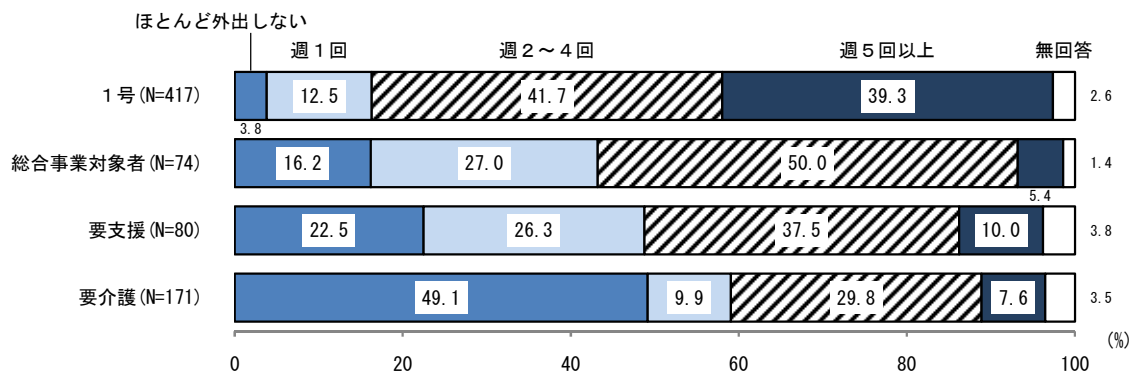


【2号】のかたの喫煙状況は、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が13.6%、「もともと吸っていない」と「吸っていたがやめた」を合わせた『吸っていない』が86.1%となっています。

5. 外出状況について

〔1〕 外出の頻度

5-1 あなたは、週に1回以上は外出していますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



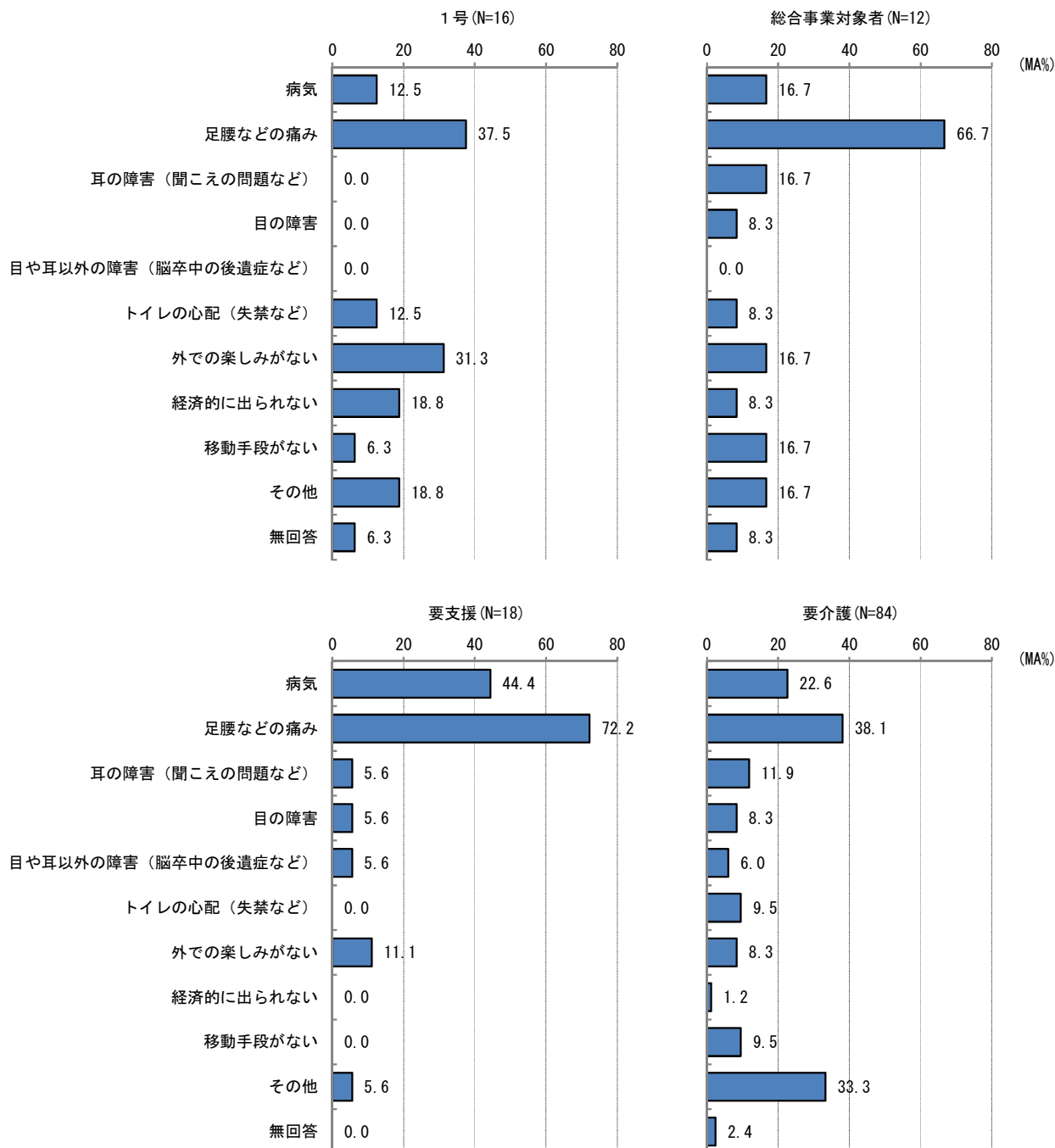
外出の頻度については、【1号】【総合事業対象者】【要支援】では「週2~4回」が4割弱~5割で最も多く、【1号】では「週5回以上」も39.3%と、他の区分より多くなっています。【要介護】では「ほとんど外出しない」が49.1%と半数近くを占め、要介護度の重度化とともに、外出の頻度は下がっていく傾向がみられます。

II. 調査結果

〔2〕 外出しない理由

5-1で「1 ほとんど外出しない」に○をつけたかたのみ

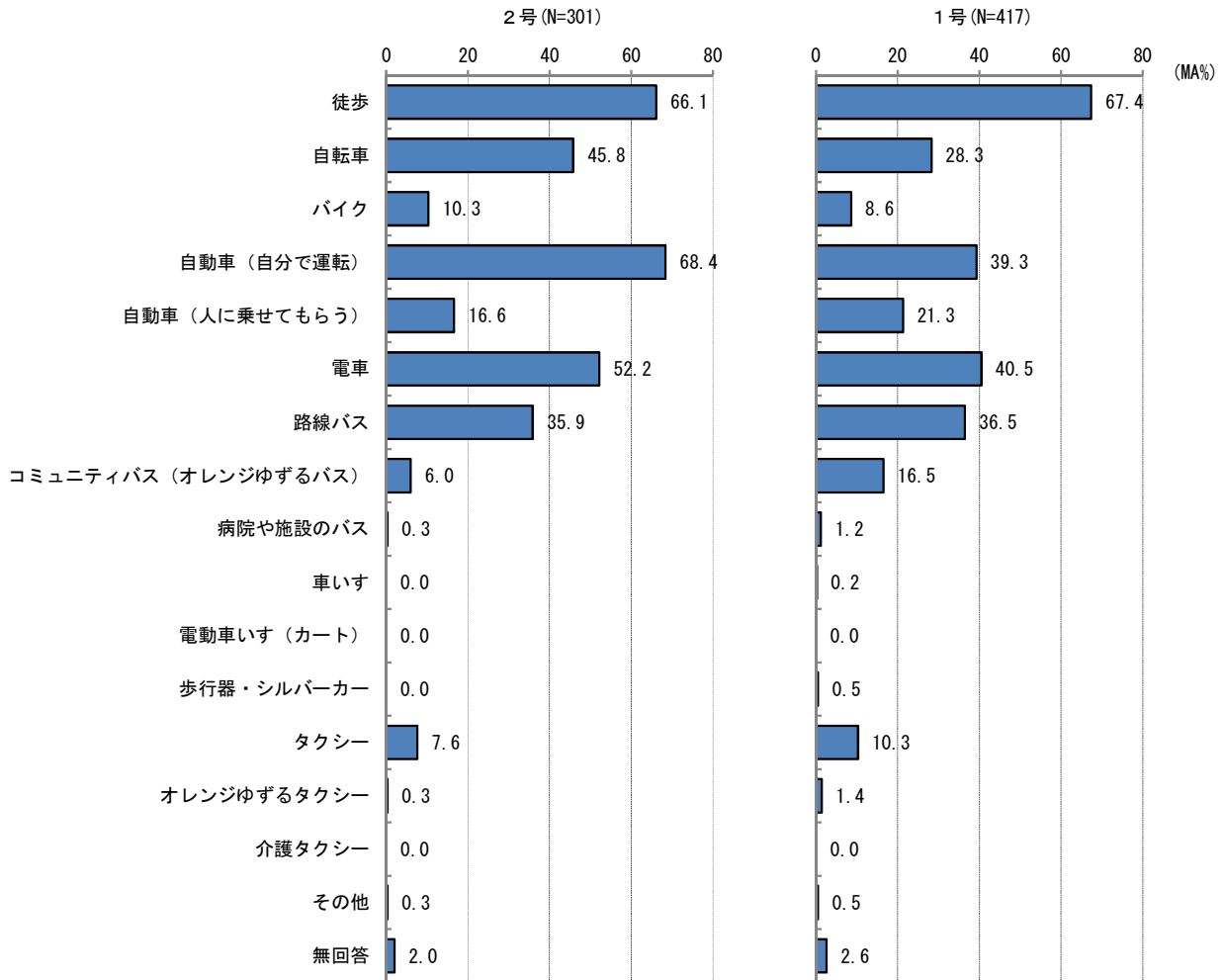
5-2 あなたが外出しない理由は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



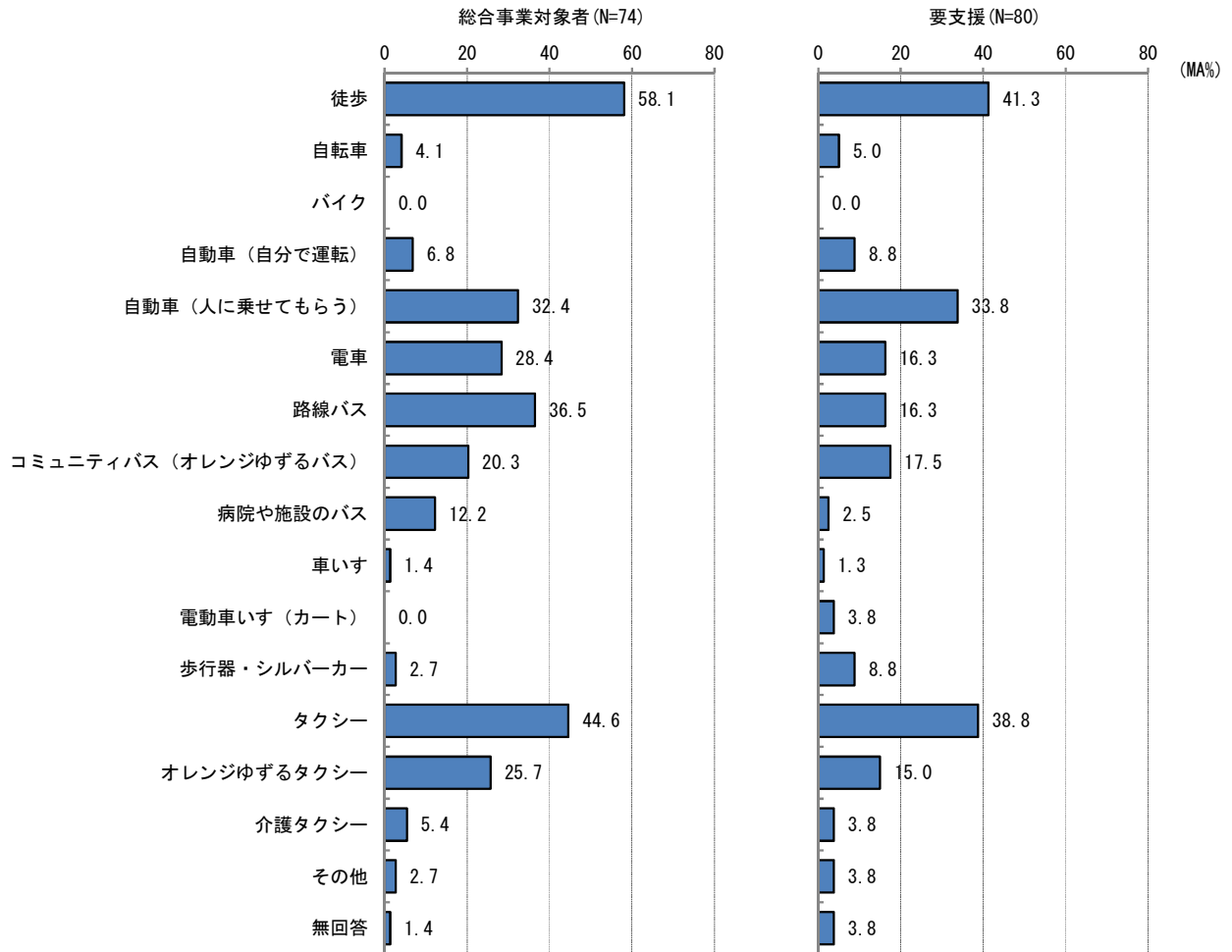
ほとんど外出しないかたの理由は、すべての区分で「足腰などの痛み」が最も多く、とくに、【要支援】では72.2%、【総合事業対象者】では66.7%と多くなっています。次いで、【1号】では「外での楽しみがない」、【総合事業対象者】では「病気」、「耳の障害（聞こえの問題など）」、「外での楽しみがない」、「移動手段がない」、【要支援】【要介護】では「病気」となっています。

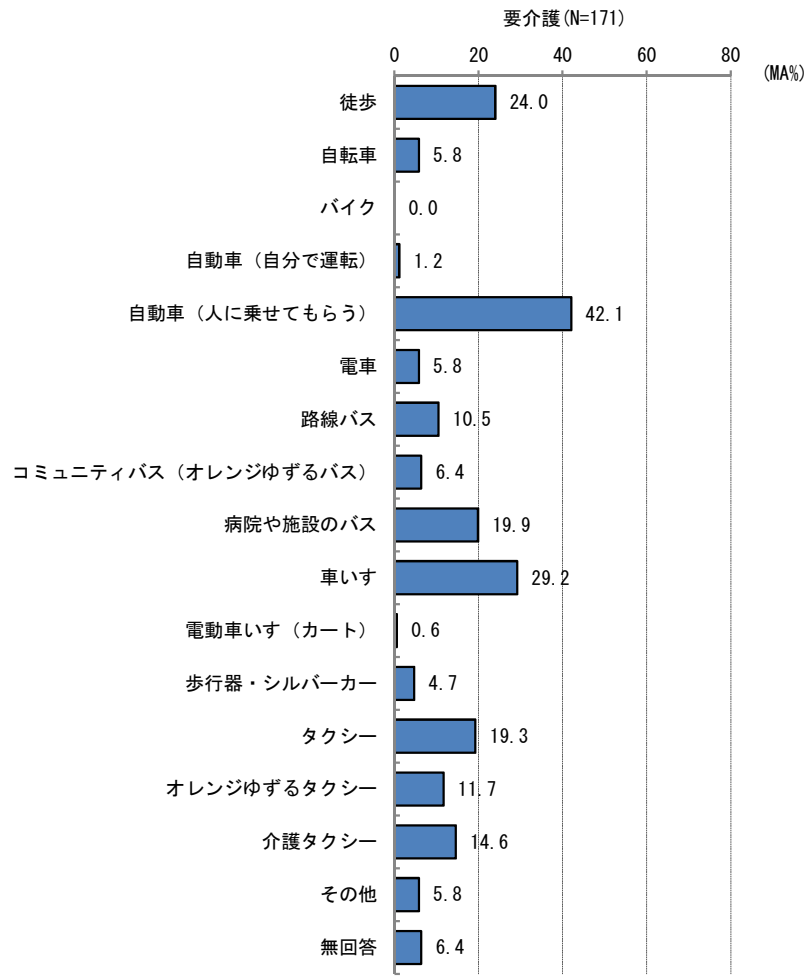
〔3〕 移動手段

5-3 あなたが外出する際の移動手段は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



II. 調査結果

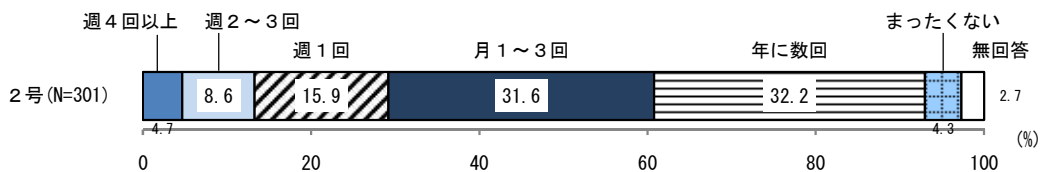




外出する際の移動手段は、【2号】では「自動車 (自分で運転)」が68.4%と最も多く、次いで、「徒歩」が66.1%となっています。【1号】では「徒歩」が67.4%と最も多く、次いで、「電車」が40.5%となっています。【総合事業対象者】では「徒歩」が58.1%と最も多く、次いで、「タクシー」が44.6%となっています。【要支援】では「徒歩」が41.3%と最も多く、次いで、「自動車 (人に乗せてもらう)」、「タクシー」がそれぞれ38.8%となっています。【要介護】は「自動車 (人に乗せてもらう)」が42.1%と最も多く、次いで、「車いす」が29.2%となっています。

〔4〕趣味のための外出や、仲間と交流する機会

5-4 趣味のために外出したり、友人など仲間と交流する機会は、どの程度ありますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



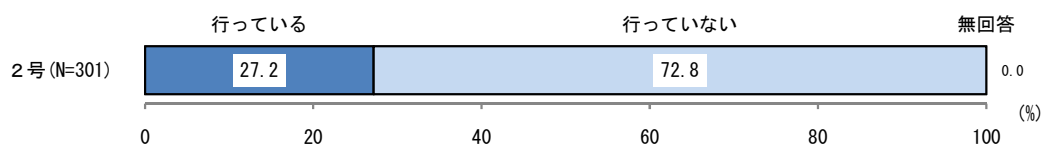
【2号】のかたが、趣味のために外出したり、友人など仲間と交流する機会については、「年に数回」が32.2%と最も多く、次いで、「月1~3回」が31.6%となっています。

II. 調査結果

6. 運動習慣について

〔1〕運動の状況

6-1 あなたは1回30分以上の息が少し上がる程度以上の運動を、週2回以上かつ1年以上行っていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

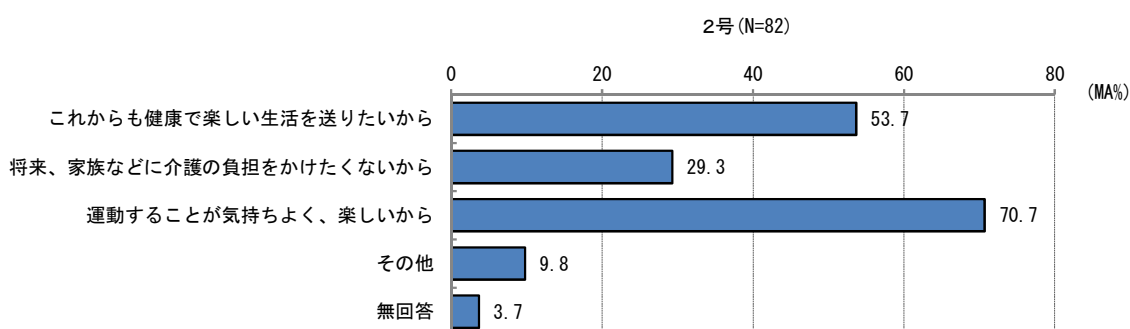


【2号】のかたで、1回30分以上の息が少し上がる程度以上の運動を、週2回以上かつ1年以上行っているかについては、「行っている」が27.2%、「行っていない」が72.8%となっています。

〔2〕運動をする理由

6-1で「1 行っている」に○をつけたかたのみ

6-2 運動をしている理由は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

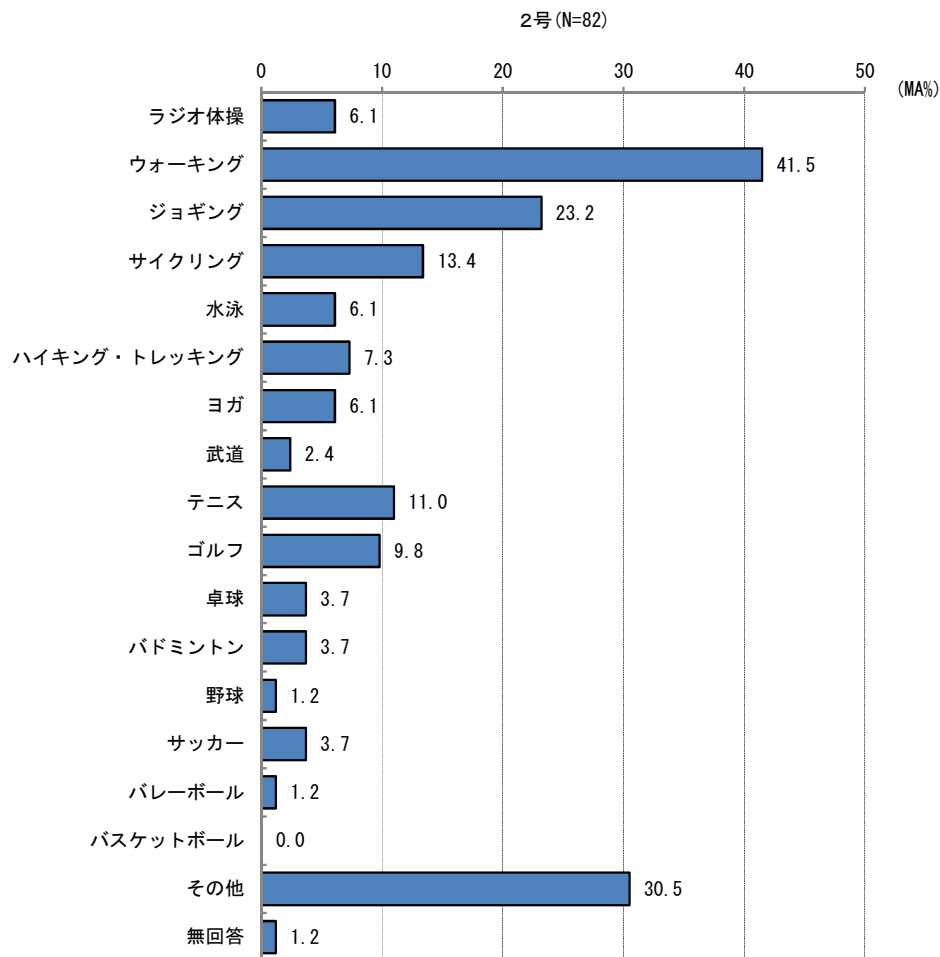


【2号】で運動を行っているかたの、運動をしている理由は、「運動することが気持ちよく、楽しいから」が70.7%と最も多く、次いで、「これからも健康で楽しい生活を送りたいから」が53.7%、「将来、家族などに介護の負担をかけたくないから」が29.3%となっています。

〔3〕主に行っている運動

6-1で「1 行っている」に○をつけたかたのみ

6-3 主に行っている運動は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



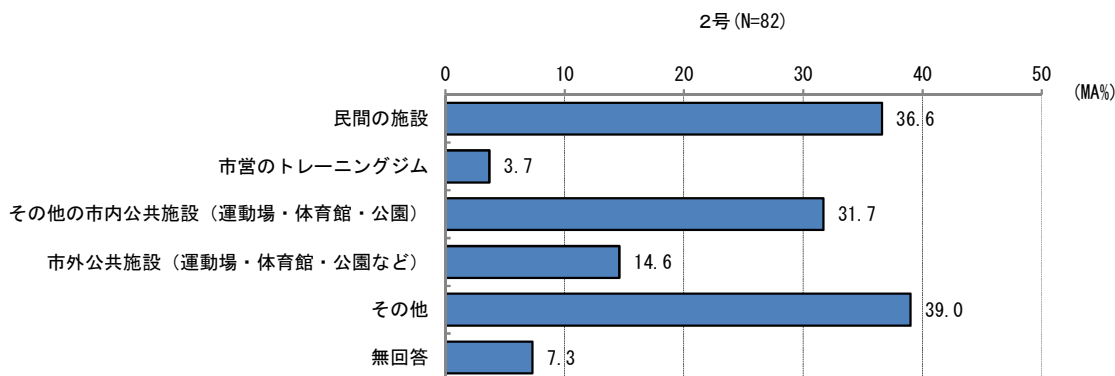
【2号】で運動を行っているかたの、主に行っている運動は、「ウォーキング」が41.5%と最も多く、次いで、「ジョギング」が23.2%、「サイクリング」が13.4%となっています。

II. 調査結果

〔4〕運動を行う場所

6-1で「1 行っている」に○をつけたかたのみ

6-4 その運動はどこで行っていますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

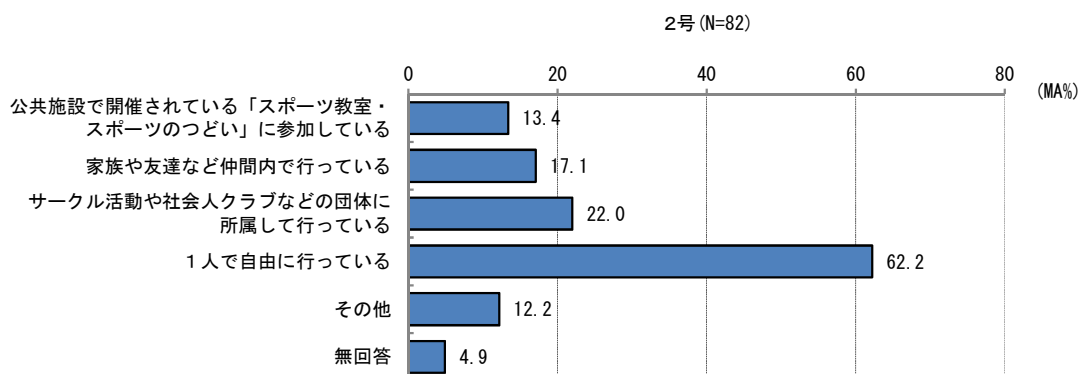


【2号】で運動を行っているかたが、その運動をどこで行っているかについては、「民間の施設」が36.6%と最も多く、次いで、「その他の市内公共施設 (運動場・体育館・公園)」が31.7%、「市外公共施設 (運動場・体育館・公園など)」が14.6%、「市営のトレーニングジム」が3.7%となっています。

〔5〕運動を行っている状況

6-1で「1 行っている」に○をつけたかたのみ

6-5 その運動はどのような状況で行っていますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



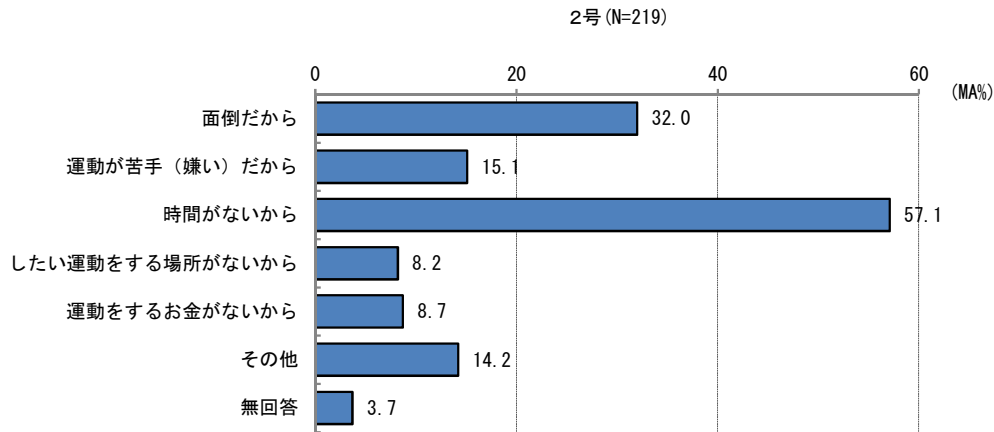
【2号】で運動を行っているかたの、運動を行っている状況は、「1人で自由に行っている」が62.2%と最も多く、次いで、「サークル活動や社会人クラブなどの団体に所属して行っている」が22.0%、「家族や友達など仲間内で行っている」が17.1%、「公共施設で開催されている「スポーツ教室・スポーツのつどい」に参加している」が13.4%となっています。

II. 調査結果

[6] 運動を行っていない理由

6-1で「2 行っていない」に○をつけたかたのみ

6-6 あなたが運動をしていない理由は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

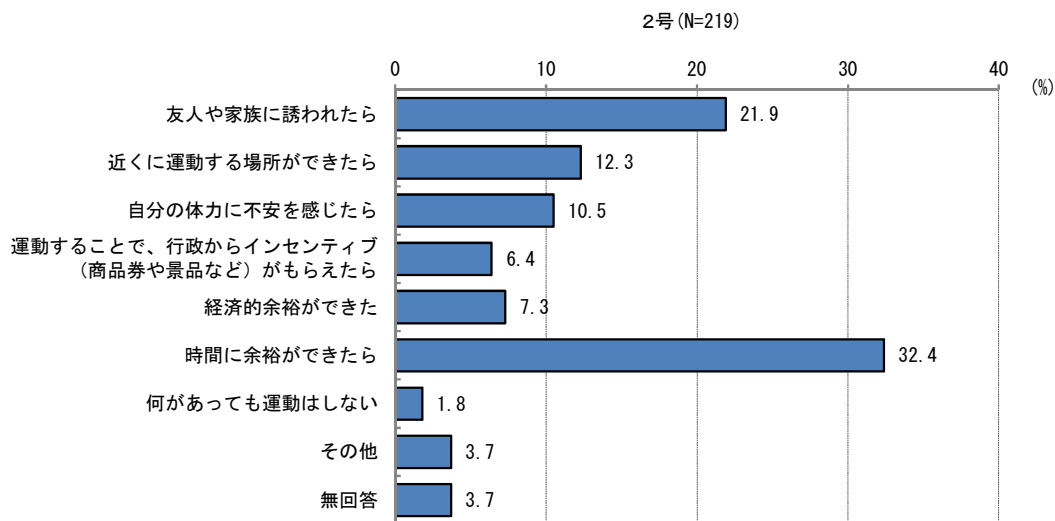


【2号】で運動を行っていないかたの、運動をしていない理由は、「時間がないから」が57.1%と最も多く、次いで、「面倒だから」が32.0%、「運動が苦手(嫌い)だから」が15.1%となっています。

[7] 運動を始めるきっかけとなること

6-1で「2 行っていない」に○をつけたかたのみ

6-7 どのようなきっかけがあれば、運動を始めますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



【2号】で運動を行っていないかたが、どのようなきっかけがあれば、運動を始めますかという点については、

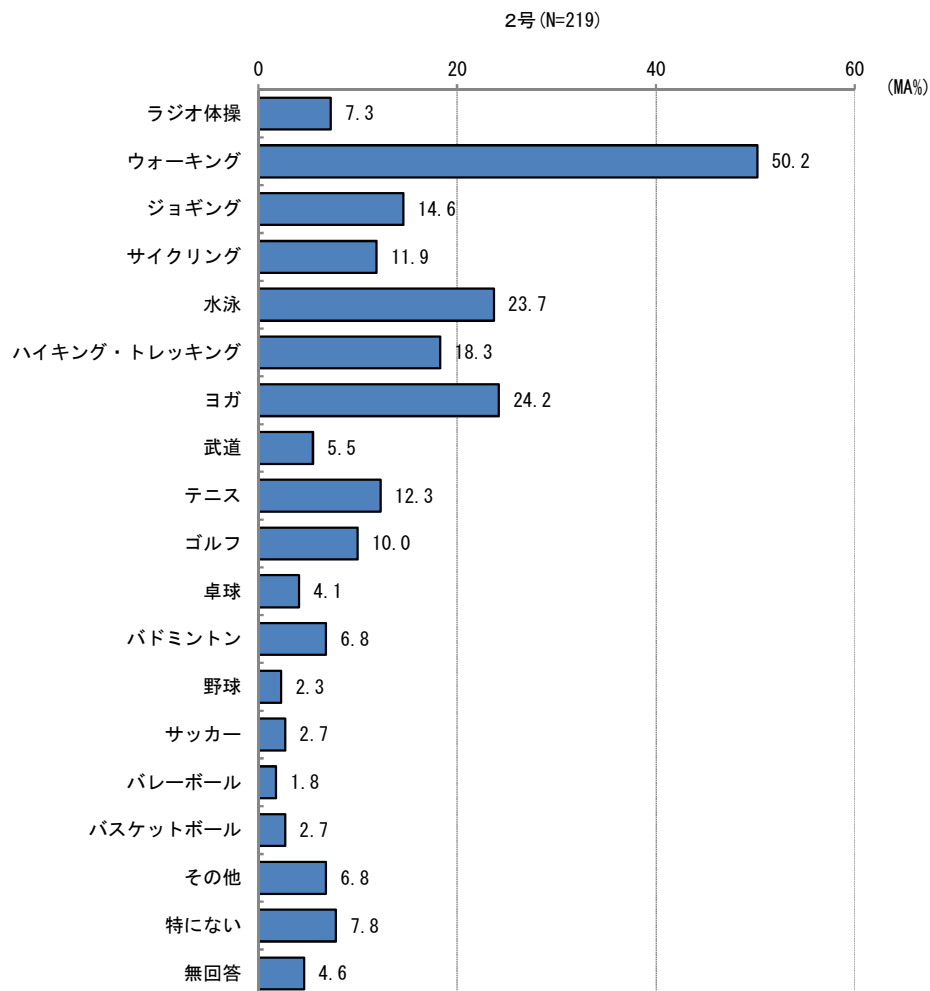
「時間に余裕ができたら」が32.4%と最も多く、次いで、「友人や家族に誘われたら」が21.9%、「近くに運動する場所ができたら」が12.3%となっています。

II. 調査結果

〔8〕始めてみたい運動

6-1で「2 行っていない」に○をつけたかたのみ

6-8 あなたが始めてみたいと思う運動は何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

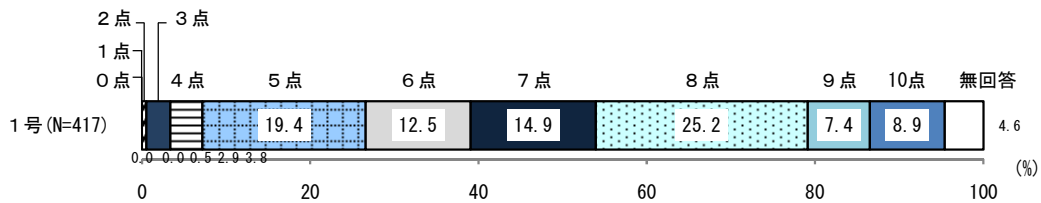


【2号】で運動を行っていないかたの、始めてみたいと思う運動は、「ウォーキング」が50.2%と最も多く、次いで、「ヨガ」が24.2%、「水泳」が23.7%となっています。

7. こころの状況について

〔1〕現在の幸せ度

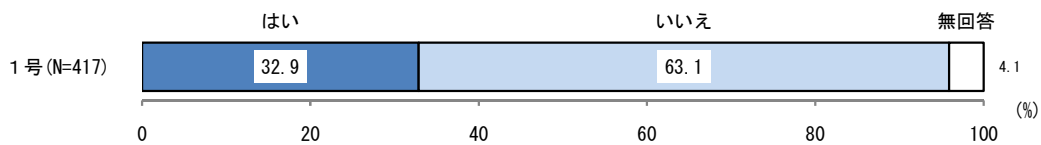
7-1 あなたは、現在どの程度幸せと感じていますか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる項目（数字）1つに○をつけてください。



【1号】のかたの、現在の幸せ度については、「8点」が25.2%と最も多く、次いで、「5点」が19.4%、「7点」が14.9%、「6点」が12.5%、「10点」が8.9%となっています。

〔2〕気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになること

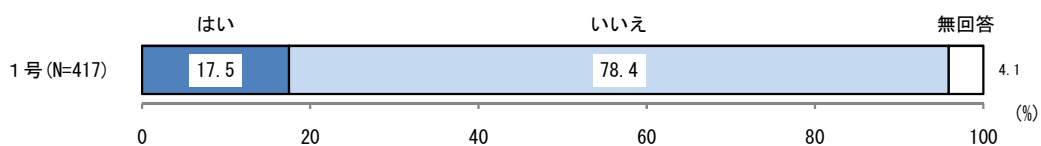
7-2 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



【1号】のかたで、この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が32.9%、「いいえ」が63.1%となっています。

〔3〕物事に興味がわかない、心から楽しめないこと

7-3 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



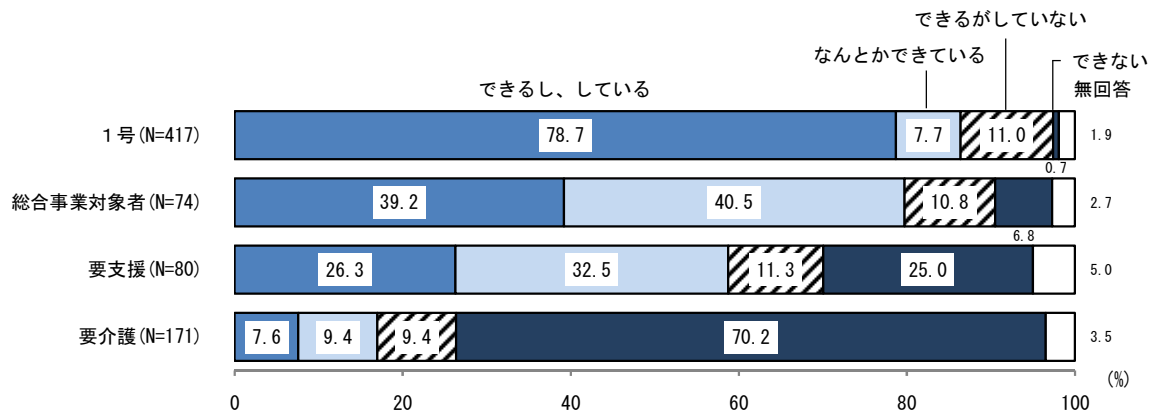
【1号】のかたで、この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が17.5%、「いいえ」が78.4%となっています。

II. 調査結果

8. 日常生活について

〔1〕 食品・日用品の買い物

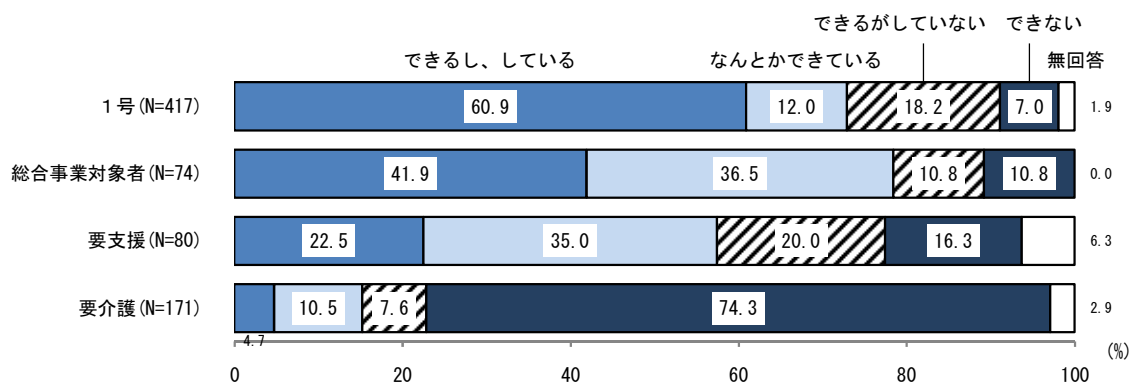
8-1 あなたは自分で食品・日用品の買い物をしていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



自分で食品・日用品の買い物をしているかについて、「できるし、している」と「なんとかできている」を合わせた『している』は、【1号】で86.4%、【総合事業対象者】で79.7%、【要支援】で58.8%、【要介護】で17.0%となっています。【要介護】では「できない」が70.2%と、他の区分に比べて多くなっています。

〔2〕 食事の用意

8-2 あなたは自分で食事の用意をしていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

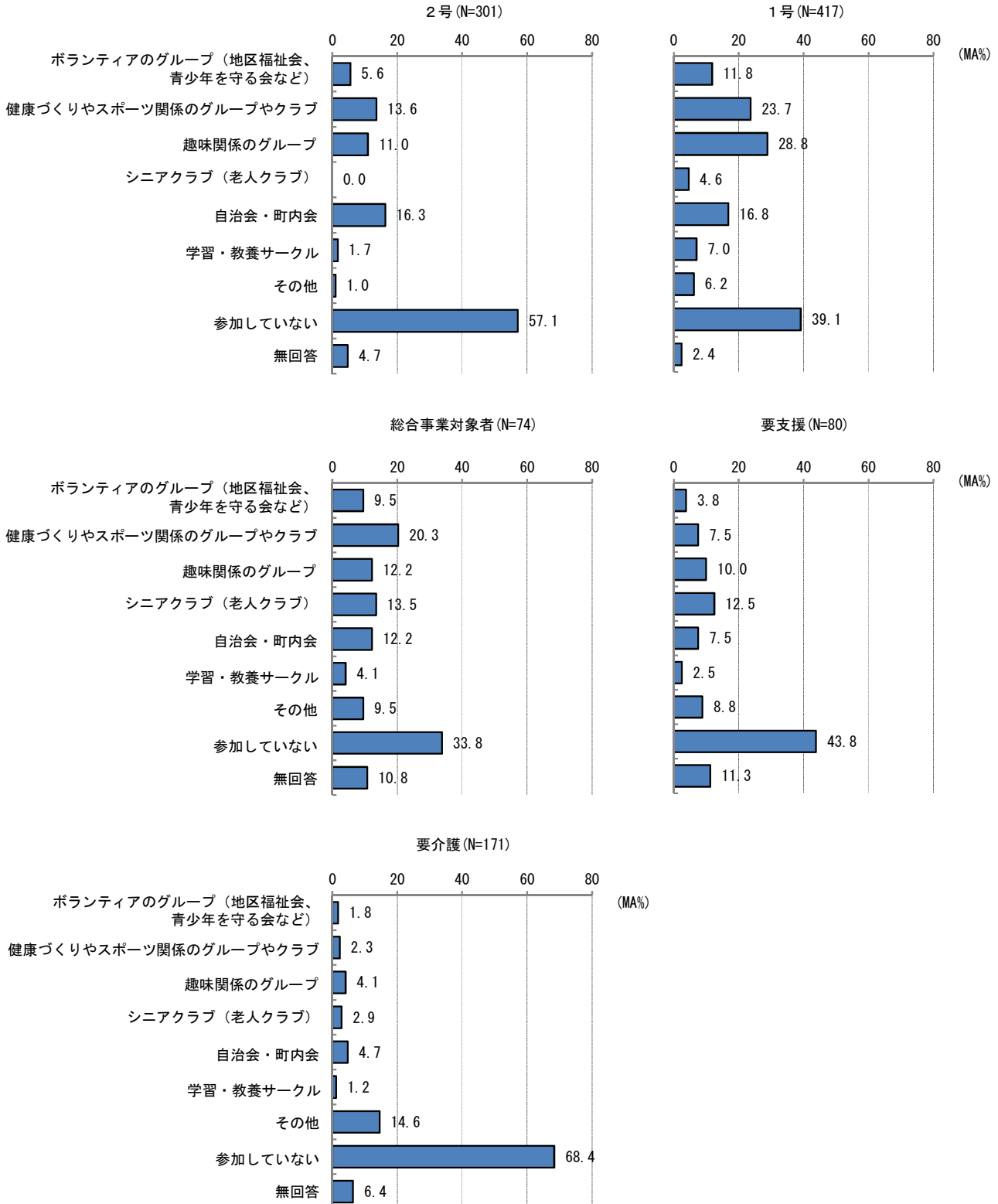


自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」と「なんとかできている」を合わせた『している』は、【1号】で72.9%、【総合事業対象者】で78.4%、【要支援】で57.5%、【要介護】で15.2%となっています。【要介護】では「できない」が74.3%と、他の区分に比べて多くなっています。

9. 社会参加などについて

〔1〕 地域活動への参加

9-1 あなたは以下のような会・グループなどに参加していますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



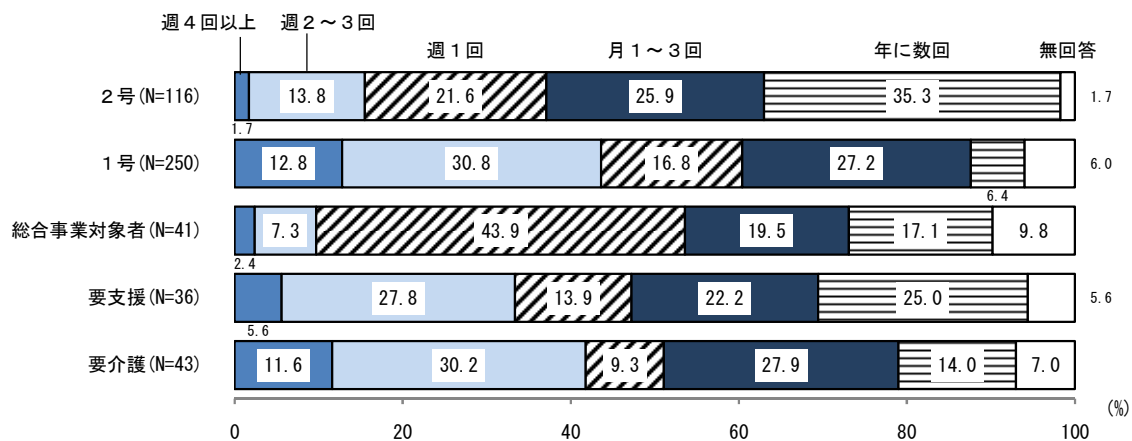
II. 調査結果

地域活動に参加している人の割合は、【2号】で38.2%、【1号】で58.5%、【総合事業対象者】で55.4%、【要支援】で44.9%、【要介護】で25.2%となっています。主な参加グループは、【2号】では「自治会・町内会」、【1号】では「趣味関係のグループ」や「健康づくりやスポーツ関係のグループやクラブ」、【総合事業対象者】では「健康づくりやスポーツ関係のグループやクラブ」、【要支援】では「シニアクラブ（老人クラブ）」などが多くなっています。

〔2〕地域活動への参加頻度

9-1で1～7に○をつけたかた（＝地域活動に参加している）のみ

9-2 あなたはそれらの活動にどのくらいの頻度で参加していますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

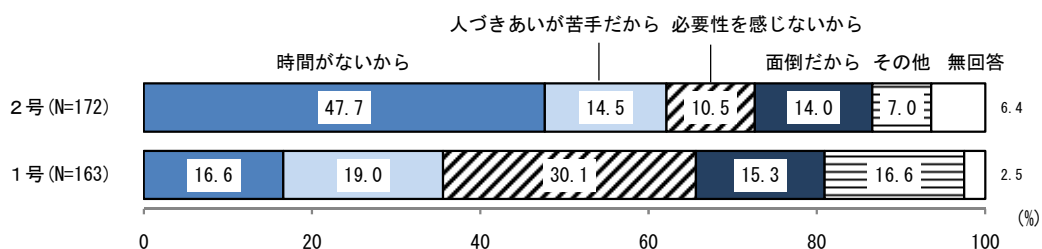


地域活動に参加しているかたの参加頻度は、【2号】では「年に数回」が35.3%、【1号】【要支援】【要介護】では「週2～3回」が3割前後、【総合事業対象者】では「週1回」が43.9%と最も多くなっています。

〔3〕地域活動に参加していない理由

9-1で8に○をつけたかた（＝地域活動に参加していない）のみ

9-3 参加していない理由について、あてはまる項目1つに○をつけてください。



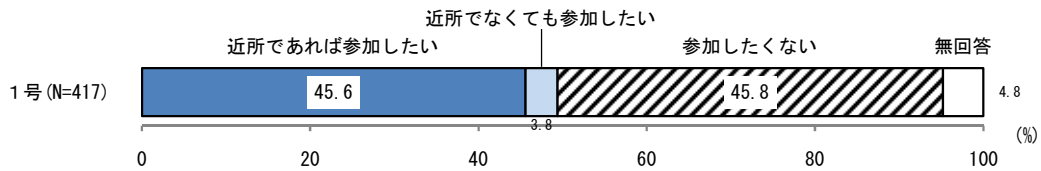
地域活動に参加していないかたの理由は、【2号】では「時間がないから」が47.7%と最も多く、【1号】

では「必要性を感じないから」が30.1%と最も多くなっています。

II. 調査結果

〔4〕 地域で体操をする場への参加意向

9-4 あなたは地域住民が集まって気軽に体操をする場があれば参加したいですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

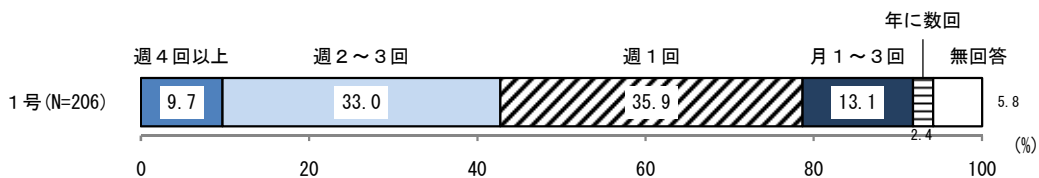


【1号】のかたが、地域住民が集まって気軽に体操をする場があれば参加したいかについては、「近所であれば参加したい」が45.6%、「近所でもなくても参加したい」が3.8%、「参加したくない」が45.8%となっています。

〔5〕 地域で体操をする場への参加頻度

9-4で1または2に○をつけたかた (=参加したい) のみ

9-5 あなたは体操をする場にどのくらいの頻度で参加したいですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

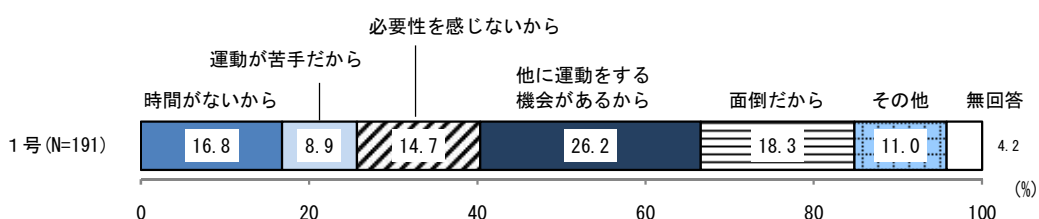


【1号】で、地域住民が集まって気軽に体操をする場に参加したいかたが、どのくらいの頻度で参加したいかについては、「週1回」が35.9%と最も多く、次いで、「週2~3回」が33.0%となっています。

〔6〕 地域で体操をする場に参加したくない理由

9-4で3に○をつけたかた (=参加したくない) のみ

9-6 参加したくない理由について、あてはまる項目1つに○をつけてください。

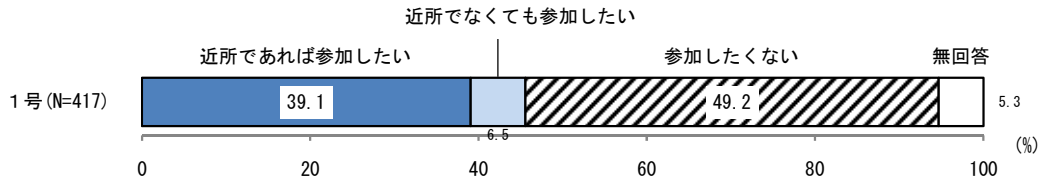


【1号】で、地域住民が集まって気軽に体操をする場に参加したくないかたの理由は、「他に運動をする機会があるから」が26.2%と最も多く、次いで、「面倒だから」が18.3%、「時間がないから」が16.8%となっています。

II. 調査結果

〔7〕 地域住民の交流の場への参加意向

9-7 あなたは地域住民が集まって気軽に交流する場があれば参加したいですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

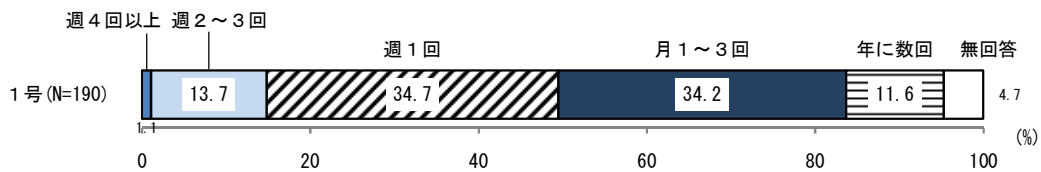


【1号】のかたが、地域住民が集まって気軽に交流する場があれば参加したいかについては、「近所であれば参加したい」が39.1%、「近所でもなくても参加したい」が6.5%、「参加したくない」が49.2%となっています。

〔8〕 地域住民の交流の場への参加頻度

9-7で1または2に○をつけたかた (=参加したい) のみ

9-8 あなたは地域住民の集まる場にどのくらいの頻度で参加したいですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

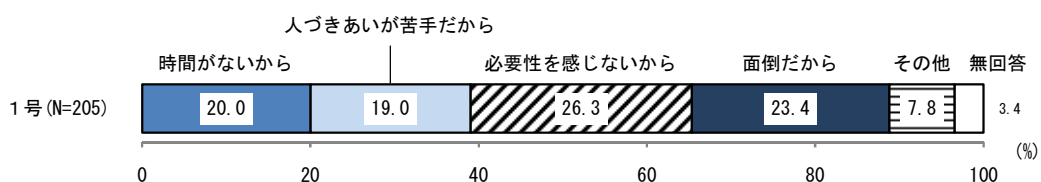


【1号】で、地域住民が集まって気軽に交流する場に参加したいかたが、どのくらいの頻度で参加したいかについては、「週1回」が34.7%と最も多く、次いで、「月に数回」が11.6%となっています。

〔9〕 地域住民の交流の場に参加したくない理由

9-7で3に○をつけたかた (=参加したくない) のみ

9-9 参加したくない理由について、あてはまる項目1つに○をつけてください。

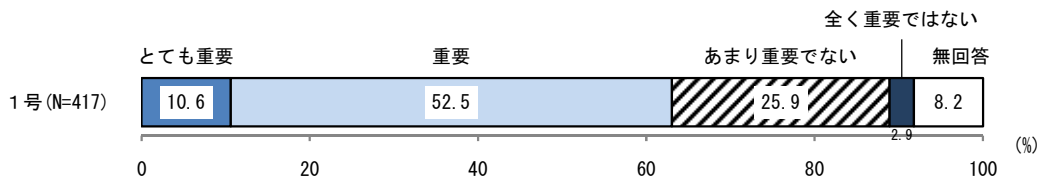


【1号】で、地域住民が集まって気軽に交流する場に参加したくないかたの理由については、「必要性を感じないから」が26.3%と最も多く、次いで、「面倒だから」が23.4%、「時間がないから」が20.0%、「人づきあいが苦手だから」が19.0%となっています。

II. 調査結果

[10] 地域のつながりの重要度

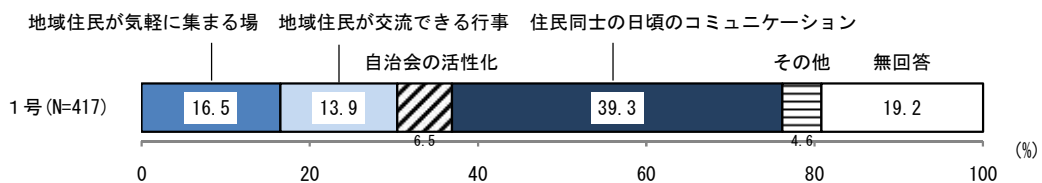
9-10 あなたは日頃の交流などの地域のつながりは、どの程度重要と考えますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



【1号】のかたが、日頃の交流などの地域のつながりをどの程度重要と考えるかについては、「とても重要」と「重要」を合わせた『重要』が63.1%、「全く重要ではない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』が28.8%となっています。

[11] 地域のつながりを強めるために重要なこと

9-11 地域のつながりを強めるためには何が最も重要と考えますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

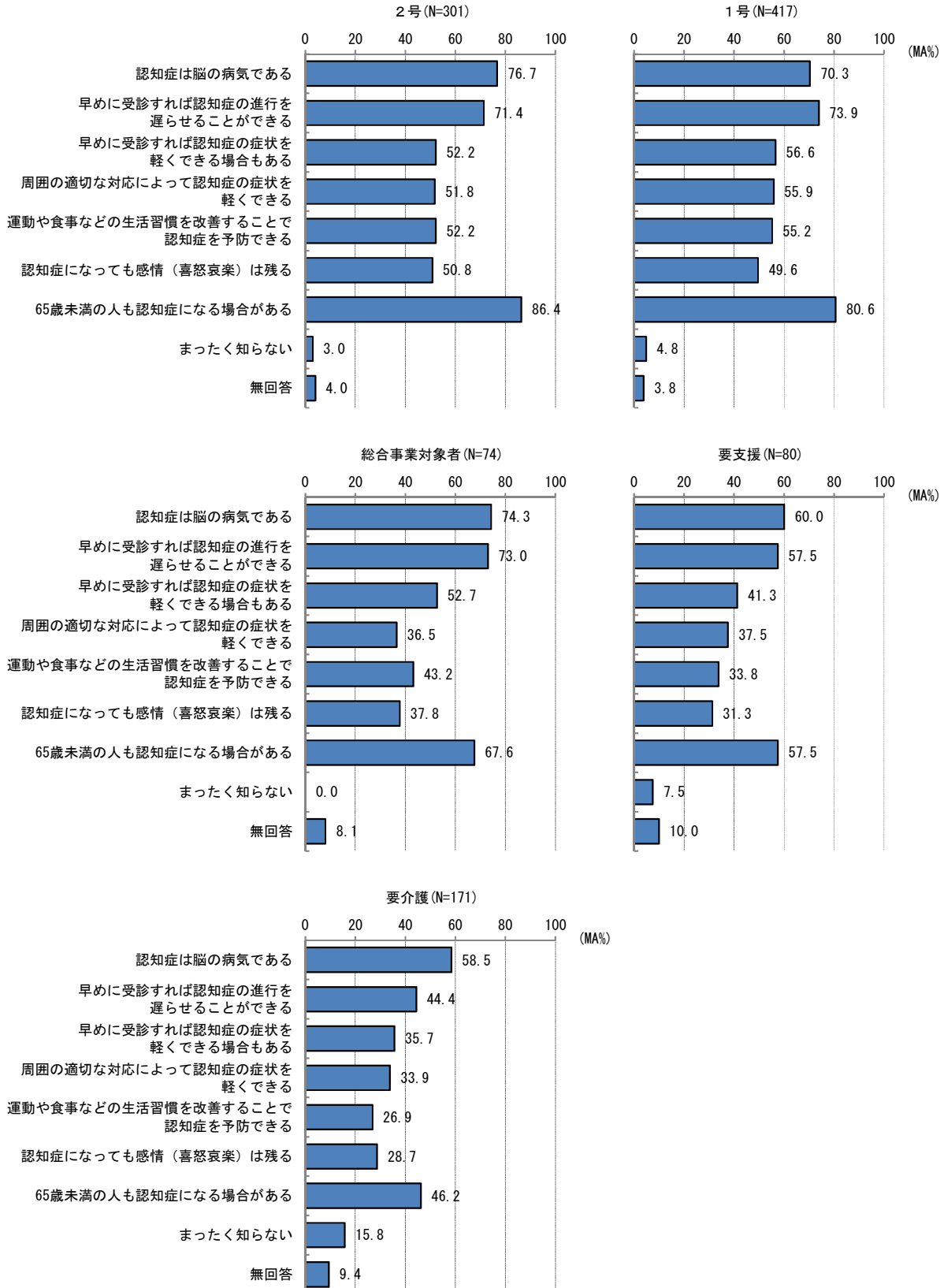


【1号】のかたが、地域のつながりを強めるためには何が最も重要と考えるかについては、「住民同士の日頃のコミュニケーション」が39.3%と最も多く、次いで、「地域住民が気軽に集まる場」が16.5%、「地域住民が交流できる行事」が13.9%となっています。

10. 認知症・成年後見について

〔1〕 認知症について知っていること

10-1 認知症について、あなたが知っていることはありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

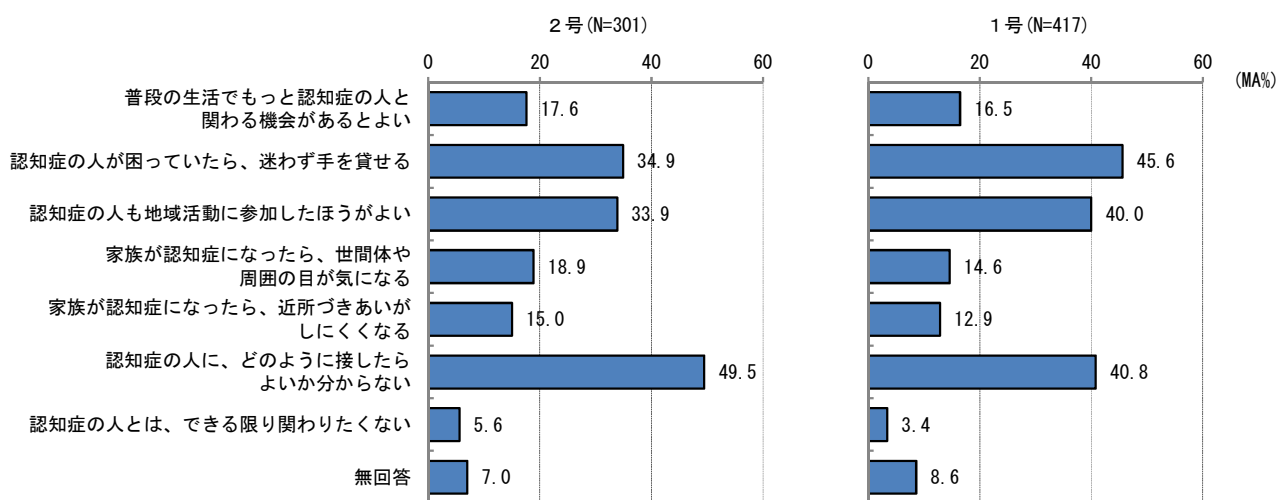


II. 調査結果

認知症について知っていることについては、【2号】【1号】では、「65歳未満の人も認知症になる場合がある」が8割台で最も多く、次いで、「認知症は脳の病気である」、「早めに受診すれば認知症の進行を遅らせることができる」が7割台で続き、他の項目もほぼ5割程度の人に認知されています。【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では、「認知症は脳の病気である」が6割弱～7割台と最も多く、次いで、「早めに受診すれば認知症の進行を遅らせることができる」、「65歳未満の人も認知症になる場合がある」が上位を占めていますが、【要介護】では5割を下回る項目が多くなっています。

〔2〕 認知症についての考え

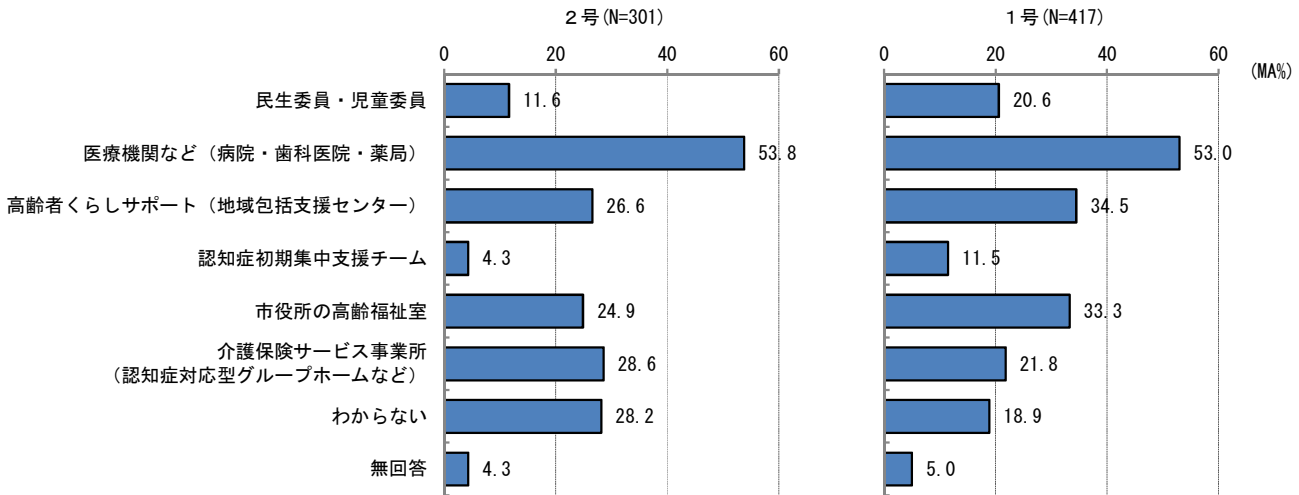
10-2 認知症についての次の意見に対して、あなたの考えに近いものはどれですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



認知症に対する考えについては、【2号】では、「認知症の人に、どのように接したらよいか分からない」、【1号】では、「認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せる」が最も多くなっています。そのほか、「認知症の人も地域活動に参加したほうがよい」も【2号】【1号】ともに多くなっています。

〔3〕 認知症に関する相談先

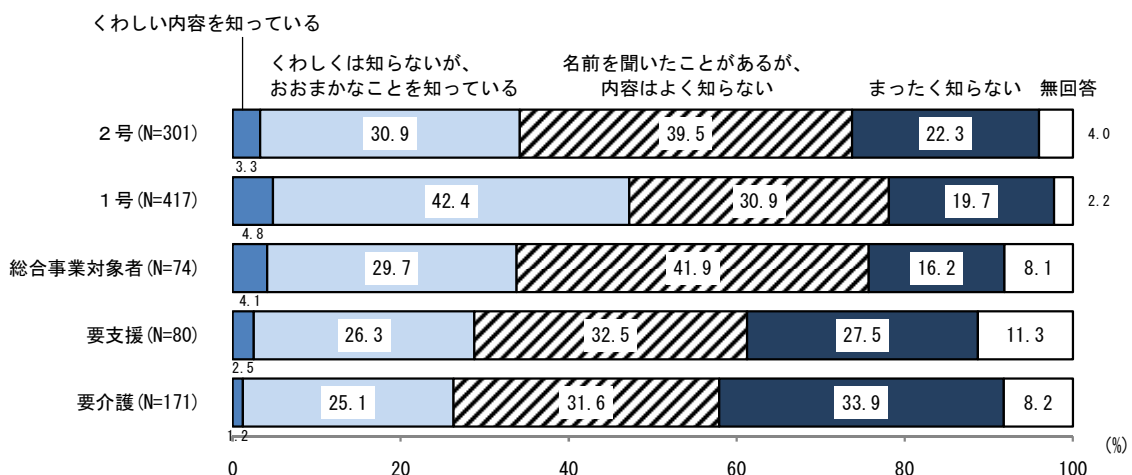
10-3 認知症に関する相談先について、あなたが知っているものはありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



認知症に関する相談先について知っているものは、【2号】【1号】ともに「医療機関など (病院・歯科医院・薬局)」が5割台で最も多くなっています。次いで、【2号】では「介護保険サービス事業所 (認知症対応型グループホームなど)」が28.6%、「高齢者くらしサポート (地域包括支援センター)」が26.6%となっています。【1号】では「高齢者くらしサポート (地域包括支援センター)」が34.5%、「市役所の高齢福祉室」が33.3%となっています。

〔4〕 成年後見制度の認知

10-4 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



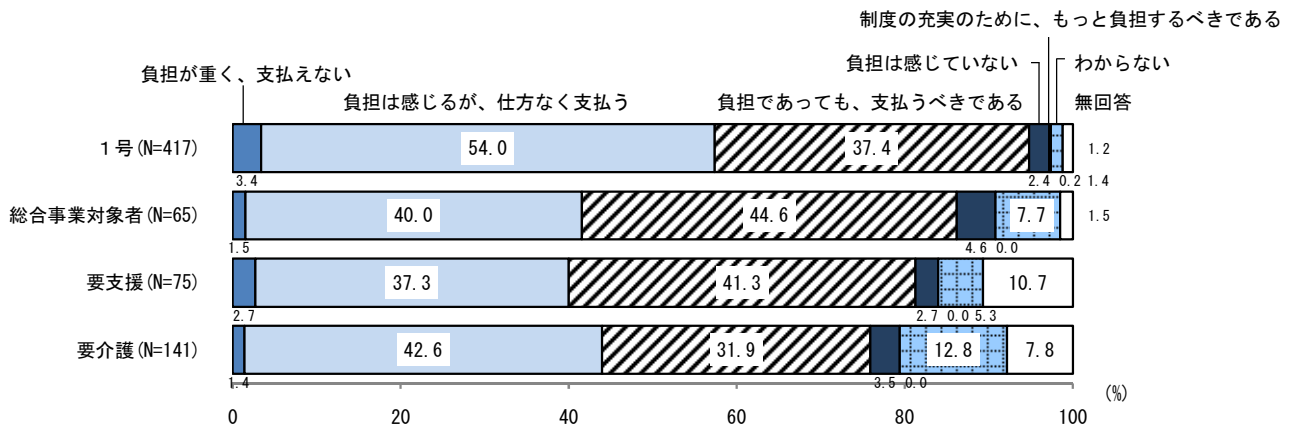
「成年後見制度」の認知について、「くわしい内容を知っている」と「くわしくは知らないが、おおまかなことを知っている」を合わせた『知っている』は、【2号】で34.2%、【1号】で47.2%、【総合事業対象者】で33.8%、【要支援】で28.8%、【要介護】で26.3%と、【1号】で最も多くなっています。一方、「まったく知らない」と「名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない」を合わせた『知らない』は【2号】で61.8%、【1号】で50.6%、【総合事業対象者】で58.1%、【要支援】で60.0%、【要介護】で65.5%と、すべての区分で『知らない』のほうが多くなっています。

II. 調査結果

11. 介護保険について

〔1〕 介護保険料について

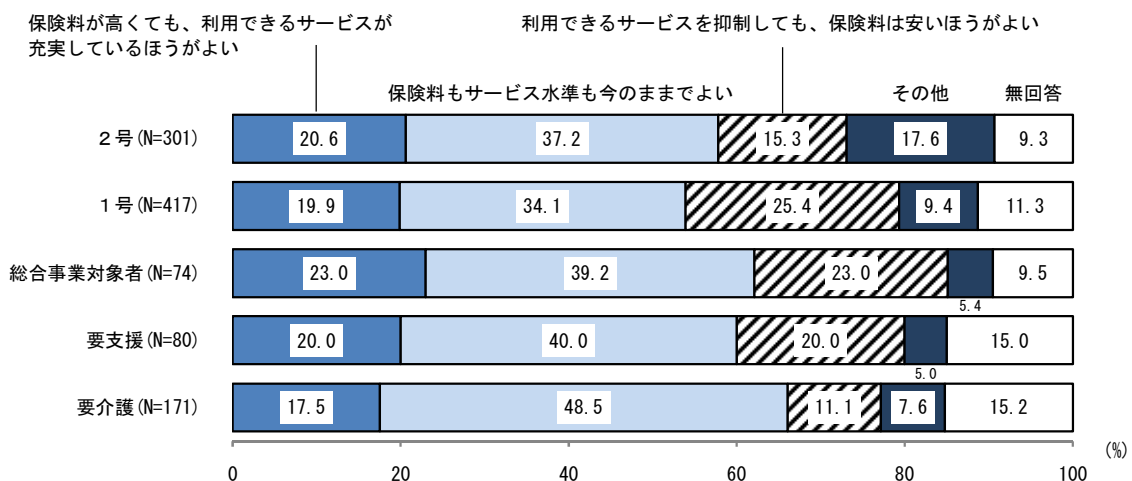
11-1 介護保険料を支払うことについて、どう思いますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



介護保険料を支払うことについては、【1号】【要介護】では、「負担を感じるが、仕方なく支払う」が最も多く、とくに、【1号】では54.0%と、他の区分に比べて多くなっています。「負担であっても、支払うべきである」、「負担は感じていない」、「制度の充実のために、もっと負担するべきである」といった肯定的な回答をした人は、【総合事業対象者】で49.2%と多くなっています。

〔2〕 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について

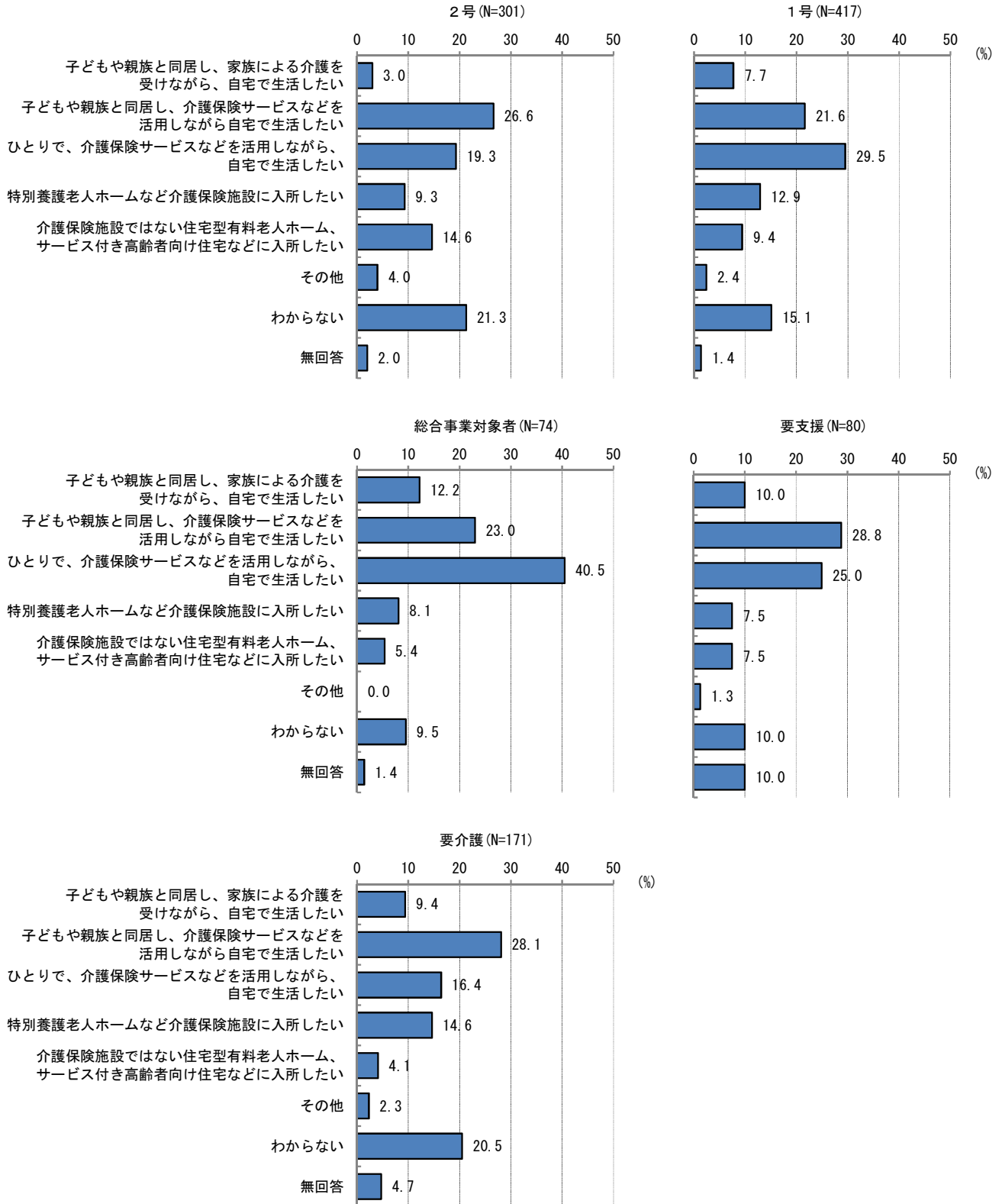
11-2 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけてください。



負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係については、すべての区分で、「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）が最も多く、とくに、【要介護】では48.5%と、半数近くを占めています。「保険料が高くて、利用できるサービスが充実しているほうがよい」（サービス重視）は、【総合事業対象者】で23.0%とやや多くなっています。「利用できるサービスを抑制しても、保険料は安いほうがよい」（保険料重視）は、【1号】で25.4%と多くなっています。

〔3〕 将来の生活の希望

11-3 あなたは、将来どのような生活をしたいと思いますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



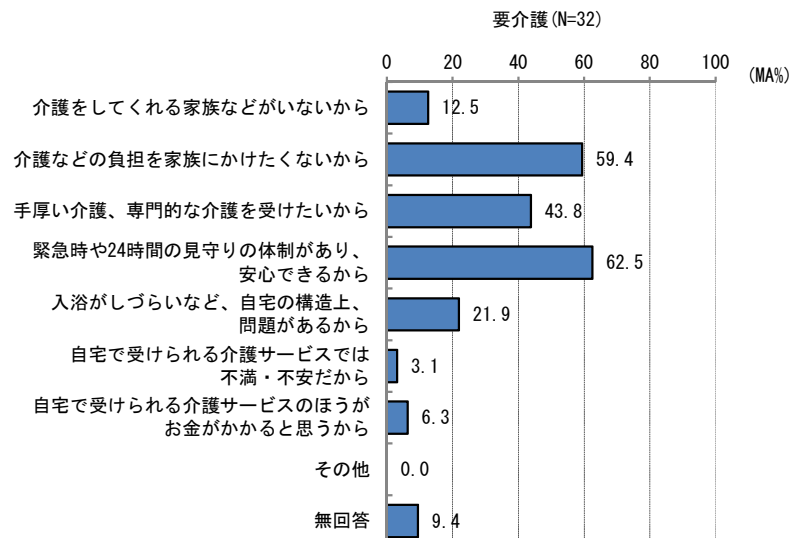
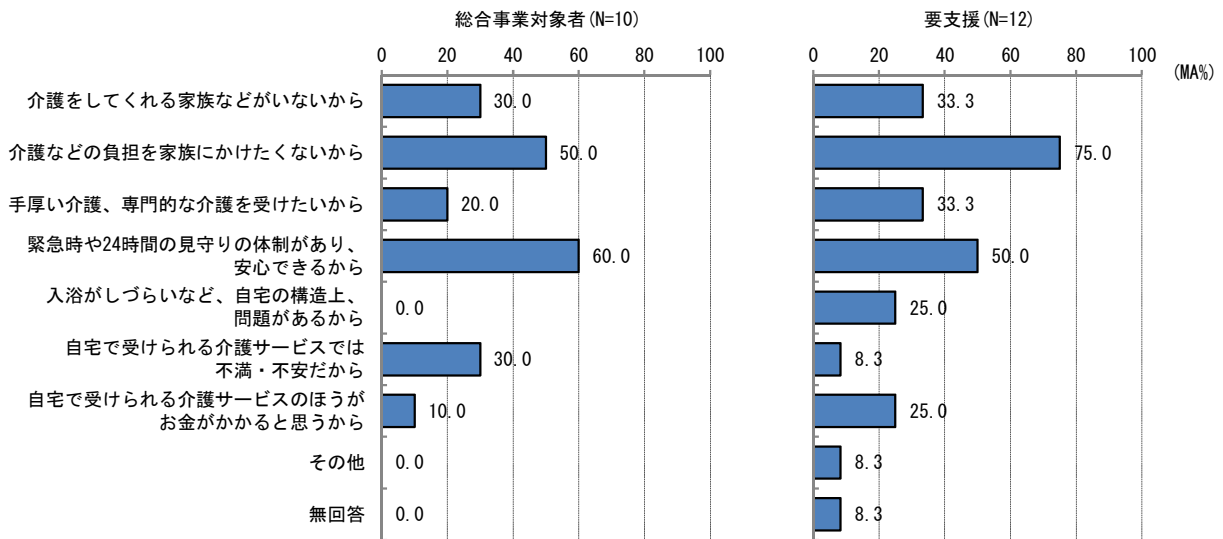
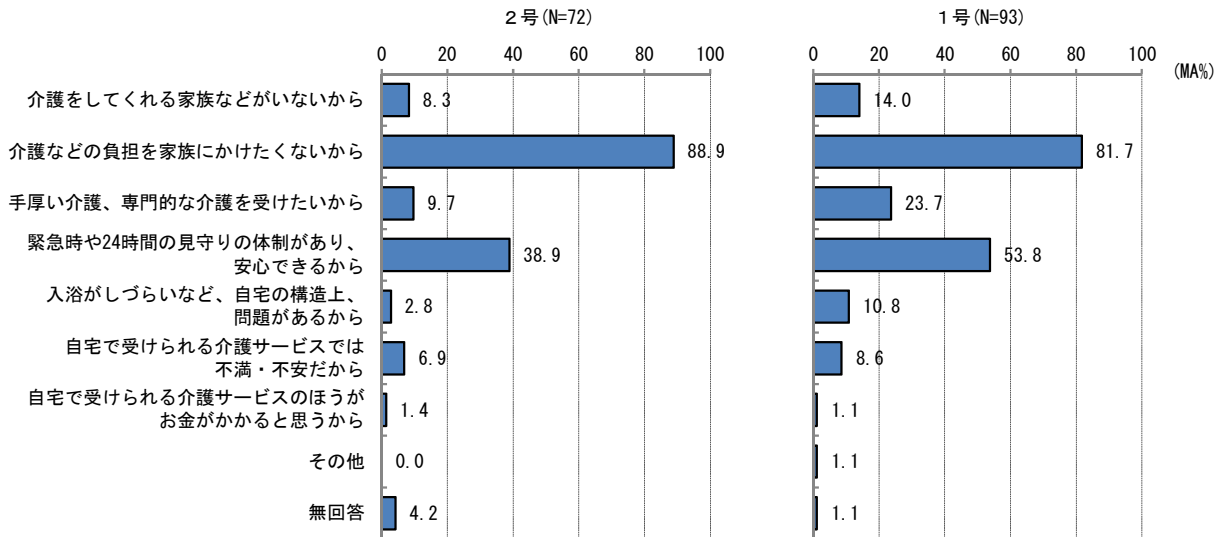
Ⅱ. 調査結果

将来どのような生活をしたいかについては、【2号】【要支援】【要介護】では、「子どもや親族と同居し、介護保険サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」が最も多く、【1号】【総合事業対象者】では、「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」が最も多くなっています。また、【2号】では、「介護保険施設ではない住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などに入所したい」、【総合事業対象者】では、「子どもや親族と同居し、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい」、【要介護】では、「特別養護老人ホームなど介護保険施設に入所したい」なども1割程度みられます。

〔4〕施設などに入所したい理由

11-3で4または5に○をつけたかた（＝施設に入所したい）のみ

11-4 施設などに入所したい理由として、あてはまる項目すべてに○をつけてください。

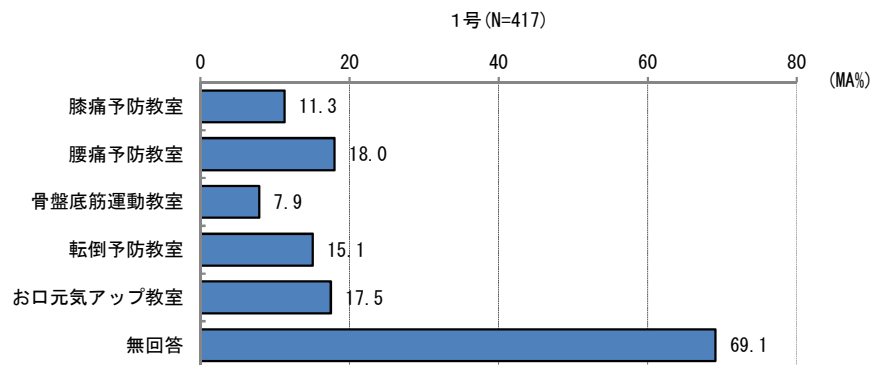


II. 調査結果

将来施設などに入所したいとお答えのかたの理由については、【2号】【1号】【要支援】では、「介護などの負担を家族にかけたくないから」が7～8割台と最も多く、次いで、「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」となっています。【総合事業対象者】【要介護】では、「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」が6割台と最も多く、次いで、「介護などの負担を家族にかけたくないから」となっています。また、【要支援】【要介護】では、「手厚い介護、専門的な介護を受けたいから」も4割前後と多くなっています。

〔5〕介護予防事業の認知

11-5 現在、市では高齢者を対象に専門家による健康教室などの介護予防事業を行っています。あなたは、こうした介護予防事業について知っていますか。知っている項目すべてに○をつけてください。



※3 骨盤底筋運動教室 (尿漏れの予防・改善についてお伝えし、体操を行う教室 (女性限定))

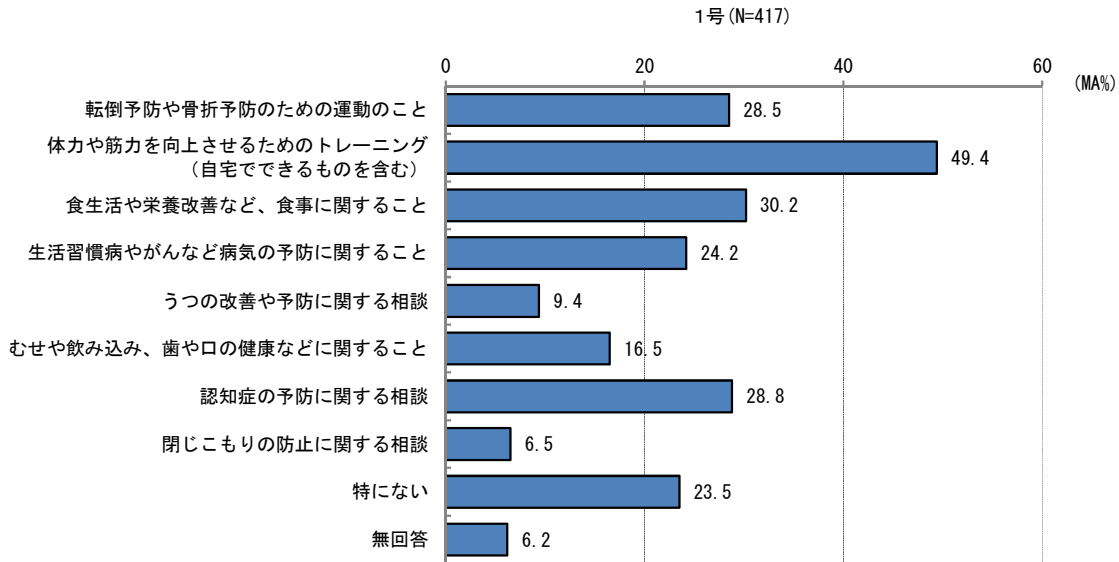
4 転倒予防教室 (転倒に不安のあるかた、予防したいかたを対象に、予防方法などをお伝えし、体操を行う教室)

5 お口元気アップ教室 (むせやすい、口が渇くなどの悩みに対し、お口の機能低下の予防や手入れについてお伝えする教室)

市が行っている、高齢者を対象にした介護予防事業についての【1号】のかたの認知度は、「腰痛予防教室」が18.0%と最も多く、次いで、「お口元気アップ教室」が17.5%、「転倒予防教室」が15.1%となっています。

〔6〕元気で健康的な生活を続けるためにしたいこと

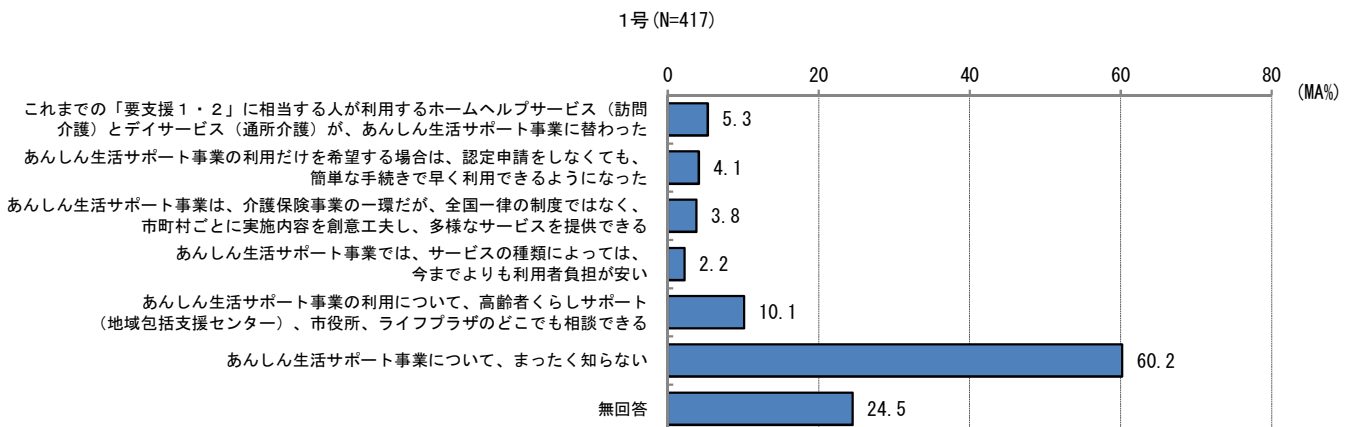
11-6 これからも元気で健康的な生活を続けるために、または今後、体力や生活習慣に自信がなくなったときのために、したいこと、知りたいことは何ですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



【1号】のかたが、元気で健康的な生活を続けるため、体力や生活習慣に自信がなくなったときのために、したいこと、知りたいことについては、「体力や筋力を向上させるためのトレーニング (自宅でできるものを含む)」が49.4%と最も多く、次いで、「食生活や栄養改善など、食事に関すること」が30.2%、「認知症の予防に関する相談」が28.8%、「転倒予防や骨折予防のための運動のこと」が28.5%となっています。

〔7〕「あんしん生活サポート事業」(介護予防・日常生活支援総合事業)について知っていること

11-7 平成27年度に始まった「あんしん生活サポート事業」(介護予防・日常生活支援総合事業)について、知っている項目すべてに○をつけてください。



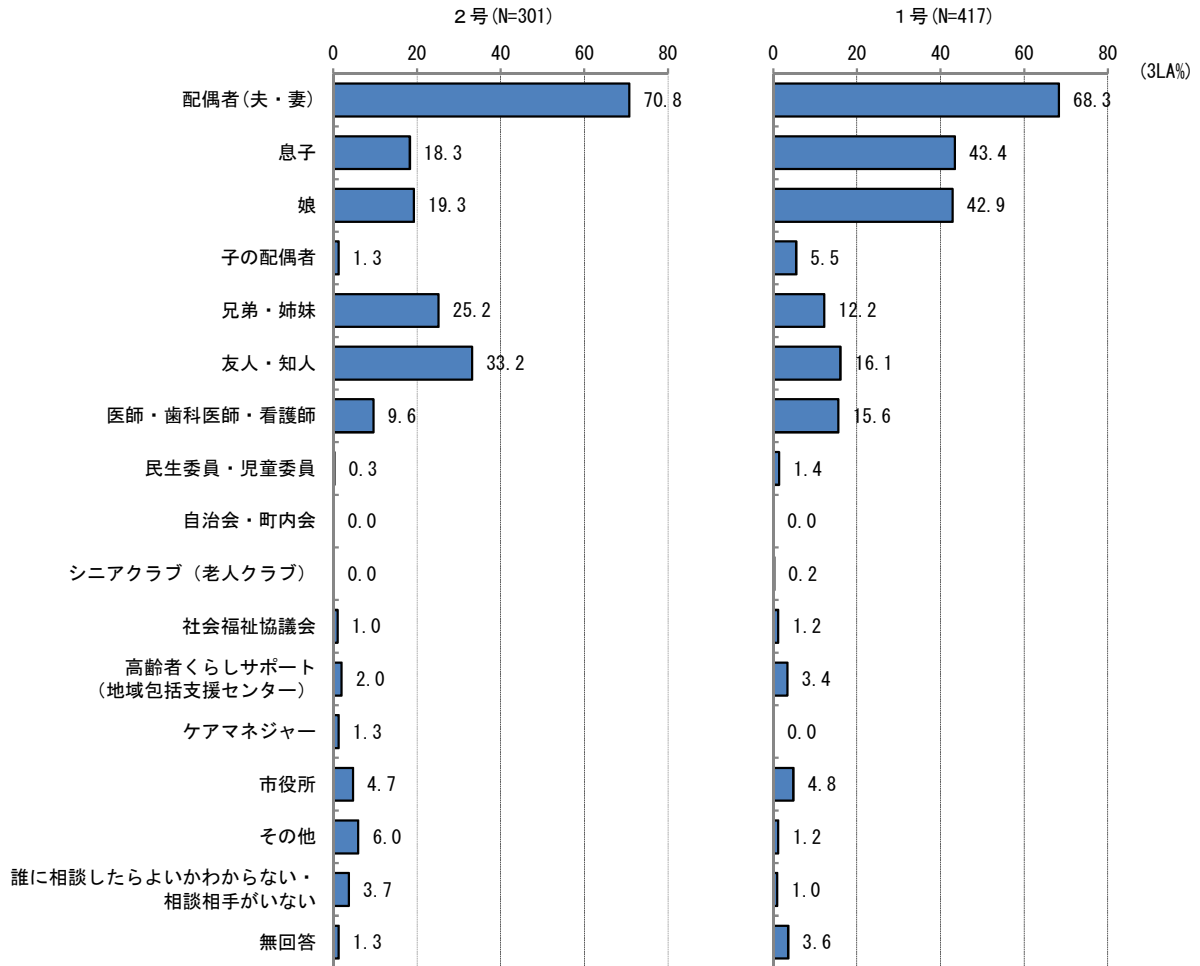
【1号】のかたが、「あんしん生活サポート事業」(介護予防・日常生活支援総合事業)について知っていることについては、「あんしん生活サポート事業の利用について、高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)、市役所、ライフプラザのどこでも相談できる」が10.1%、「これまでの「要支援1・2」に相当する人が利用するホームヘルプサービス(訪問介護)とデイサービス(通所介護)が、あんしん生活サポート事業に替わった」が5.3%となっています。一方、「あんしん生活サポート事業について、まったく知らない」も60.2%と半数以上を占めています。

II. 調査結果

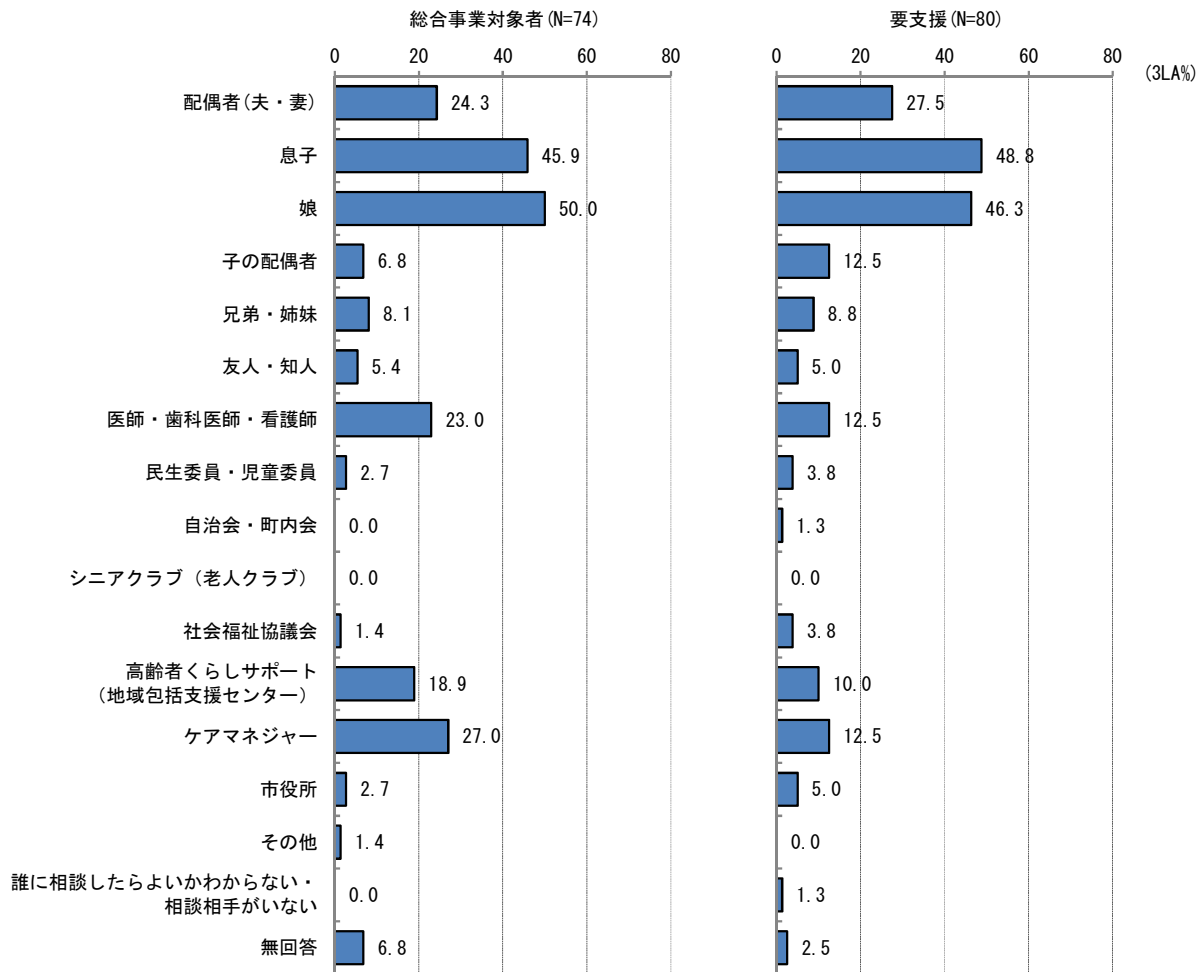
12. 相談ごとについて

〔1〕何かあったときの相談先

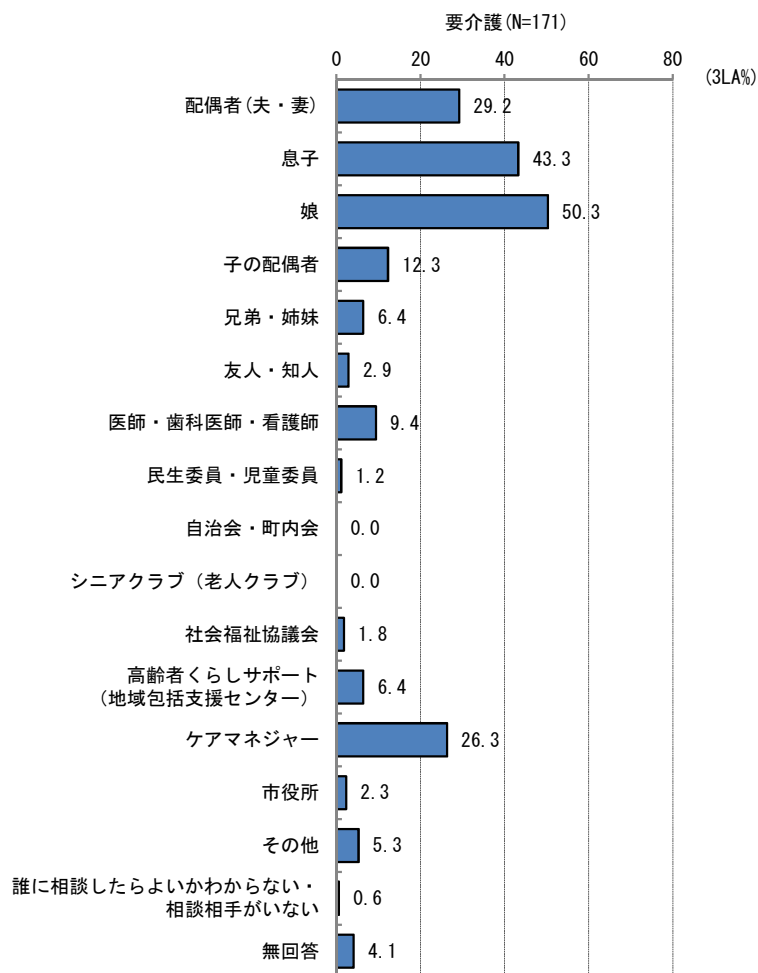
12-1 あなたは、何かあったときに、誰に相談していますか。あてはまる項目3つまでに○をつけてください。



II. 調査結果



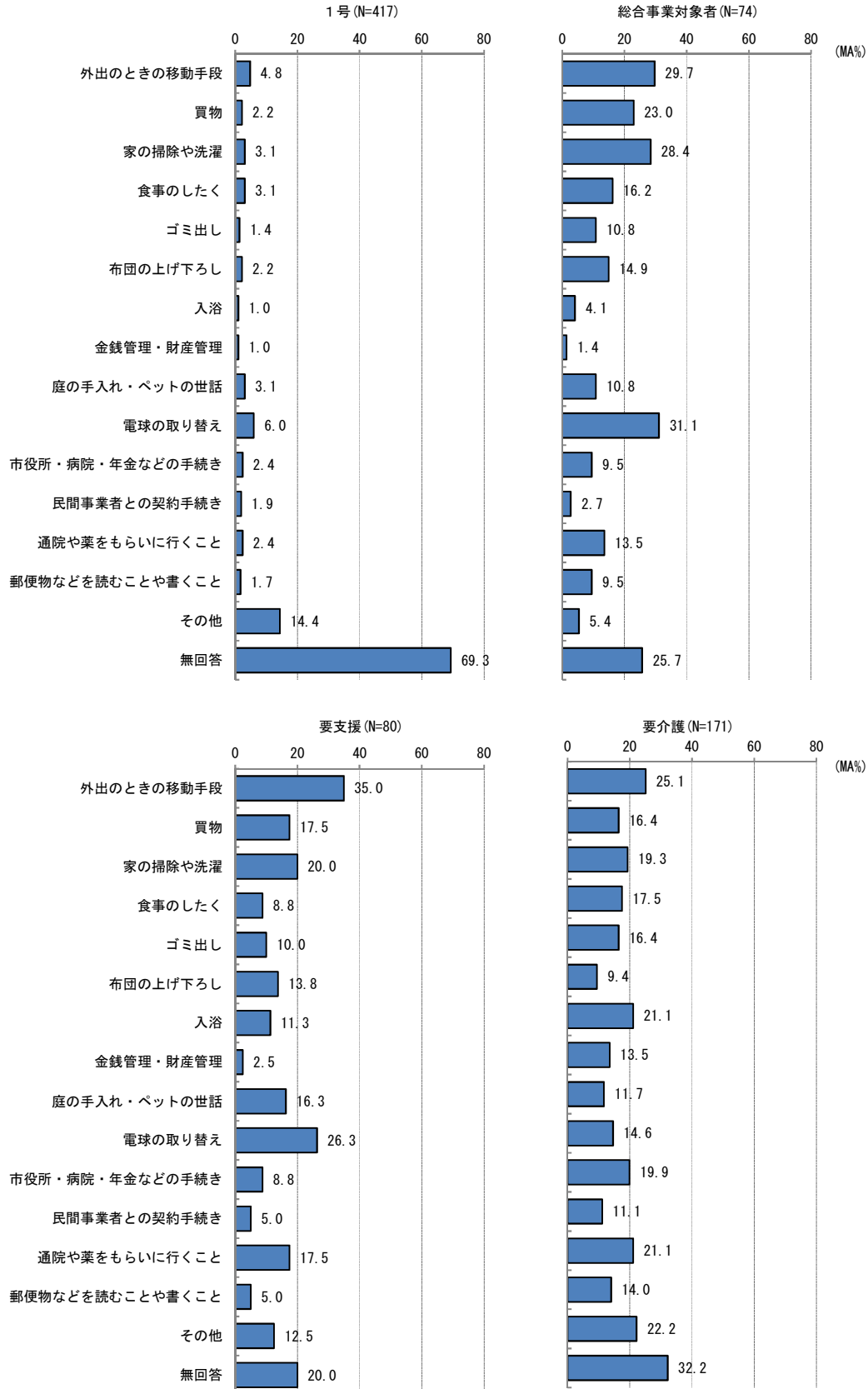
II. 調査結果



何かあったときの相談先については、【2号】【1号】では「配偶者 (夫・妻)」が7割前後と最も多く、【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では「息子」、「娘」が4～5割と多くなっています。そのほか、【2号】では「兄弟・姉妹」や「友人・知人」が2～3割、【総合事業対象者】では「医師・歯科医師・看護師」、「高齢者くらしサポート (地域包括支援センター)」が2割前後、【総合事業対象者】【要介護】では「ケアマネジャー」が3割弱みられます。

〔2〕 日常生活で困っていること

12-2 あなたは、現在、日常生活の中で困っていることはありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

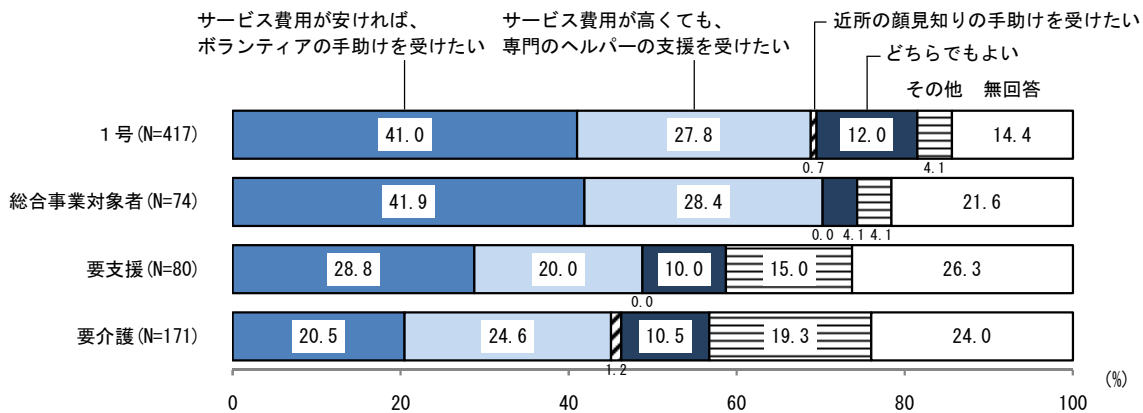


II. 調査結果

日常生活の中で困っていることについては、【総合事業対象者】では「電球の取り替え」、「外出のときの移動手段」、「家の掃除や洗濯」、「買物」など、【要支援】では「外出のときの移動手段」、「電球の取り替え」、「家の掃除や洗濯」など、【要介護】では「外出のときの移動手段」、「入浴」、「通院や薬をもらいに行くこと」、「市役所・病院・年金などの手続き」などが多くなっています。一方、【1号】はどの項目も1割以下と少なくなっています。

〔3〕簡単な生活援助を誰に手助けしてほしいか

12-3 あなたは、簡単な生活援助（掃除・洗濯・調理など）について、家族や親しい人以外では、誰の手助けを受けたいですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

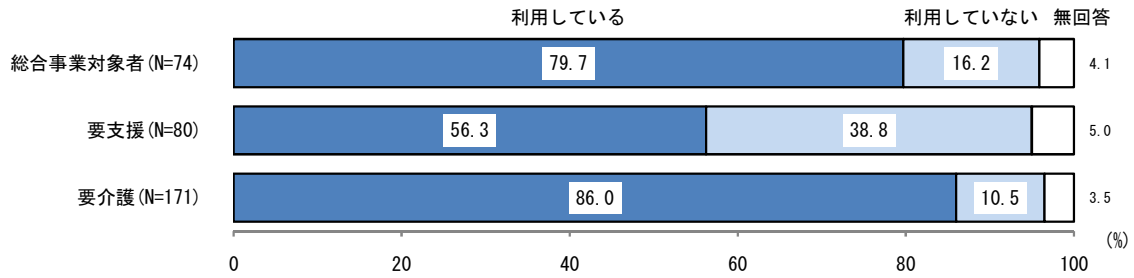


簡単な生活援助（掃除・洗濯・調理など）について、家族や親しい人以外で誰の手助けを受けたいかについては、【1号】【総合事業対象者】では、「サービス費用が安ければ、ボランティアの手助けを受けたい」が4割台、「サービス費用が高くても、専門のヘルパーの支援を受けたい」が3割弱で、『手助けを受けたい』の合計は7割程度となっています。【要支援】【要介護】では、「サービス費用が安ければ、ボランティアの手助けを受けたい」、「サービス費用が高くても、専門のヘルパーの支援を受けたい」がともに2割台となっており、『手助けを受けたい』の合計は4割台となっています。

13. 介護や高齢者施策全体について

〔1〕 介護保険サービスの利用

13-1 あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。あてはまる項目のどちらかに○をつけてください。



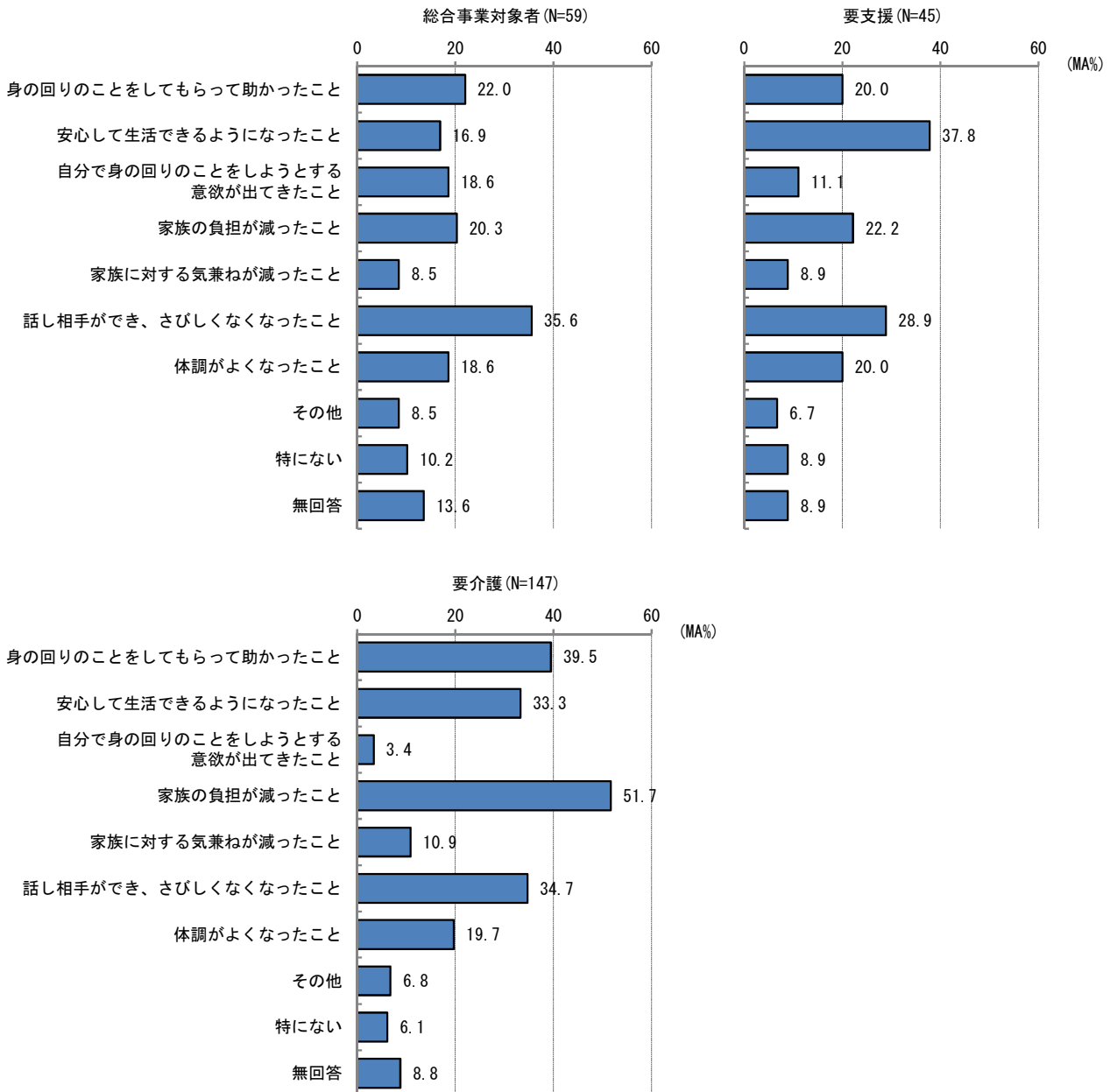
現在の、介護保険サービスの利用率（「利用している」）は、【総合事業対象者】で79.7%、【要支援】で56.3%、【要介護】で86.0%となっています。

II. 調査結果

〔2〕介護保険サービスを利用してよかった点

13-1で「1 利用している」に○をつけたかたのみ

13-2 あなたが介護保険サービスを利用してよかった点は、どのようなことですか。（日常生活においてどのような改善がありましたか。）あてはまる項目すべてに○をつけてください。

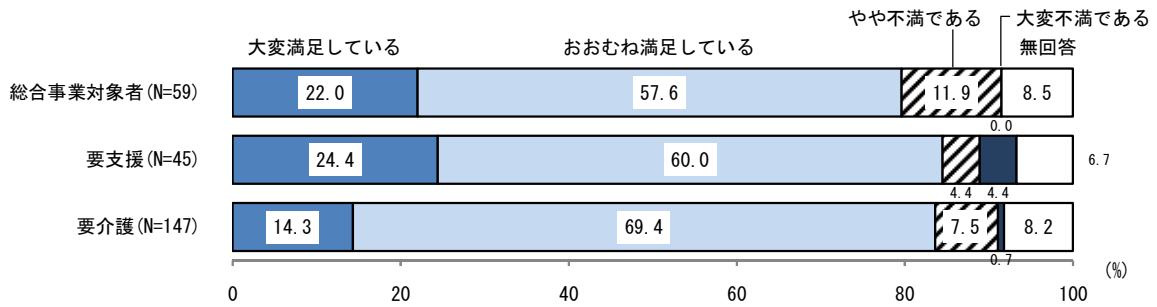


介護保険サービスを利用してよかった点は、【総合事業対象者】では、「話し相手ができ、さびしくなくなったこと」が35.6%と最も多くなっています。【要支援】では、「安心して生活できるようになったこと」が37.8%と最も多く、次いで、「話し相手ができ、さびしくなくなったこと」が28.9%となっています。【要介護】では、「家族の負担が減ったこと」が51.7%と最も多く、次いで、「身の回りのことをしてもらって助かったこと」が39.5%、「話し相手ができ、さびしくなくなったこと」が34.7%となっています。

〔3〕介護保険サービスの利用に対する満足度

13-1で「1 利用している」に○をつけたかたのみ

13-3 介護保険サービスの利用に対する満足度について、最も近い項目1つに○をつけてください。



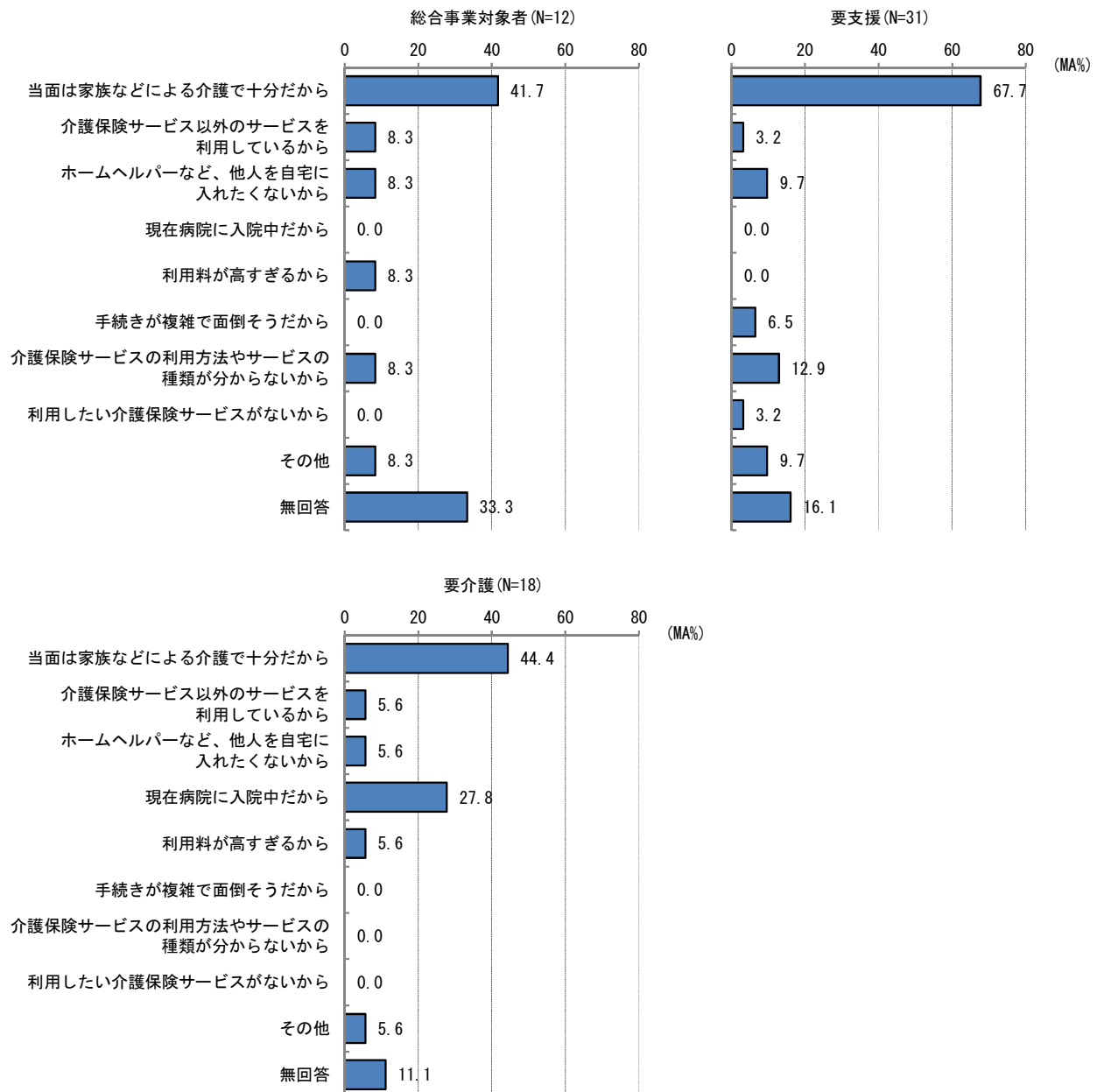
介護保険サービスを利用しているかたの満足度について、「大変満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足している』は、【総合事業対象者】で79.6%、【要支援】では84.4%、【要介護】では83.7%といずれも高くなっています。

II. 調査結果

〔4〕介護保険サービスを利用していない理由

13-1で「2 利用していない」に○をつけたかたのみ

13-4 あなたが、介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



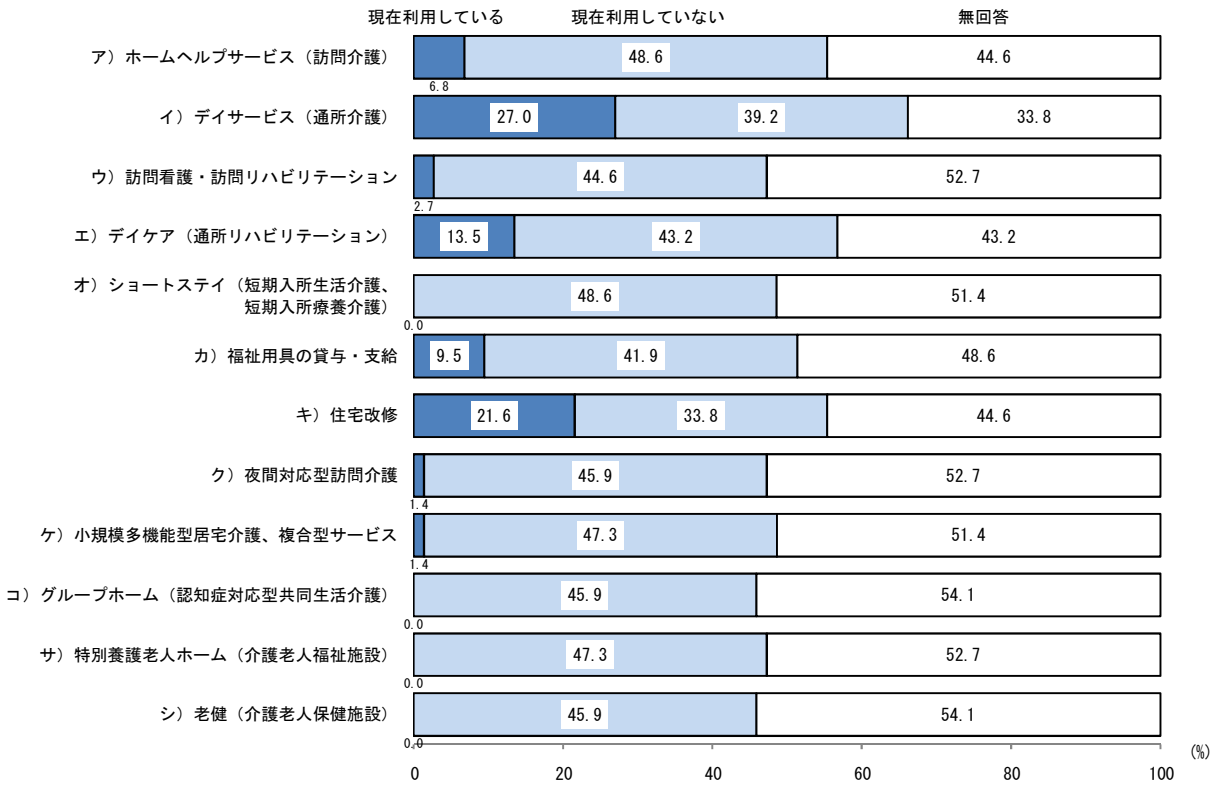
介護保険サービスを利用していないかたの理由については、すべての区分で、「当面は家族などによる介護で十分だから」が最も多く、【総合事業対象者】【要介護】で4割台、【要支援】で7割弱となっています。そのほか、【要支援】では「介護保険サービスの利用方法やサービスの種類が分からないから」が12.9%、【要介護】では「現在病院に入院中だから」が27.8%となっています。

〔5〕 主な介護保険サービスの利用状況と今後の利用希望

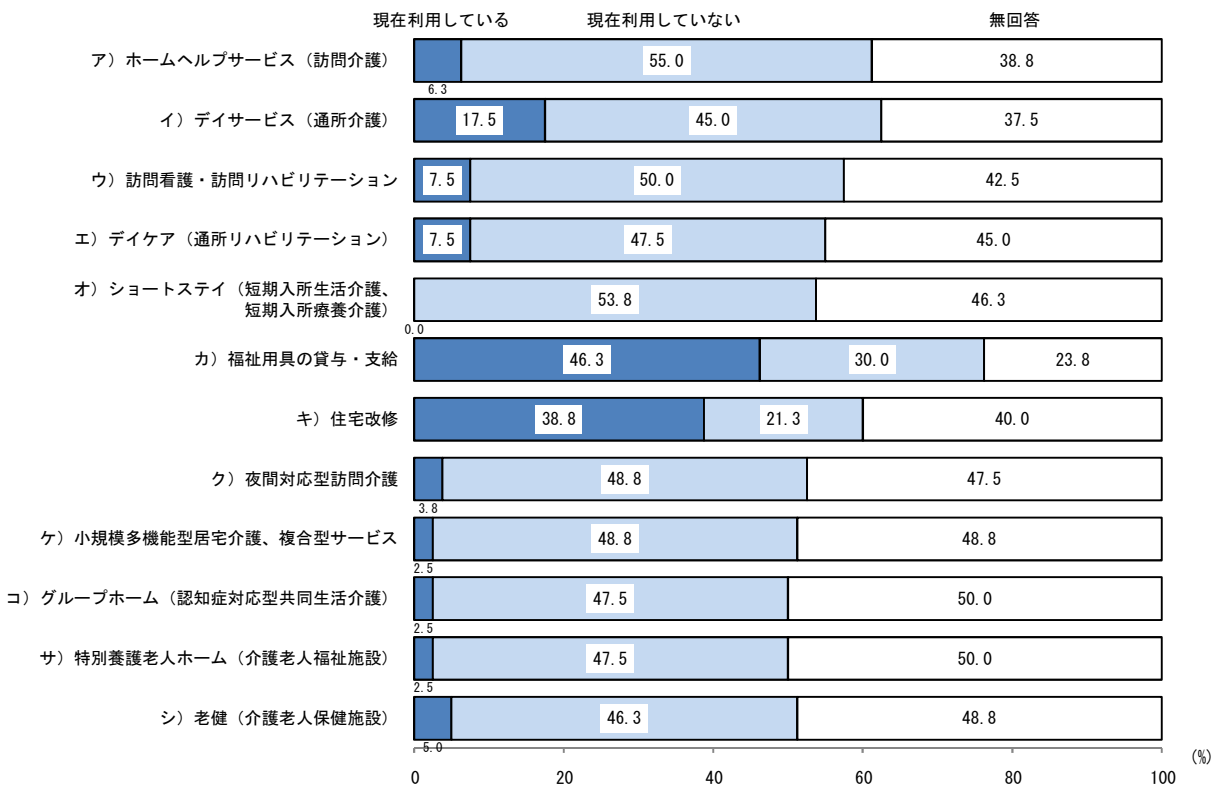
13-5 主な介護保険サービスの現在の利用状況と今後の利用希望についておたずねします。以下のア～シについて、それぞれあてはまる項目 1 つに○をつけてください。

■現在の利用状況

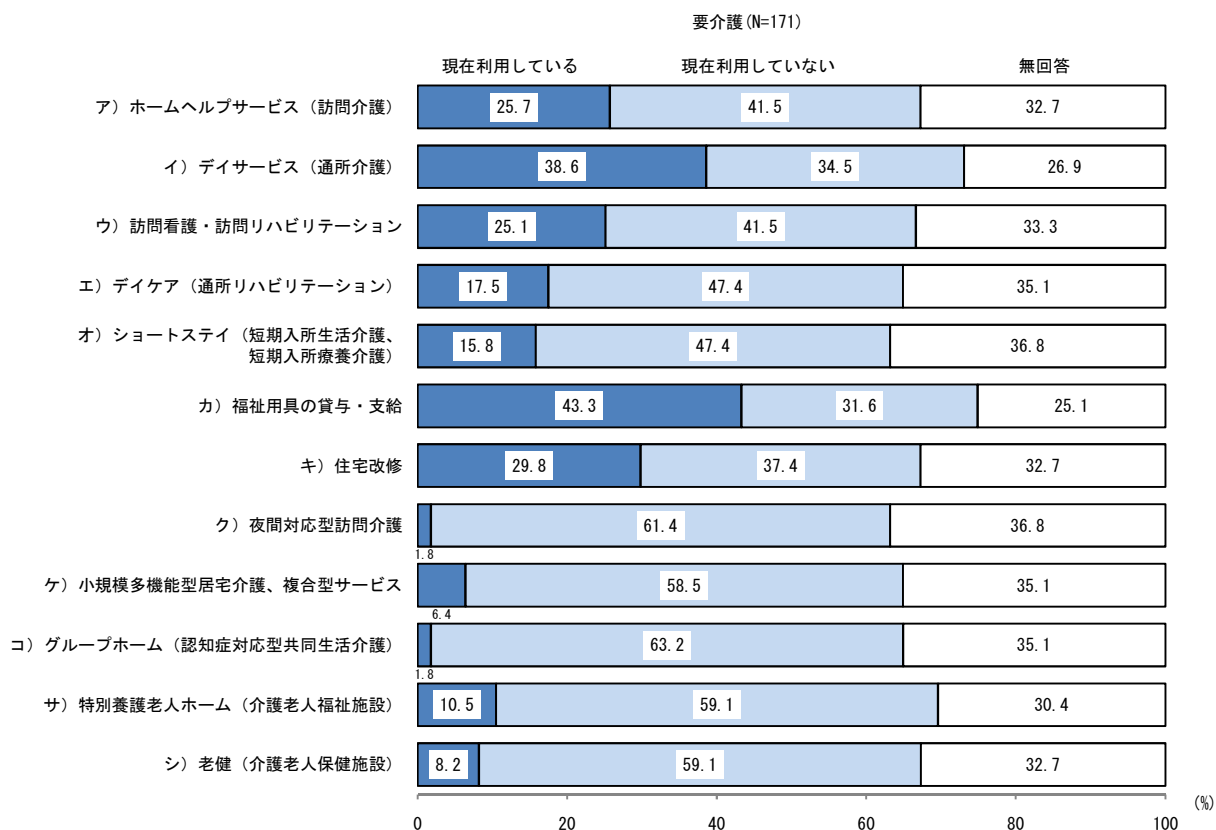
総合事業対象者 (N=74)



要支援 (N=80)

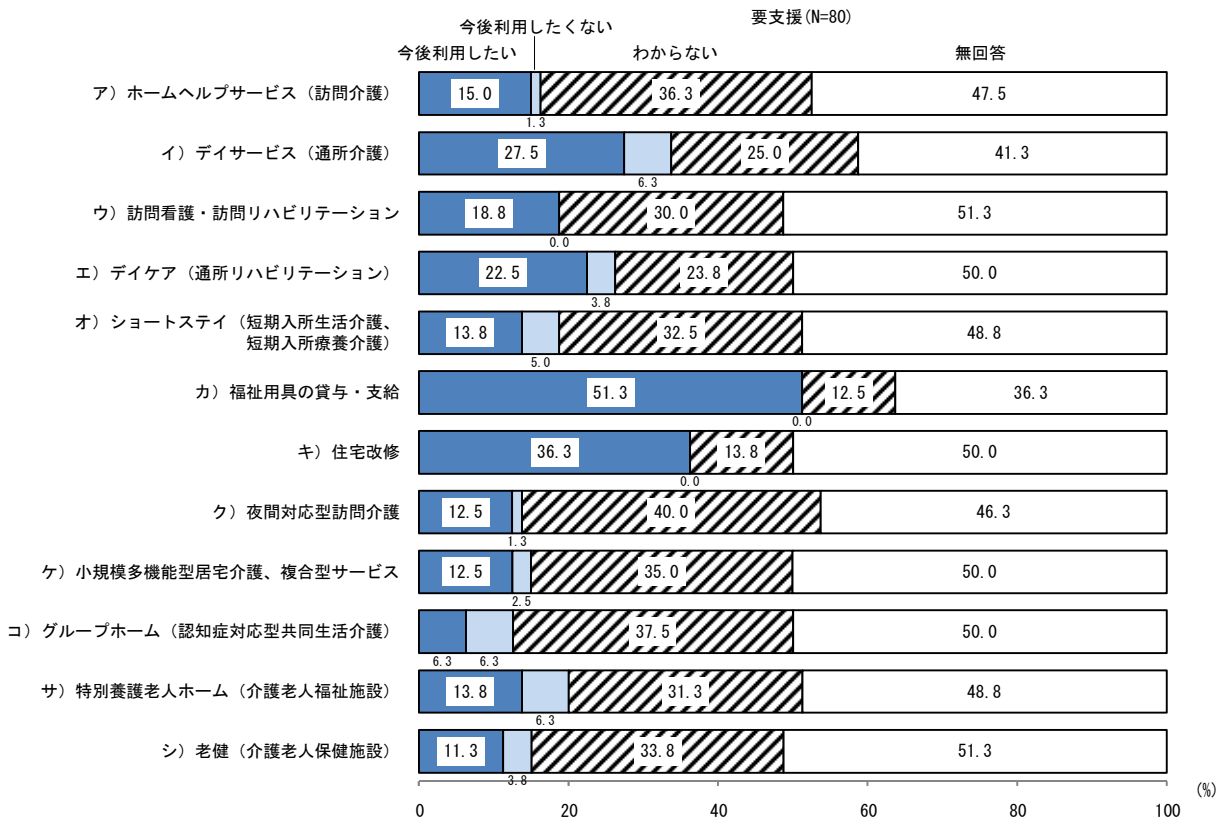
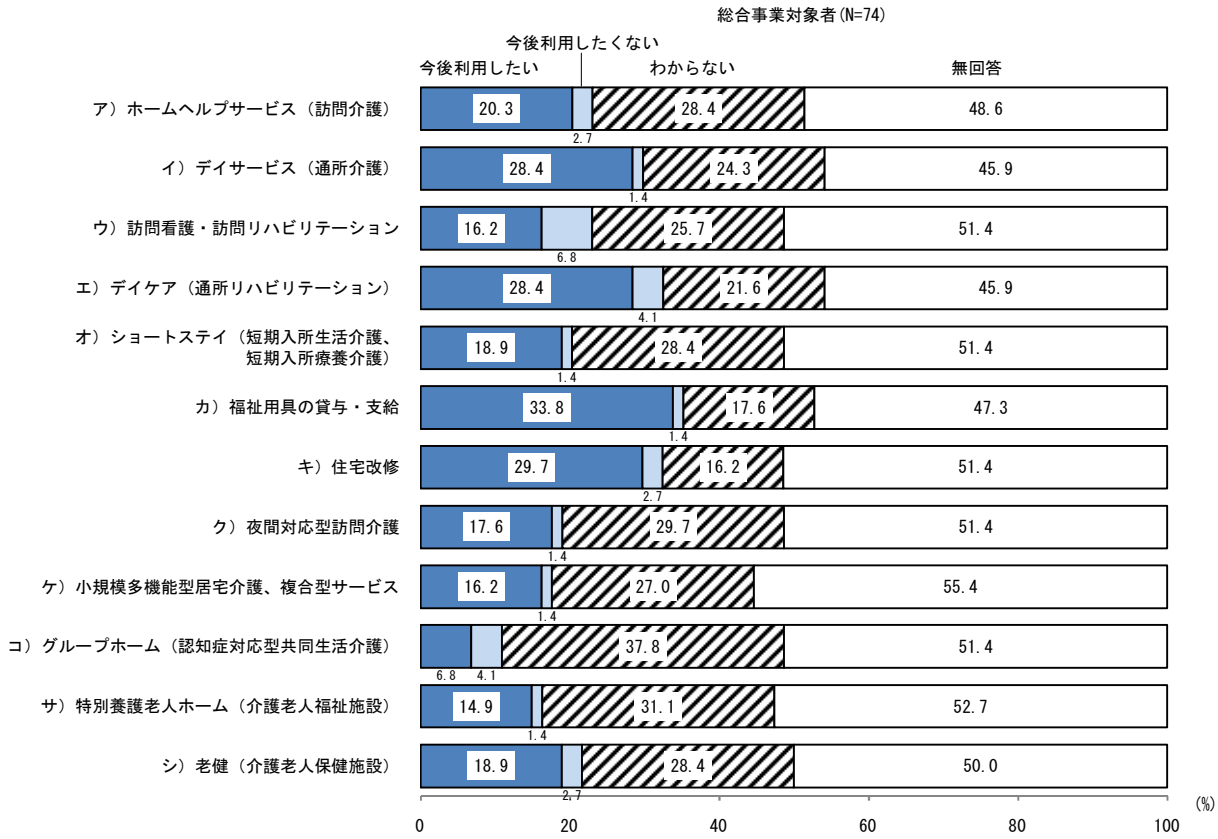


II. 調査結果

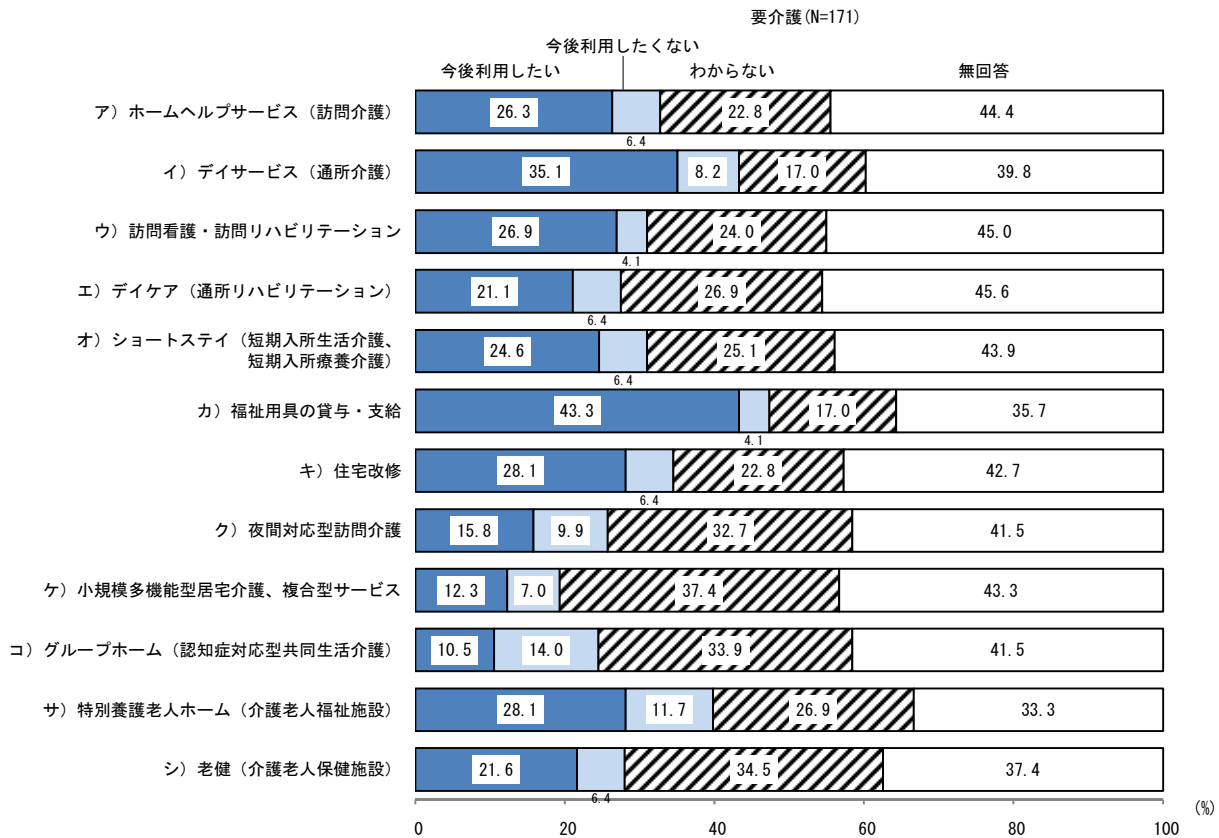


主な介護保険サービスの現在の利用状況については、【総合事業対象者】では、イ) デイサービス (通所介護)、キ) 住宅改修で、「現在利用している」が2割台みられます。【要支援】では、カ) 福祉用具の貸与・支給、キ) 住宅改修が4割前後、【要介護】では、イ) デイサービス (通所介護)、カ) 福祉用具の貸与・支給が4割前後みられます。また、【要介護】では多くの項目で、「現在利用している」の割合が他の区分よりも多くなっています。

■今後の利用希望



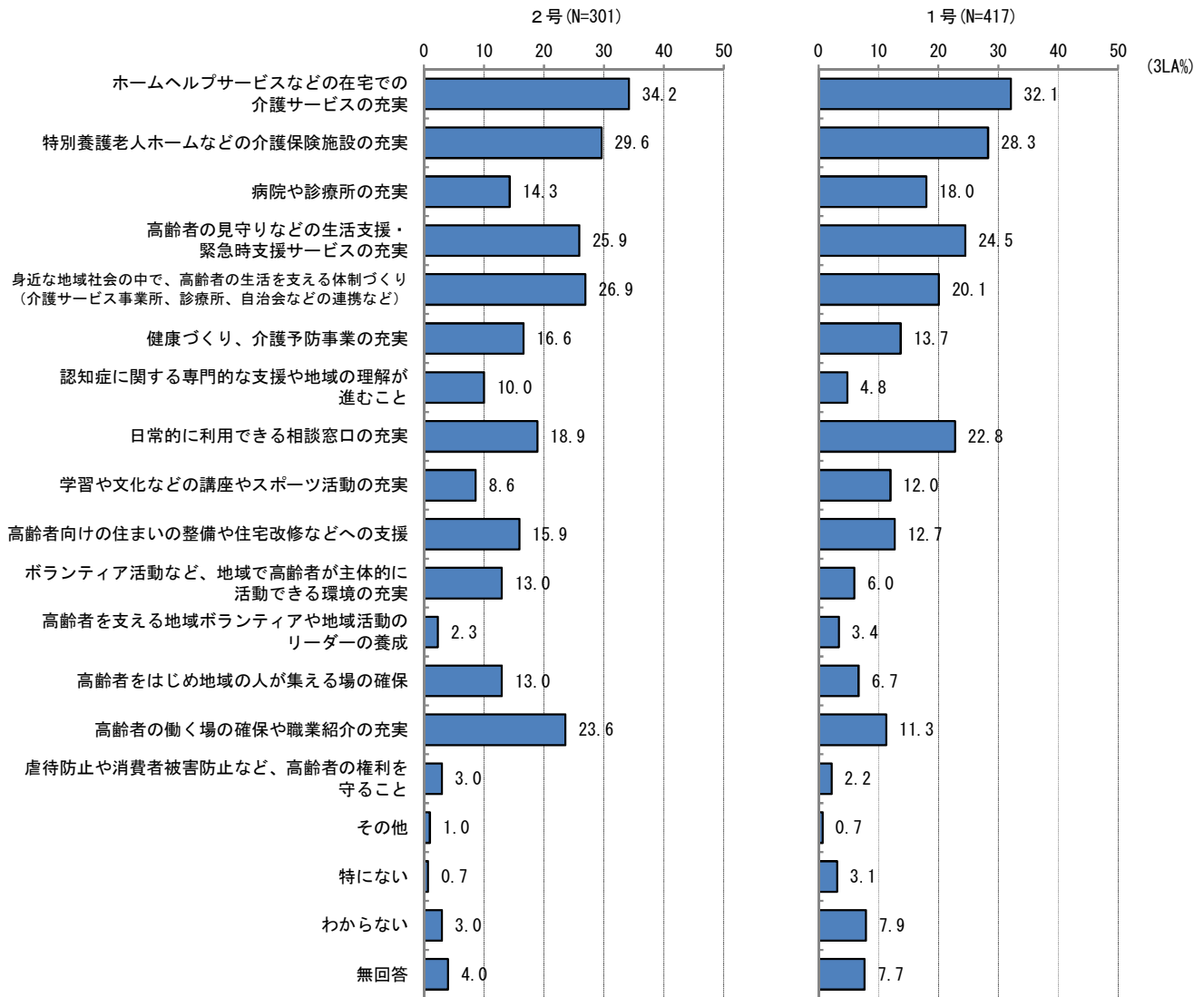
II. 調査結果



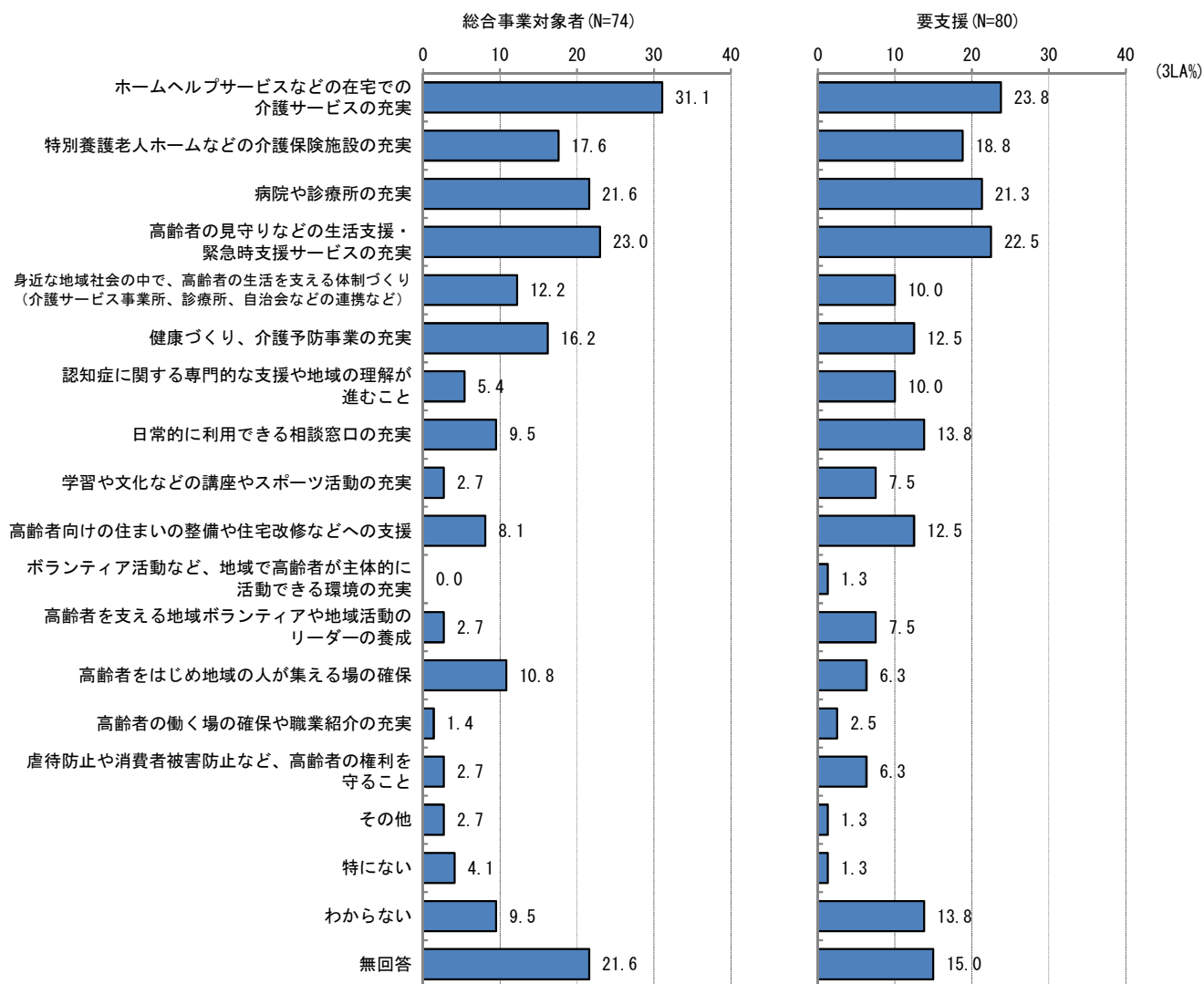
主な介護保険サービスの今後の利用希望については、【総合事業対象者】では、イ) デイサービス (通所介護)、エ) デイケア (通所リハビリテーション)、カ) 福祉用具の貸与・支給、キ) 住宅改修でそれぞれ3割前後と多くなっています。【要支援】では、カ) 福祉用具の貸与・支給、キ) 住宅改修、【要介護】では、カ) 福祉用具の貸与・支給、イ) デイサービス (通所介護) などで、「今後利用したい」が多くなっています。

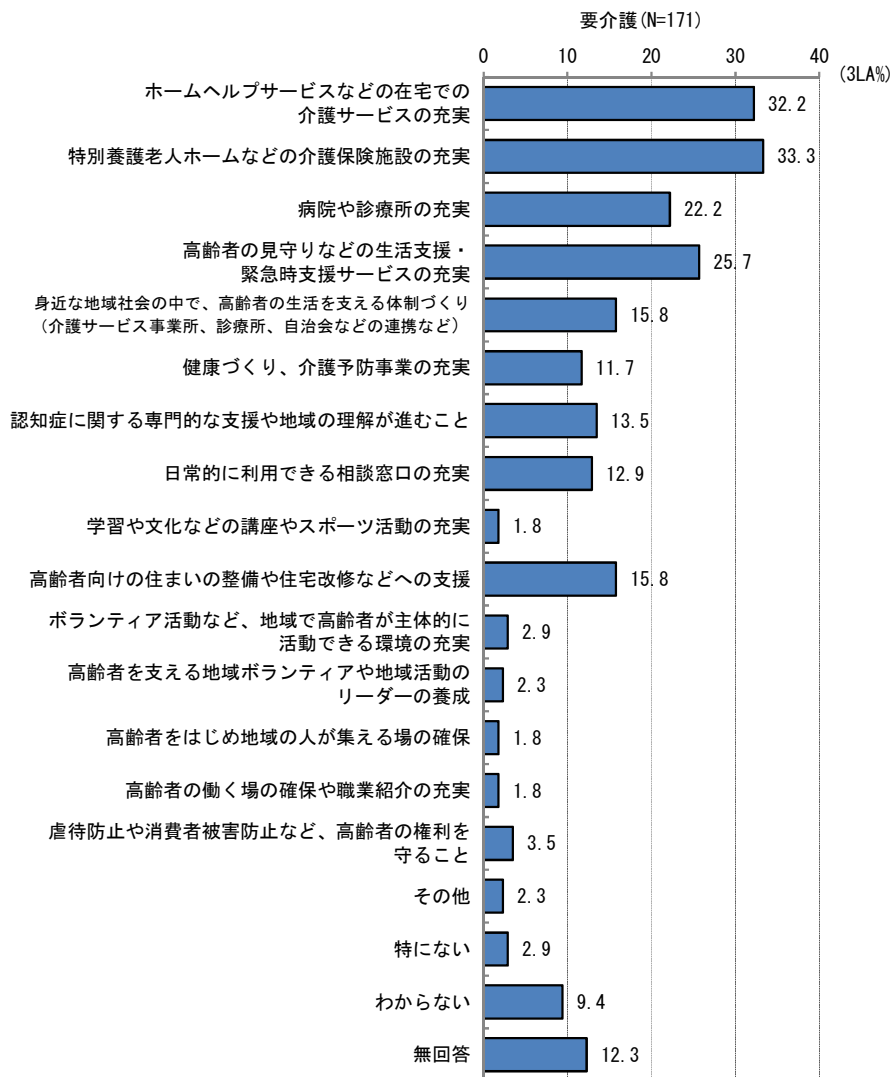
〔6〕重要だと思う施策・事業

13-6 あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、いきいきと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策・事業が重要だと思いますか。より重要度が高いと思う項目3つまでに○をつけてください。



II. 調査結果





II. 調査結果

■今後重要な施策・事業（上位5項目）

	【2号】 (n=301)	【1号】 (n=417)	【総合事業対象者】 (n=74)	【要支援】 (n=80)	【要介護】 (n=171)
第1位	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 (34.2%)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 (32.1%)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 (31.1%)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 (23.8%)	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 (33.3%)
第2位	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 (29.6%)	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 (28.3%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 (23.0%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 (22.5%)	ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実 (32.2%)
第3位	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり (26.9%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 (24.5%)	病院や診療所の充実 (21.6%)	病院や診療所の充実 (21.3%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 (25.7%)
第4位	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実 (25.9%)	日常的に利用できる相談窓口の充実 (22.8%)	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 (17.6%)	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実 (18.8%)	病院や診療所の充実 (22.2%)
第5位	高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実 (23.6%)	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり (20.1%)	健康づくり、介護予防事業の充実 (16.2%)	日常的に利用できる相談窓口の充実 (13.8%)	高齢者向けの住まいの整備や住宅改修などへの支援 (15.8%) 身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり (15.8%)

高齢者が個性と主体性を発揮し、いきいきと暮らし続けることのできる社会を築いていくために重要な施策・事業については、「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」、「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」が、すべての区分で上位に入っています。

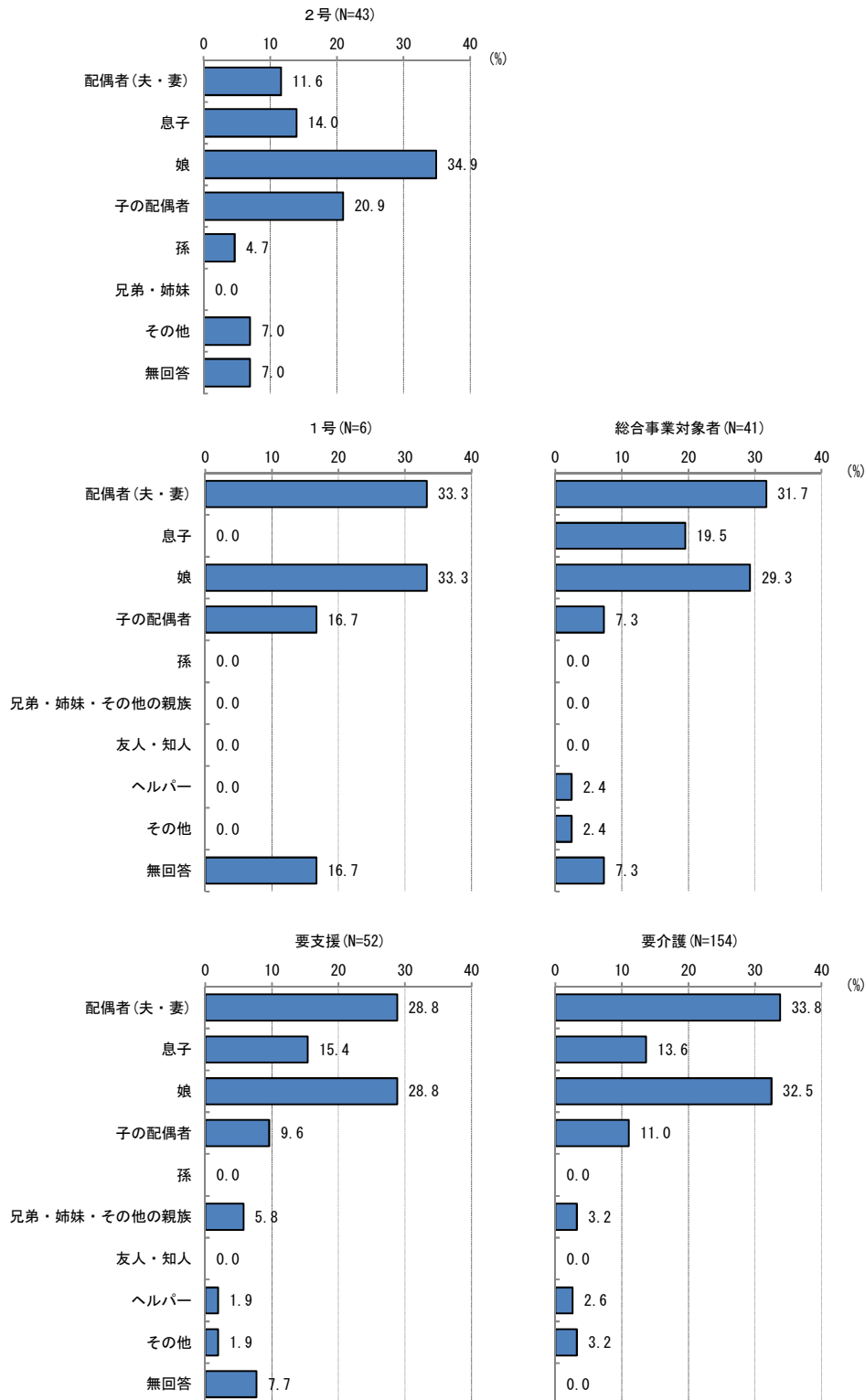
「ホームヘルプサービスなどの在宅での介護サービスの充実」は、【2号】【1号】【総合事業対象者】【要支援】で第1位、【要介護】で第2位で、それぞれ2～3割台となっています。「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」は、【要介護】で第1位、【2号】【1号】では第2位で、いずれも3割前後、【総合事業対象者】【要支援】では第4位で、それぞれ2割弱となっています。「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」は、【総合事業対象者】【要支援】では第2位、【1号】【要介護】では第3位、【2号】では第4位で、いずれも2割台となっています。

【1号】では、「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」(18.5%→24.5%)、「日常的に利用できる相談窓口の充実」(13.1%→22.8%)で前回よりもポイントを伸ばしています。また、【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では、「病院や診療所の充実」がそれぞれ2割程度で上位に入っています。

14. 介護者について

〔1〕 介護者の続柄

14-1 介護されているご家族からみてあなた（介護者）はどのような続柄になりますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

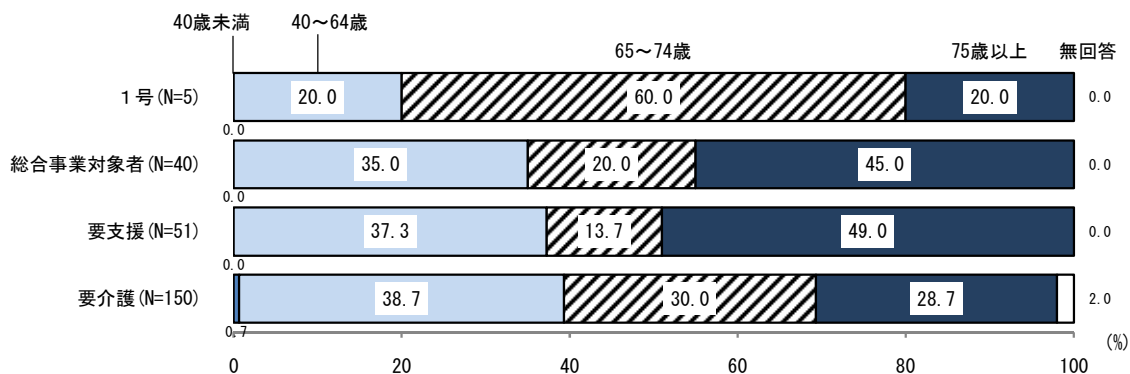


介護者の続柄は、【2号】では「娘」が34.9%と最も多く、次いで、「子の配偶者」が20.9%となっています。【1号】【総合事業対象者】【要支援】【要介護】では「配偶者(夫・妻)」と「娘」がそれぞれ3割程度で多くなっています。

II. 調査結果

〔2〕 介護者の年齢

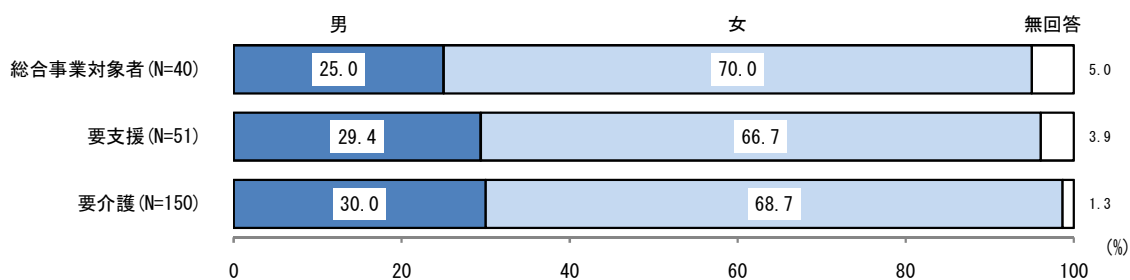
14-2 あなた（介護者）は、平成29年(2017年)1月1日現在で何歳ですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



介護者の年齢は、【1号】では「65～74歳」が60.0%と最も多くなっています。【総合事業対象者】【要支援】では「75歳以上」が4割台と最も多く、次いで、「40～64歳」がそれぞれ3割台となっています。【要介護】では「40～64歳」が38.7%と最も多く、次いで、「65～74歳」が30.0%、「75歳以上」が28.7%となっています。

〔3〕 介護者の性別

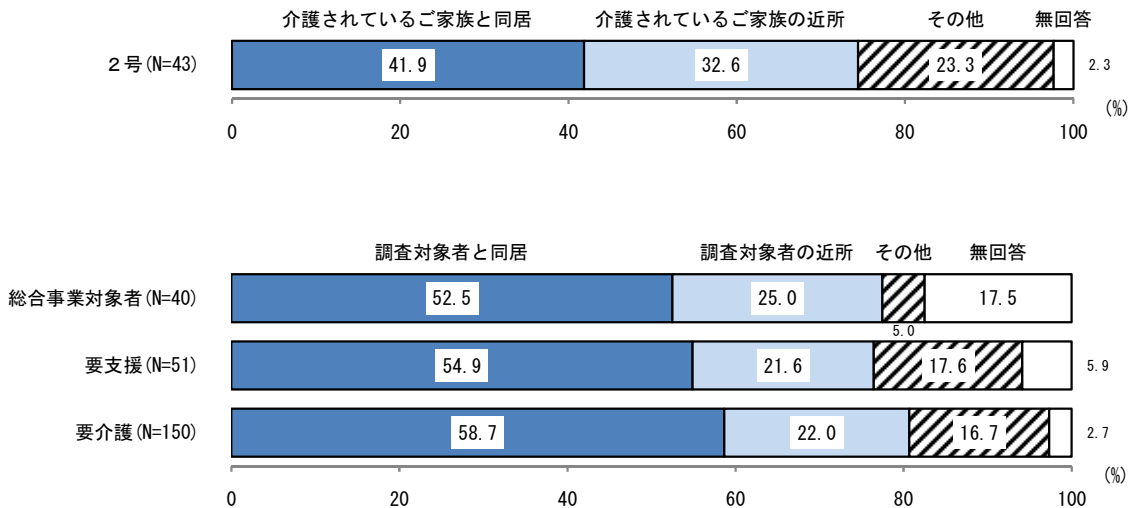
14-3 あなた（介護者）の性別について、あてはまる項目1つに○をつけてください。



介護者の性別は、すべての区分で「女性」が多く、【総合事業対象者】で70.0%、【要支援】で66.7%、【要介護】で68.7%となっています。

〔4〕 介護者の住まい

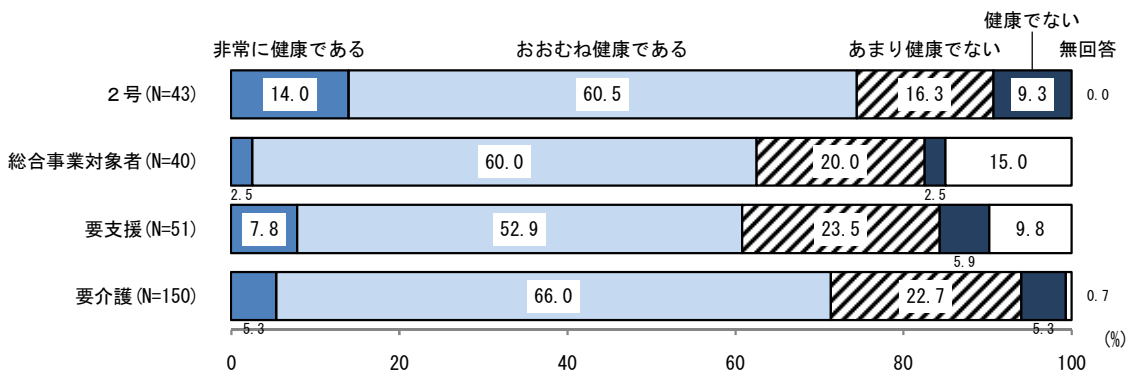
14-4 あなた（介護者）のお住まいについておたずねします。あてはまる項目1つに○をつけてください。



介護者の住まいは、すべての区分で「調査対象者と同居」（【2号】では「介護されているご家族と同居」）が最も多く、4～5割台となっています。次いで、「調査対象者の近所」（【2号】では「介護されているご家族の近所」）が2～3割台となっています。

〔5〕 介護者の健康状態

14-5 あなた（介護者）の健康状態についておたずねします。あてはまる項目1つに○をつけてください。

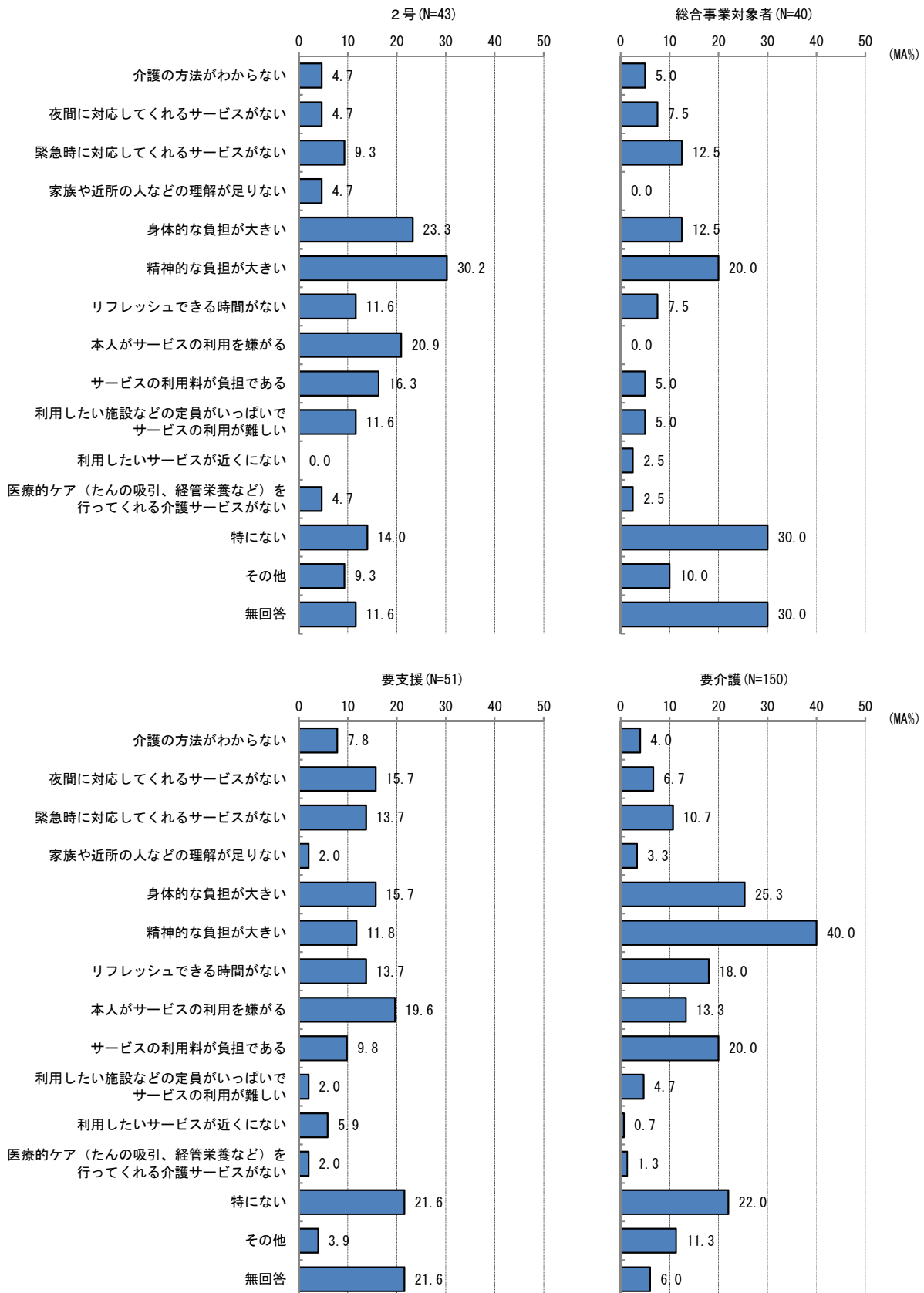


介護者の健康状態は、すべての区分で、「非常に健康である」と「おおむね健康である」を合わせた『健康である』が多く、【2号】で74.5%、【総合事業対象者】で62.5%、【要支援】で60.7%、【要介護】で71.3%となっています。「健康でない」と「あまり健康でない」を合わせた『健康でない』は、【2号】【総合事業対象者】で2割台、【要支援】【要介護】で3割弱みられます。

II. 調査結果

〔6〕 介護を行う上で困っていること

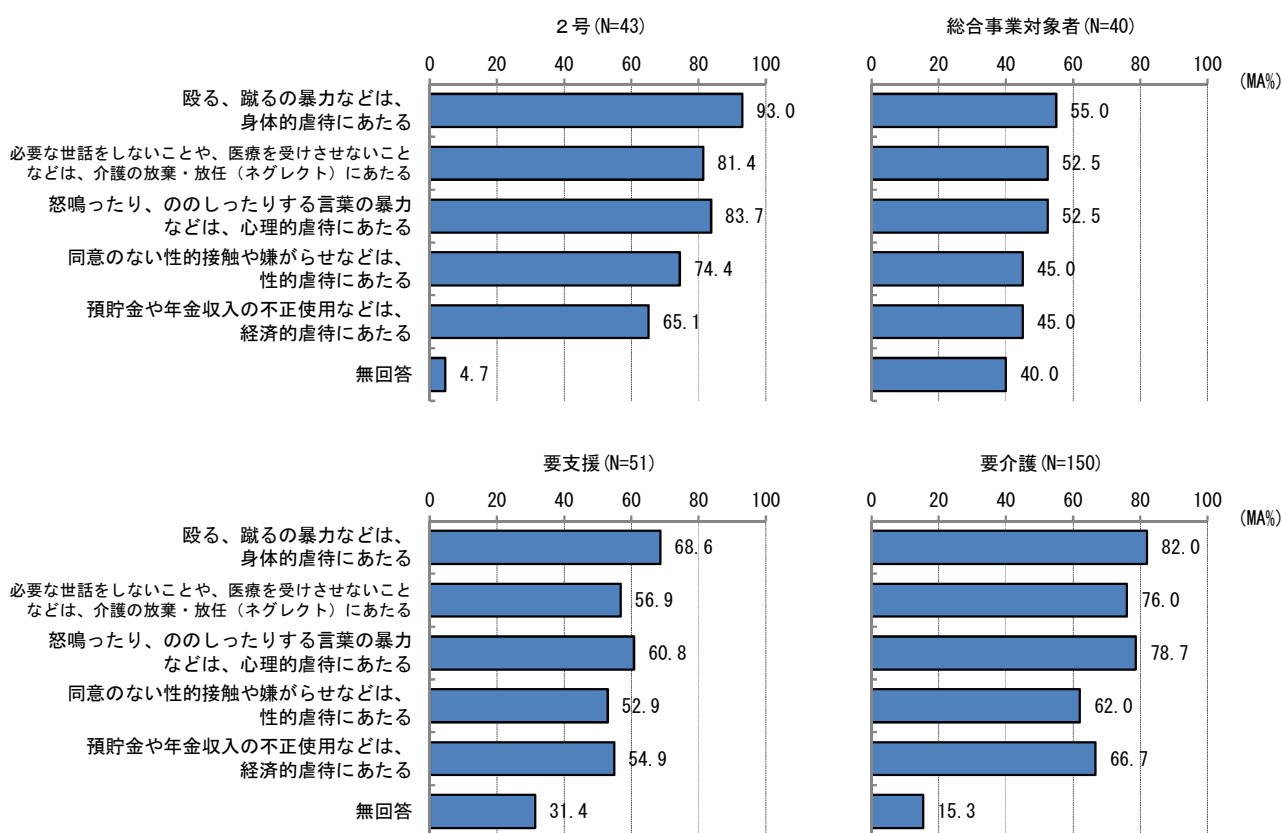
14-6 あなた（介護者）は、介護を行う上で困っていることはありますか。あてはまる項目すべてに○をつけてください。



介護を行う上で困っていることについては、【2号】【総合事業対象者】【要介護】では、「精神的な負担が大きい」が最も多く、【2号】で30.2%、【総合事業対象者】で20.0%、【要介護】で40.0%となっています。次いで、「身体的な負担が大きい」となっています。【要支援】では、「本人がサービスの利用を嫌がる」が19.6%と最も多くなっています。そのほか、【総合事業対象者】では、「緊急時に対応してくれるサービスがない」、【要支援】では、「夜間に対応してくれるサービスがない」、【要介護】では、「サービスの利用料が負担である」なども1～2割みられます。

〔7〕高齢者の虐待防止について知っていること

14-7 高齢者の虐待防止について、あなた（介護者）が、知っている項目すべてに○をつけてください。

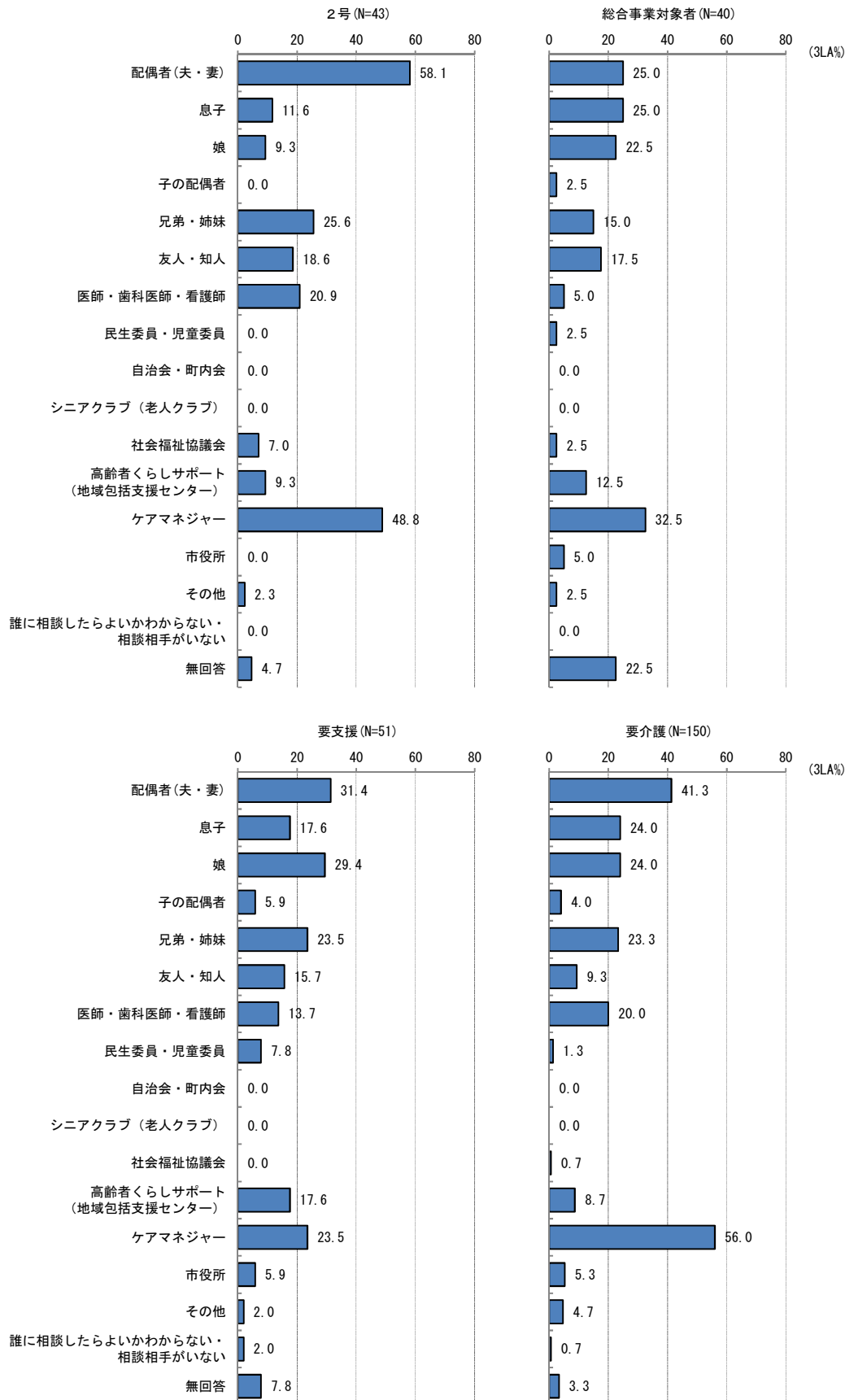


高齢者の虐待防止について知っていることについては、すべての区分で、「殴る、蹴るの暴力などは、身体的虐待にあたる」が最も多く、「怒鳴ったり、ののしったりする言葉の暴力などは、心理的虐待にあたる」、「必要な世話をしないことや、医療を受けさせないことなどは、介護の放棄・放任（ネグレクト）にあたる」がこれに続きます。どの項目も認知度は高くなっていますが、【2号】【要介護】では6～9割、【総合事業対象者】【要支援】では5～6割と、【2号】【要介護】でよく認知されていることがわかります。

II. 調査結果

〔8〕介護に困ったときの相談先

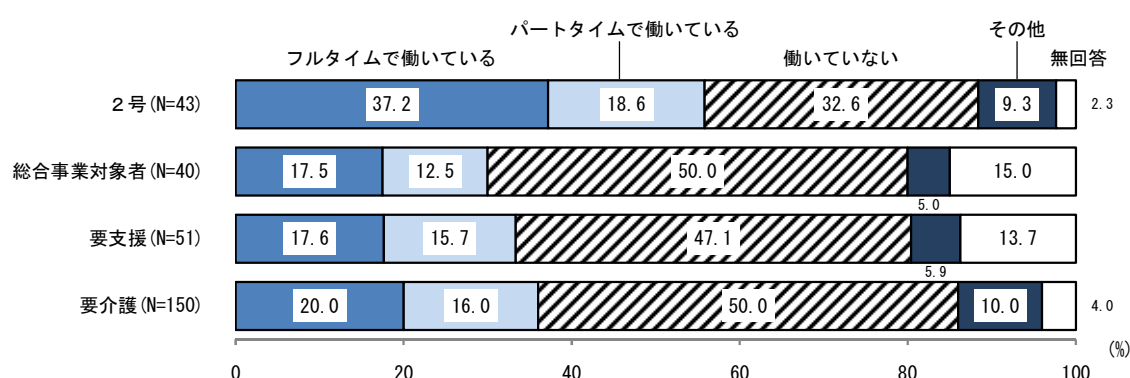
14-8 あなた(介護者)は、介護に困ったとき誰に相談していますか。あてはまる項目3つまでに○をつけてください。



介護に困った時の相談先は、【2号】では「配偶者(夫・妻)」が58.1%と最も多く、次いで、「ケアマネジャー」が48.8%となっています。【総合事業対象者】では「ケアマネジャー」が32.5%と最も多く、次いで、「配偶者(夫・妻)」、「息子」となっています。【要支援】では「配偶者(夫・妻)」、「娘」がそれぞれ3割前後となっています。【要介護】では「ケアマネジャー」が56.0%と最も多く、次いで、「配偶者(夫・妻)」が41.3%となっています。また、「医師・歯科医師・看護師」は、【2号】で20.9%、【要介護】で20.0%、「高齢者くらしサポート(地域包括支援センター)」は【要支援】で17.6%みられます。

〔9〕介護者の就業状況

14-9 あなた(介護者)の仕事の状況について、あてはまる項目1つに○をつけてください。



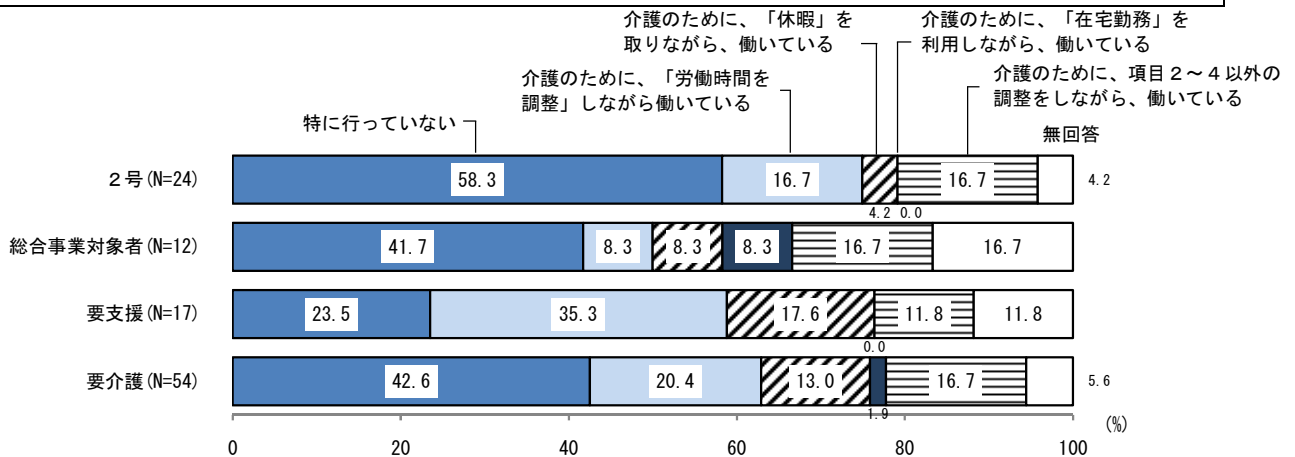
介護者の仕事の状況は、【2号】では「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた『働いている』が55.8%、「働いていない」が32.6%となっています。【2号】以外では「働いていない」のほうが多く、【総合事業対象者】で50.0%、【要支援】で47.1%、【要介護】で50.0%となっています。

II. 調査結果

[10] 介護のために働き方の調整をしているか

14-9で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に○をつけたかたのみ

14-10 介護するにあたって、何か働きかたについての調整などを行っていますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

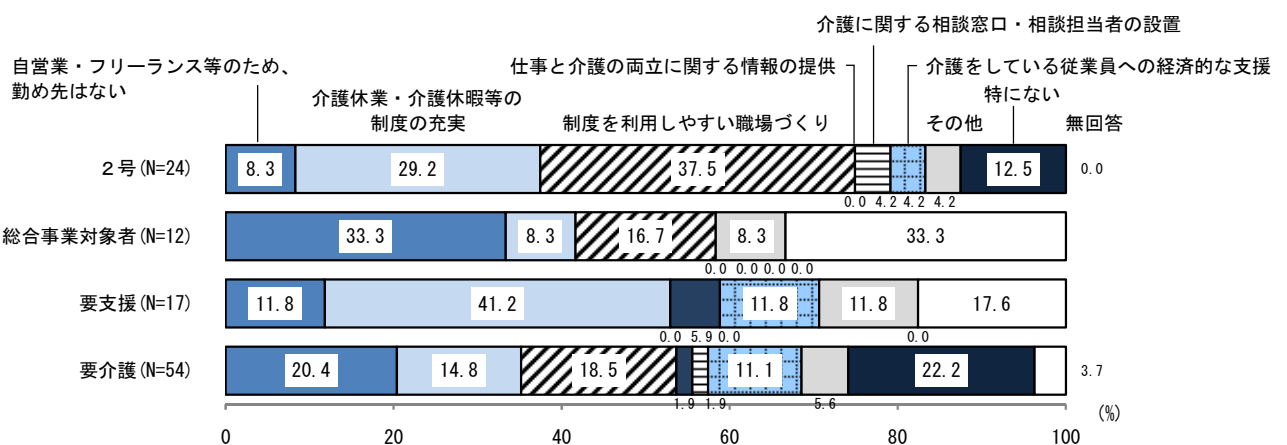


フルタイム、パートタイムで働いている介護者が、介護するにあたって、働きかたの調整などを行っているかについては、【2号】【総合事業対象者】【要介護】では、「特に行っていない」が最も多く、【要支援】では、「介護のために、「労働時間を調整」しながら働いている」が最も多くなっています。また、何らかの調整を『行っている』かたは、【2号】で37.6%、【総合事業対象者】で41.6%、【要支援】で64.7%、【要介護】で52.0%と、【要支援】【要介護】で多くなっていますが、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」は少なくなっています。

[11] 仕事と介護の両立に効果がある支援

14-9で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に○をつけたかたのみ

14-11 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



フルタイム、パートタイムで働いている介護者が、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、【2号】では「制度を利用しやすい職場づくり」が37.5%、【要支援】

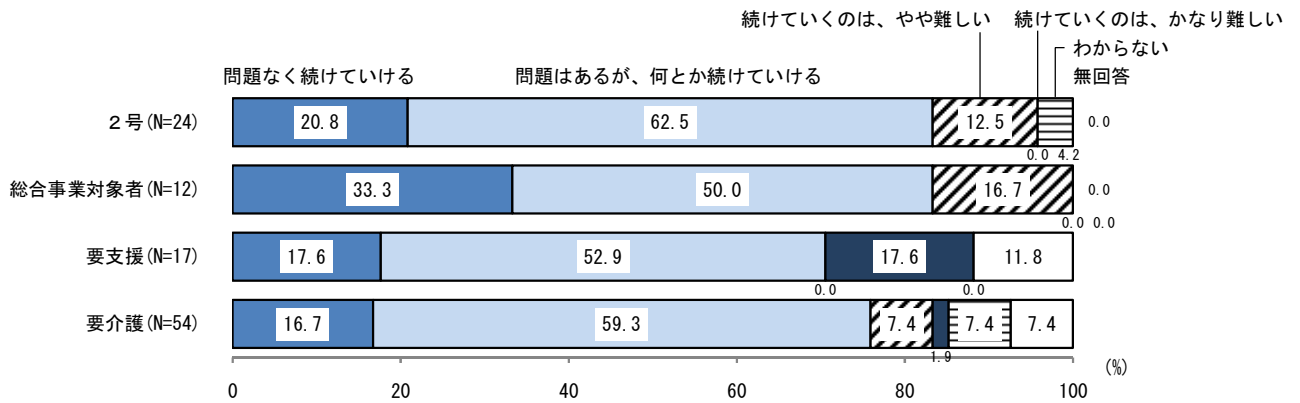
では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が41.2%で最も多くなっています。【総合事業対象者】【要介護】では、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が最も多くなっています。

II. 調査結果

[12] 働きながら介護を続けていけそうか

14-9で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」に○をつけたかたのみ

14-12 今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。

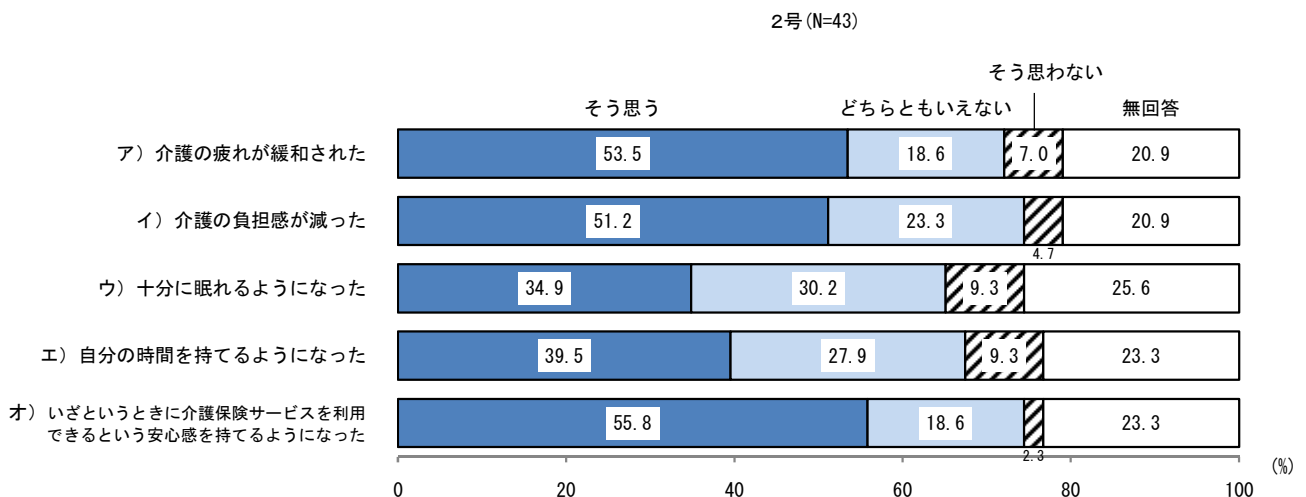


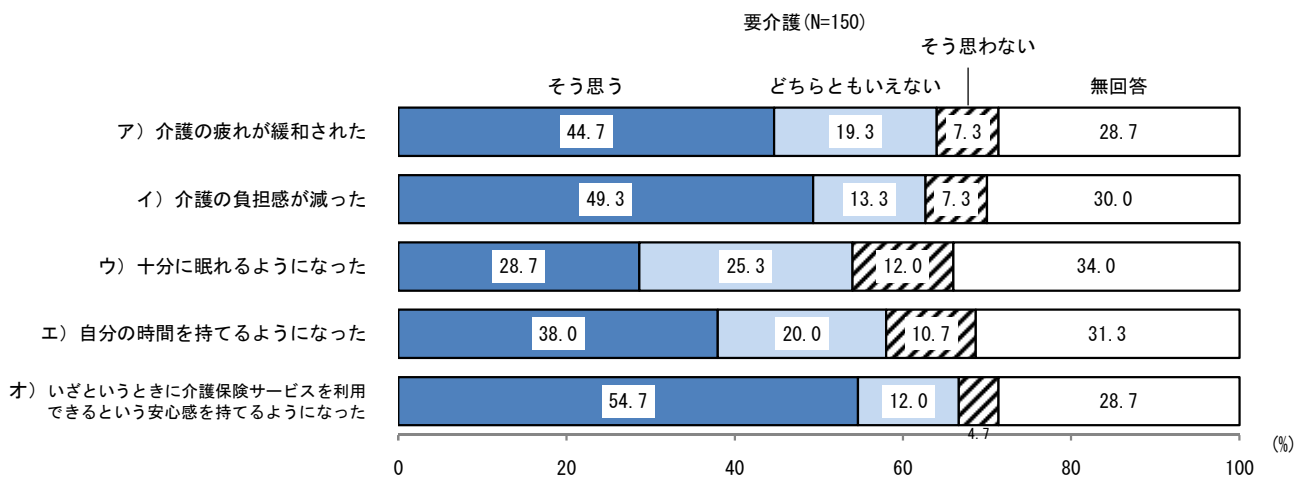
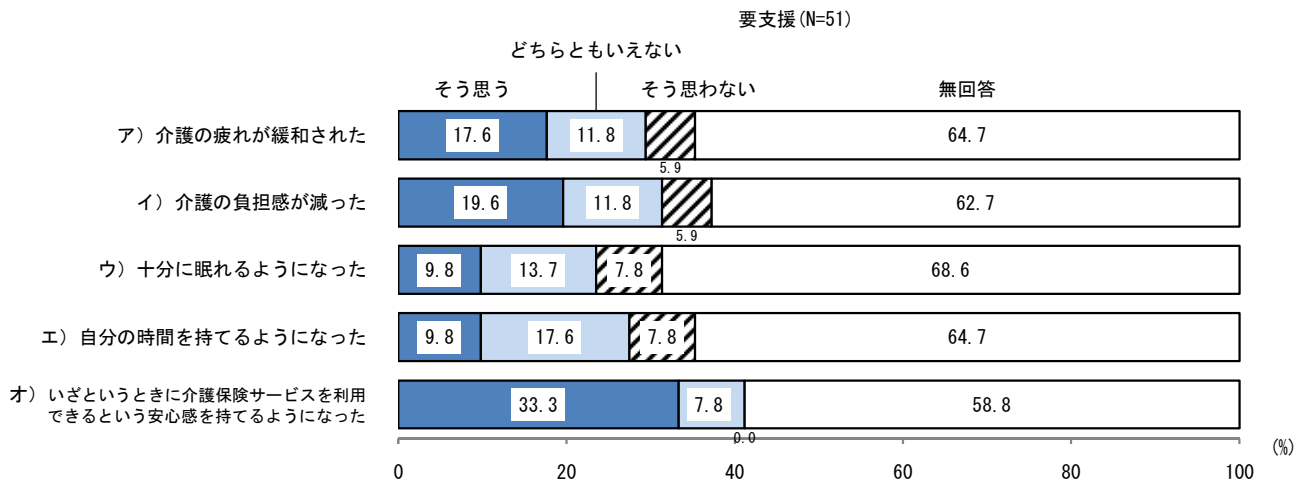
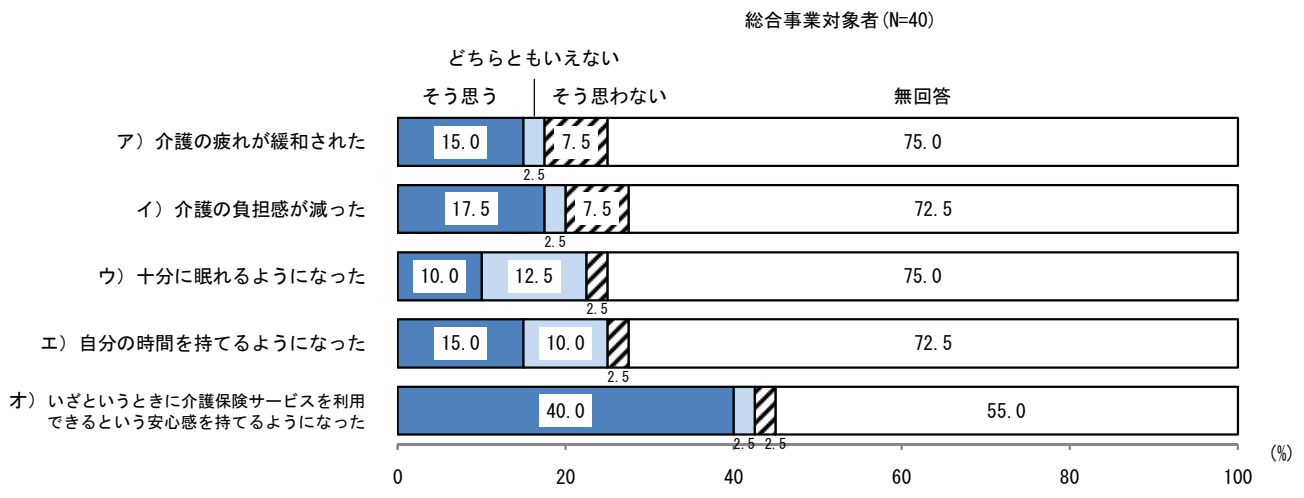
フルタイム、パートタイムで働いている介護者が、今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、すべての区分で「問題はあるが、何とか続けていける」が5～6割と最も多くなっています。「問題なく続けていける」は、【総合事業対象者】で33.3%と多く、【2号】【要支援】【要介護】では2割前後となっています。一方、「続けていくのは、やや難しい」は【総合事業対象者】で16.7%、「続けていくのは、かなり難しい」は【要支援】で17.6%みられます。

[13] 介護保険サービスの利用による介護者の生活の変化

介護保険サービスを利用しているかたの主な介護者のみ

14-13 介護保険サービスを利用して、あなた（介護者）の生活は、どのように変わりましたか。以下のア～オについて、それぞれあてはまる項目1つに○をつけてください。



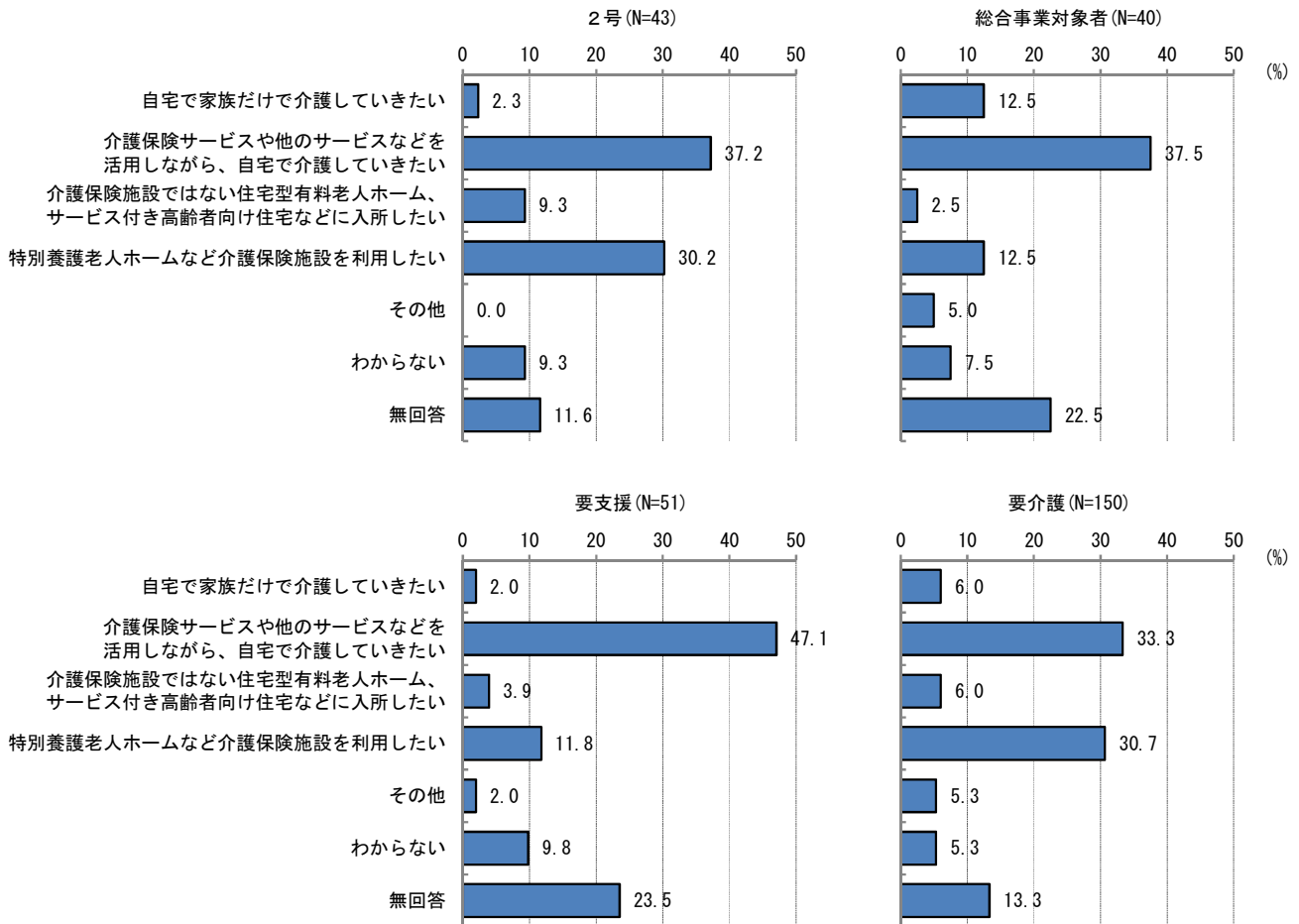


介護保険サービスの利用による介護者の生活の変化については、すべての区分で、「オ) いざというときに介護保険サービスを利用できるという安心感を持てるようになった」で「そう思う」が最も多く、【2号】で55.8%、【総合事業対象者】で40.0%、【要支援】で33.3%、【要介護】で54.7%となっています。次いで、「ア) 介護の疲れが緩和された」、「イ) 介護の負担感が減った」が、【2号】【要介護】では4～5割台、【総合事業対象者】【要支援】では2割弱となっています。また、ア)～オ)各項目の「そう思う」の割合は、【2号】【要介護】で多く、【総合事業対象者】【要支援】で少なくなっています。

II. 調査結果

[14] 今後の介護について

14-14 あなた（介護者）は、今後どのように介護していきたいとお考えですか。あてはまる項目1つに○をつけてください。



今後どのように介護していきたいかについては、すべての区分で、「介護保険サービスや他のサービスなどを活用しながら、自宅で介護していきたい」が最も多くなっています。「特別養護老人ホームなど介護保険施設を利用したい」は、【2号】で30.2%、【要介護】で30.7%と多くなっています。

箕面市
第7期高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書

平成29年3月

編集・発行

箕面市役所 健康福祉部 高齢福祉室

電話 072-727-9505 (直通) ファクス 072-727-3539

URL <https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/index.html>